

Windows 7 での手動 USB ドライバーインストール方法

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

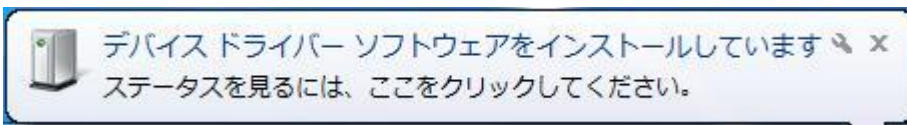
※本インストールマニュアルは、同梱の CD-ROM、もしくは京セラホームページからダウンロードした USB ドライバーを利用した場合の手動インストール方法を記載しております。京セラホームページより USB ドライバーをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダ（ドライバー）を参照場所として指定してください。

※このインストール作業を行う場合は、電話機本体の USB 設定を「モデム&ユーティリティ」に設定する必要があります。

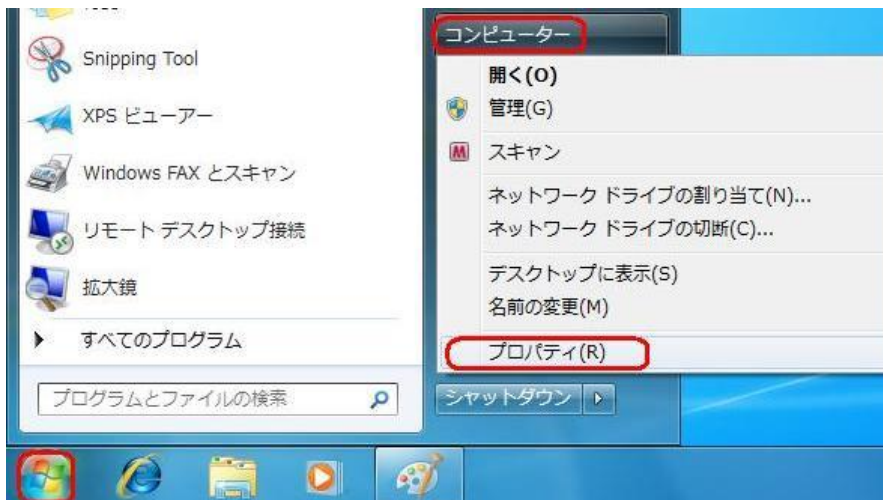
1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続します。パソコンの USB ポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。

※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。

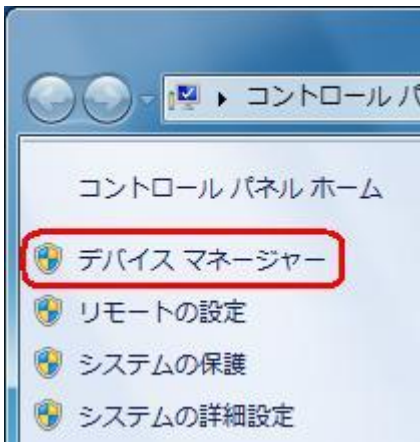
2. 電話機を接続すると、パソコンの画面右下に以下のメッセージが続けて表示されますが、そのまま表示が消えるのを待ちください。



3. 手順 2 のメッセージが消えるのを待ち、スタートをクリックし、コンピューターを右クリックするとメニューが出ます。[プロパティ]をクリックしてください。

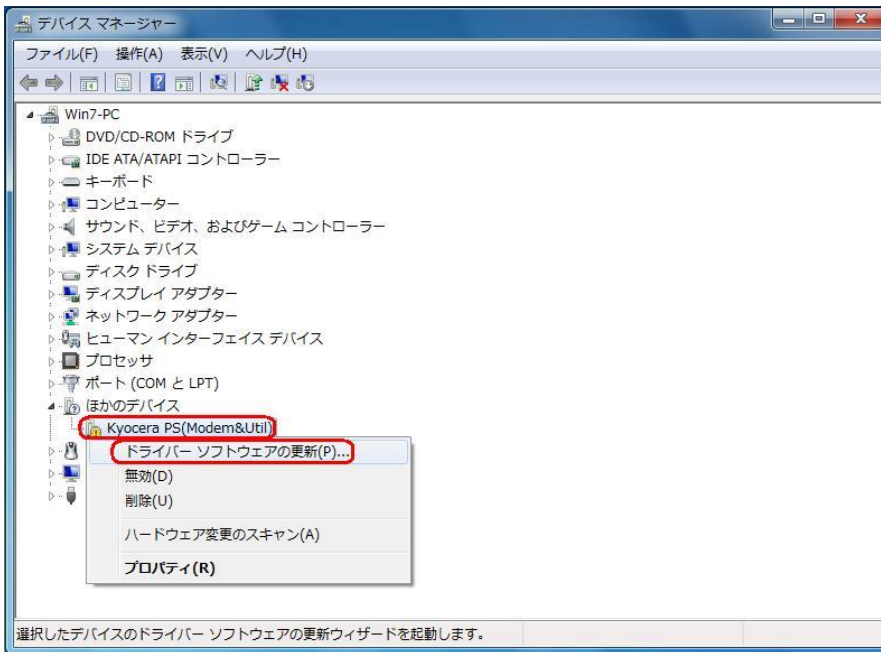


4. 画面左のタスクから[デバイス マネージャー]をクリックします。

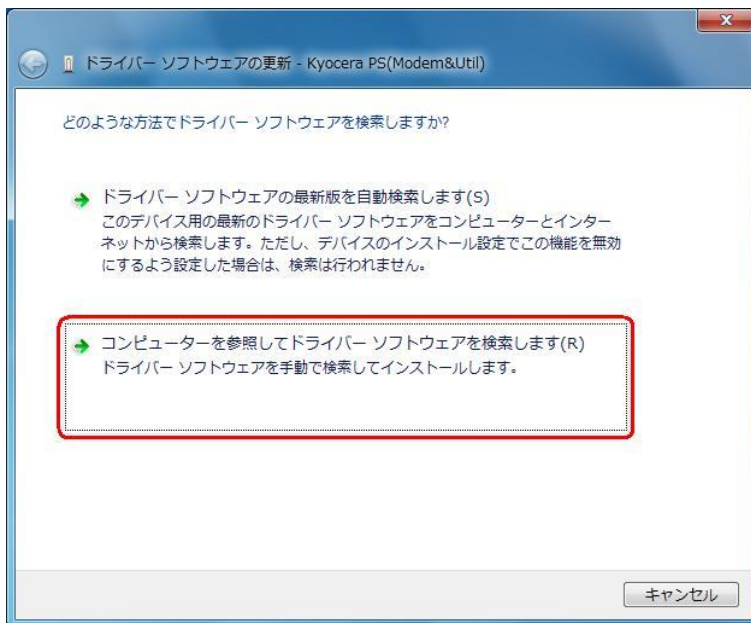


5. [ほかのデバイス]に[Kyocera PS(Modem&Util)]もしくは[Modem driver for Kyocera PS]が追加されていますので、**右クリック**して[ドライバー ソフトウェアの更新]をクリックしてください。

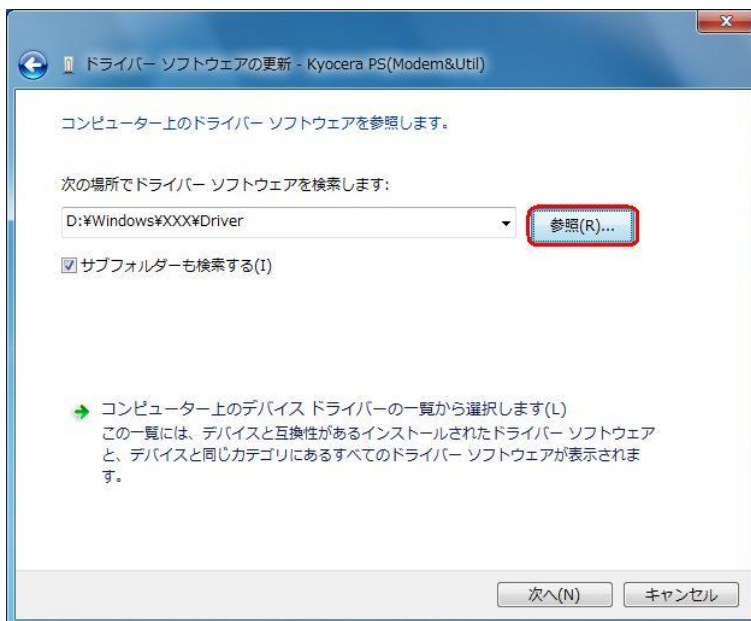
※[ドライバー ソフトウェアの更新]が表示されない場合は、自動検索中の可能性があります。しばらく待ってから再度お試しください。



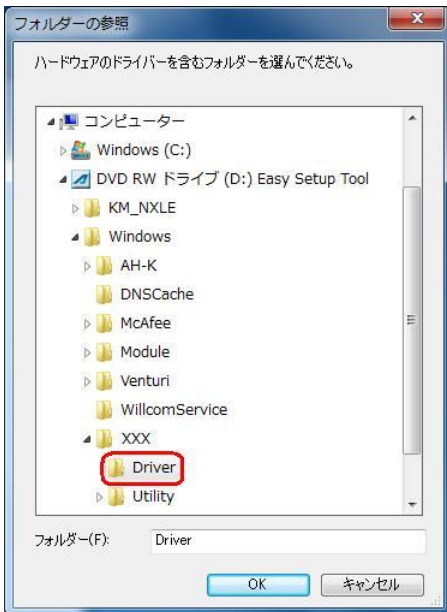
6. [コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します]をクリックします。



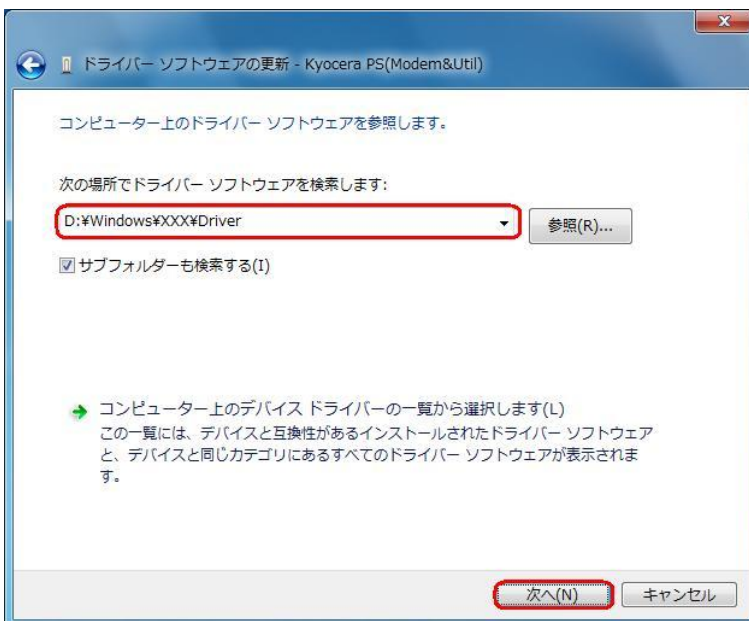
7. 同梱されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、[参照]をクリックします。
※USB ドライバーをダウンロードされたお客様は、CD-ROM は必要ありません。



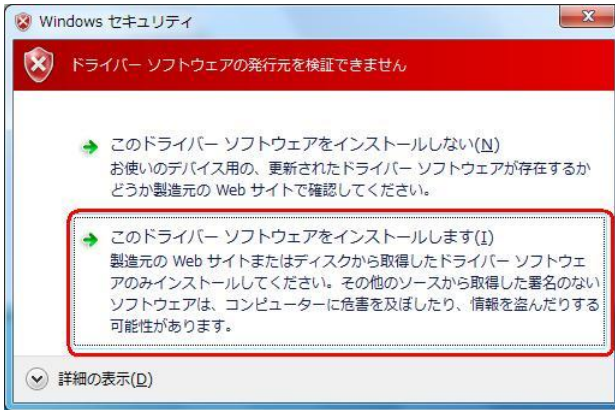
8. CD-ROM ドライブの「Driver」フォルダを指定し、[OK]をクリックします。
※USB ドライバーをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



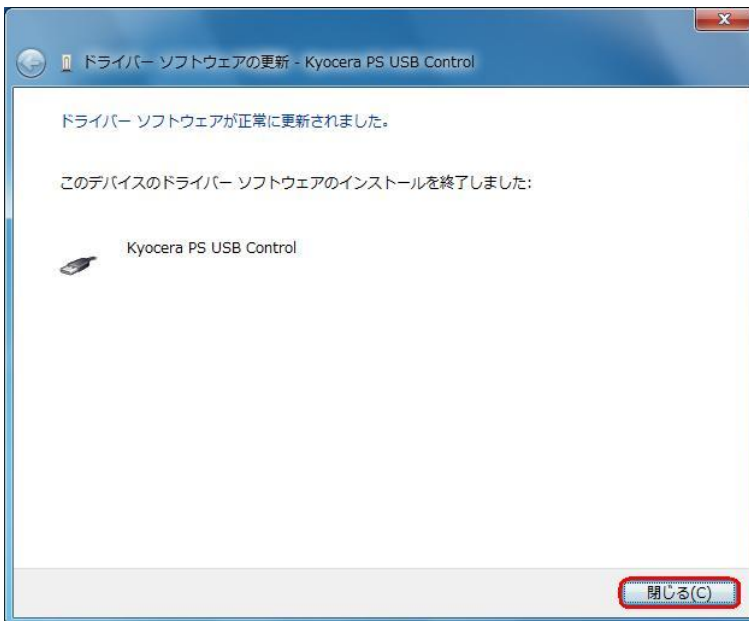
9. CD-ROM 内の「Driver」フォルダになっているか確認し、[次へ]をクリックします。
クリック後、ドライバーの検索が始まります。しばらくお待ちください。
※USB ドライバーをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダが指定されているかご確認下さい。



10. Windows セキュリティ画面が表示されましたら、[このドライバー ソフトウェアをインストールします]をクリックします。

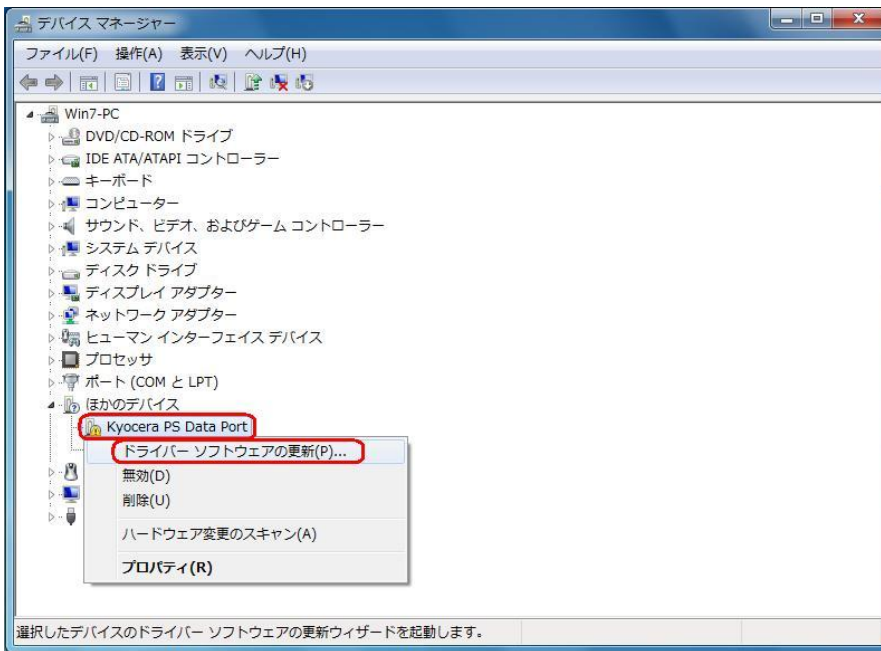


11. しばらくするとインストール完了画面が表示されます。
[閉じる]をクリックします。

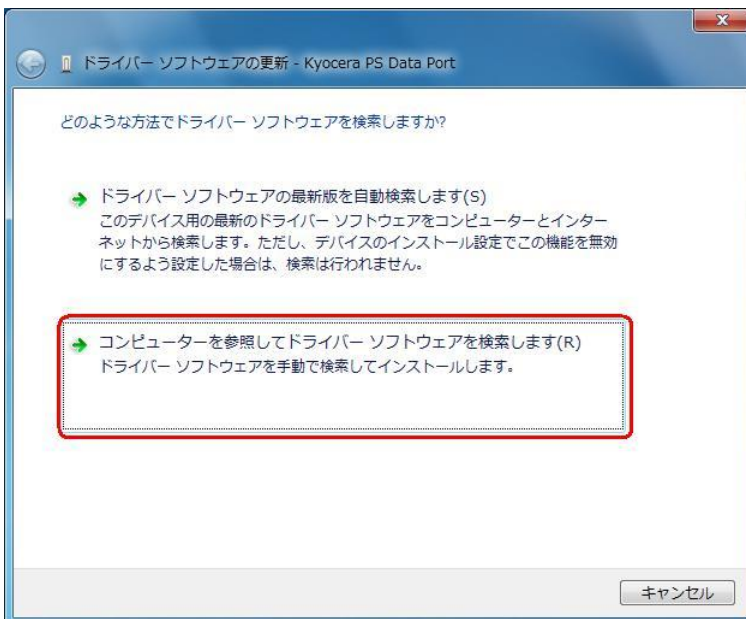


1 2. 続けて、手順5で開いたデバイスマネージャーを再度確認し、[ほかのデバイス]に [Kyocera PS Data Port]と[Kyocera PS Modem Port]が追加されている事を確認してください。[Kyocera PS Data Port]を右クリックして[ドライバー ソフトウェアの更新]をクリックします。

※[ドライバー ソフトウェアの更新]が表示されない場合は、自動検索中の可能性があります。しばらく待ってから再度お試しください。

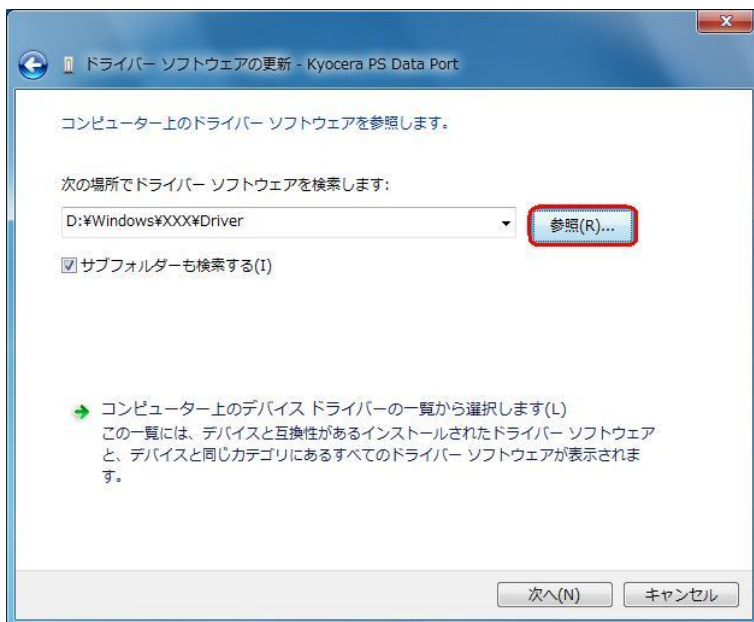


1 3. [コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します]をクリックします。



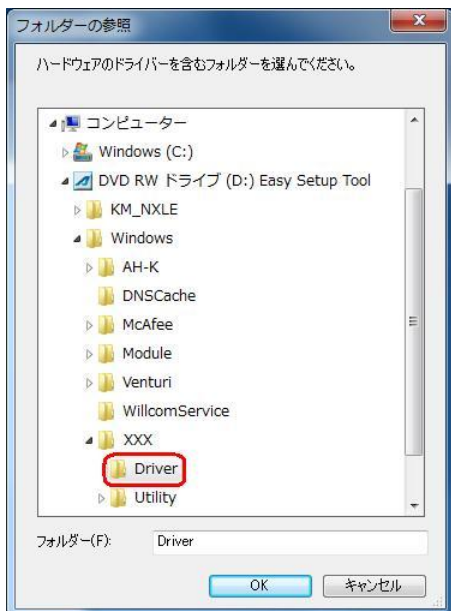
14. 同梱されている CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[参照]をクリックします。

※USB ドライバーをダウンロードされたお客様は、CD-ROM は必要ありません。

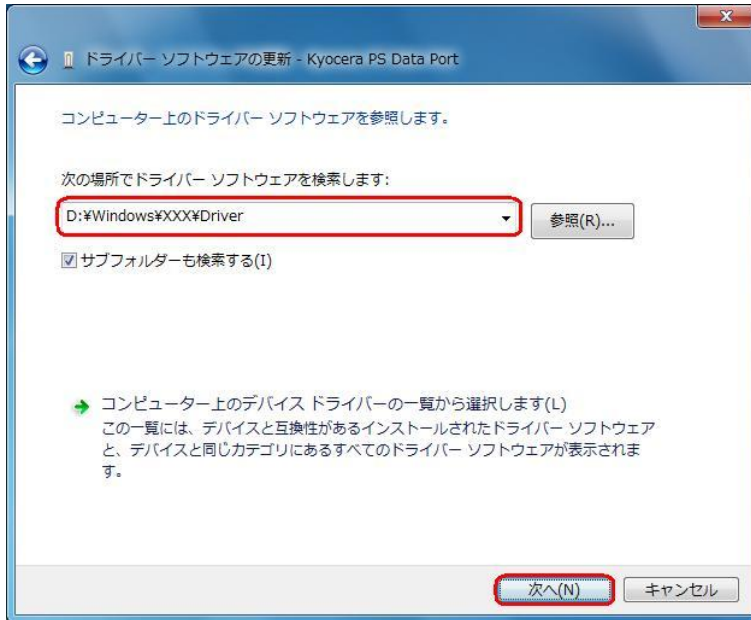


15. CD-ROM ドライブの「Driver」フォルダを指定し、[OK]をクリックします。

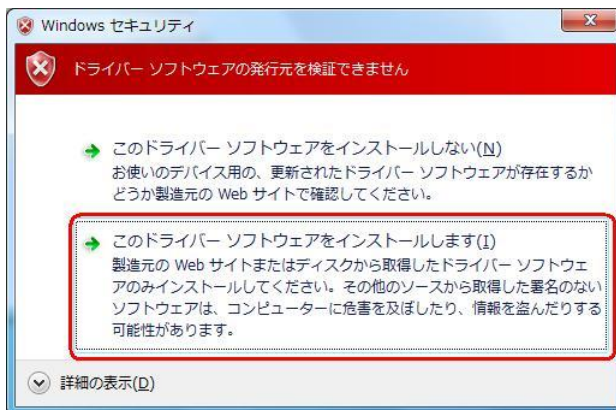
※USB ドライバーをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



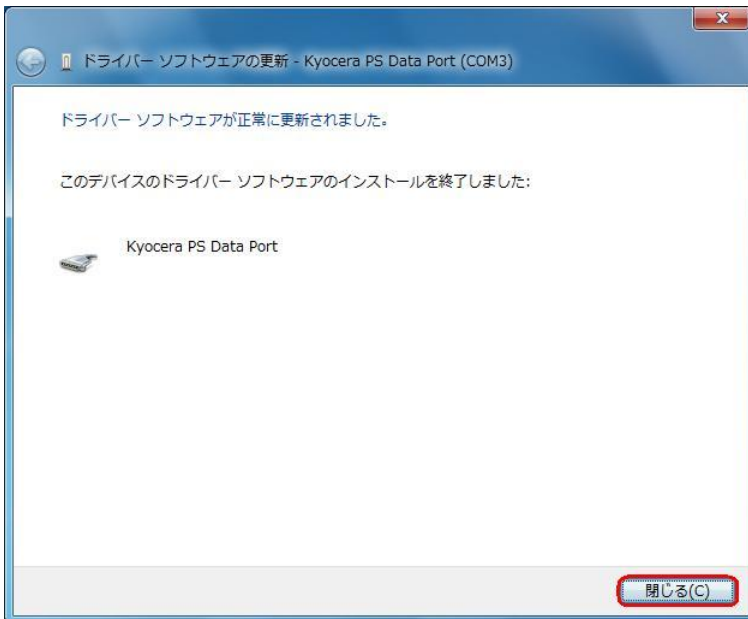
16. CD-ROM内の「Driver」フォルダになっているか確認し、[次へ]をクリックします。クリック後、ドライバーの検索が始まります。しばらくお待ちください。
※USBドライバーをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダが指定されているかご確認ください。



17. Windows セキュリティ画面が表示されましたら、[このドライバー ソフトウェアをインストールします]をクリックします。

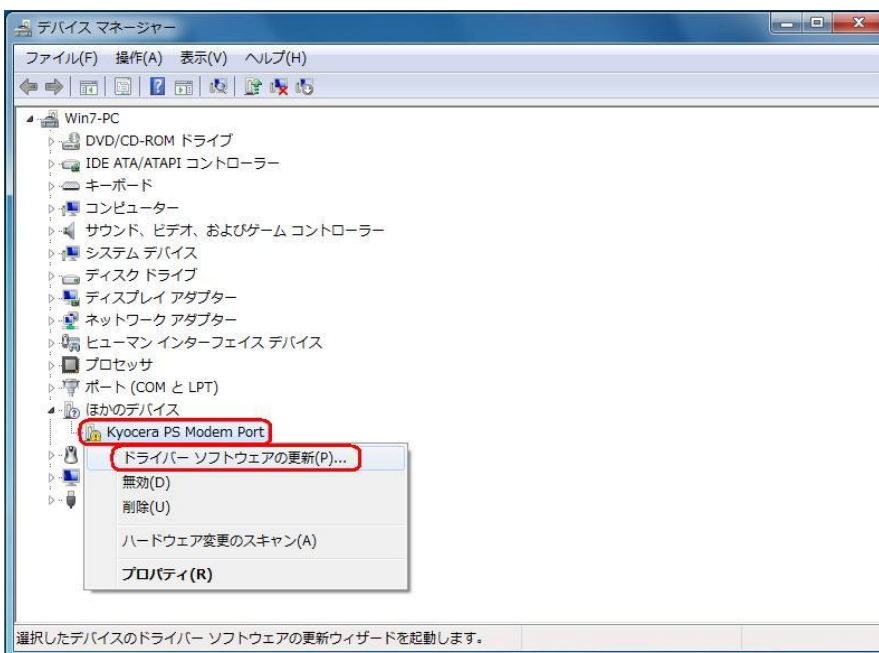


18. しばらくするとインストール完了画面が表示されます。
[閉じる]をクリックします。

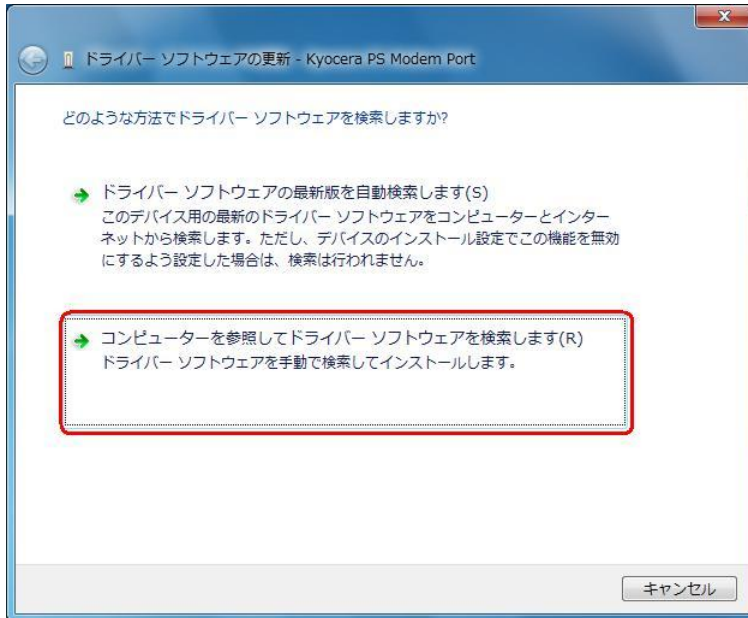


19. 続けて、デバイス マネージャーの[Kyocera PS Modem Port]を右クリックして[ドライバー ソフトウェアの更新]をクリックします。

※[ドライバー ソフトウェアの更新]が表示されない場合は、自動検索中の可能性があります。しばらく待ってから再度お試しください。

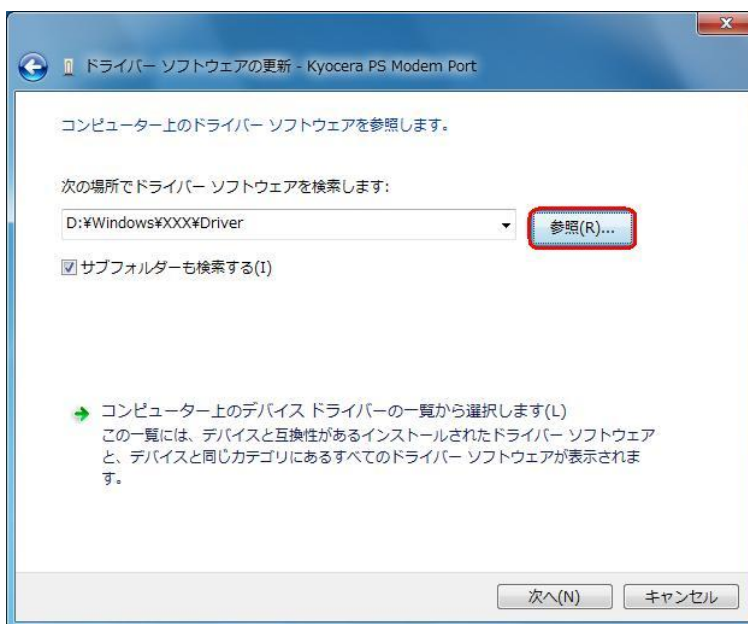


20. [コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します]をクリックします。

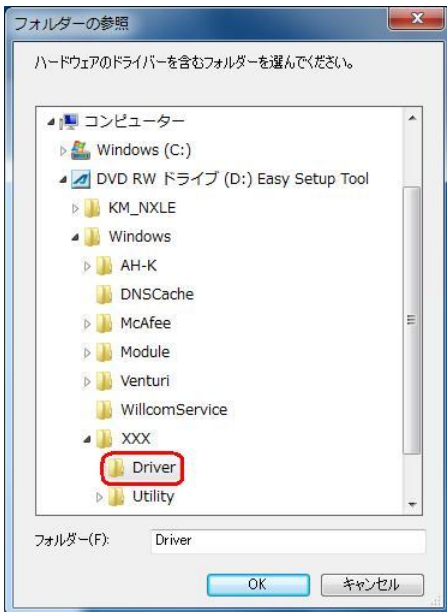


21. 同梱されている CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[参照]をクリックします。

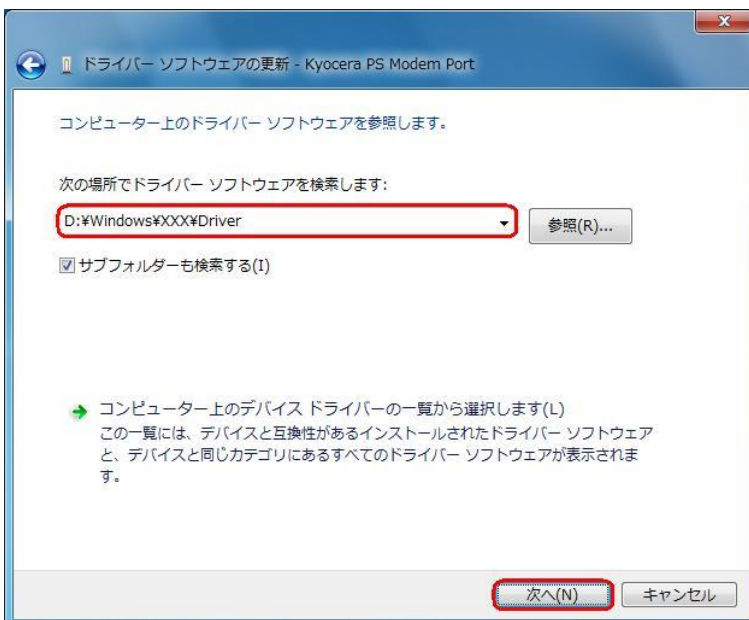
※USB ドライバーをダウンロードされたお客様は、CD-ROM は必要ありません。



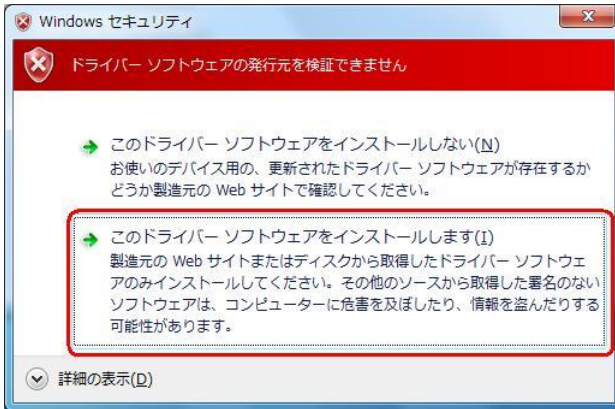
- 2 2. CD-ROM ドライブの「Driver」フォルダを指定し、[OK]をクリックします。
※USB ドライバーをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



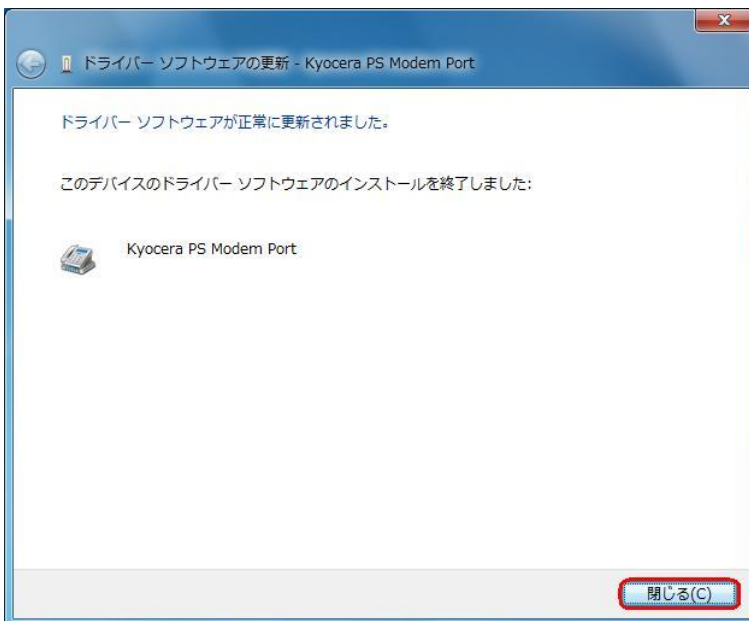
- 2 3. CD-ROM 内の「Driver」フォルダになっているか確認し、[次へ]をクリックします。
クリック後、ドライバーの検索が始まります。しばらくお待ちください。
※USB ドライバーをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダが指定されているかご確認下さい。



24. Windows セキュリティ画面が表示されましたら、[このドライバー ソフトウェアをインストールします]をクリックします。



25. しばらくするとインストール完了画面が表示されます。[閉じる]をクリックします。



以上で手動USBドライバーのインストール作業は終了です。

CDC (Communication Device Class) のモデムとして

ご利用になる場合の手動 USB ドライバーのインストール方法

※上記手順1～25までの方法で既にインストールをされている方は、この方法でのインストール作業は不要です。

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

※本インストールマニュアルは、同梱の CD-ROM、もしくは京セラホームページからダウンロードした USB ドライバーを利用した場合の手動インストール方法を記載しております。京セラホームページより USB ドライバーをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダ（ドライバー）を参照場所として指定してください。ご利用の CD-ROM によっては正しくインストール出来ない場合がありますので、ご注意ください。

※このインストール作業を行う場合は、電話機本体の USB 設定を「モデム」にしてください。

※このインストール方法で USB ドライバーをインストールされた場合、京セラ PHS ユーティリティはご利用いただけません。京セラ PHS ユーティリティをご利用になる場合は、USB 設定を「モデム&ユーティリティ」にさせていただき、改めてドライバーのインストール（上記手順1～25）を行ってください

1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続します。パソコンの USB ポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。

※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。

2. 電話機を接続すると、パソコンの画面右下に以下のメッセージが続けて表示されますが、そのまま表示が消えるのをお待ち下さい。

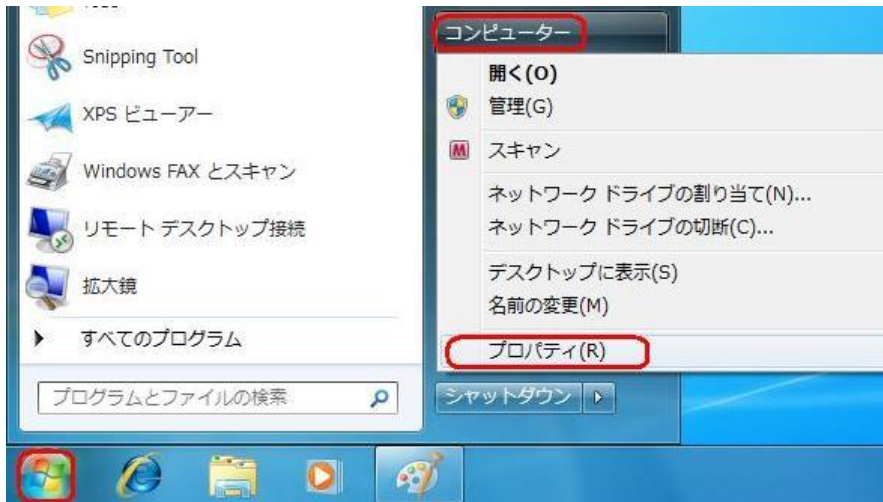


デバイスドライバー ソフトウェアをインストールしています。 X
ステータスを見るには、ここをクリックしてください。

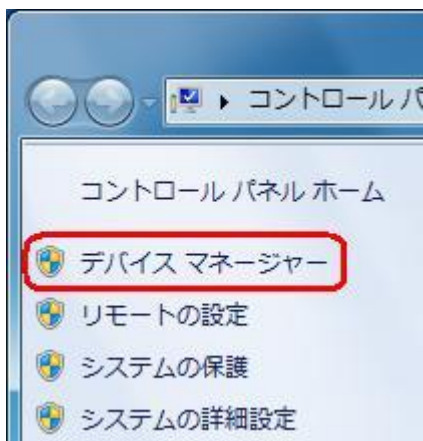


デバイスドライバー ソフトウェアは正しくインストールされませんでした。 X
詳細についてはここをクリックしてください。

3. 手順 2 のメッセージが消えるのを待ち、スタートをクリックし、コンピューターを右クリックするとメニューが出ます。[プロパティ]をクリックしてください。

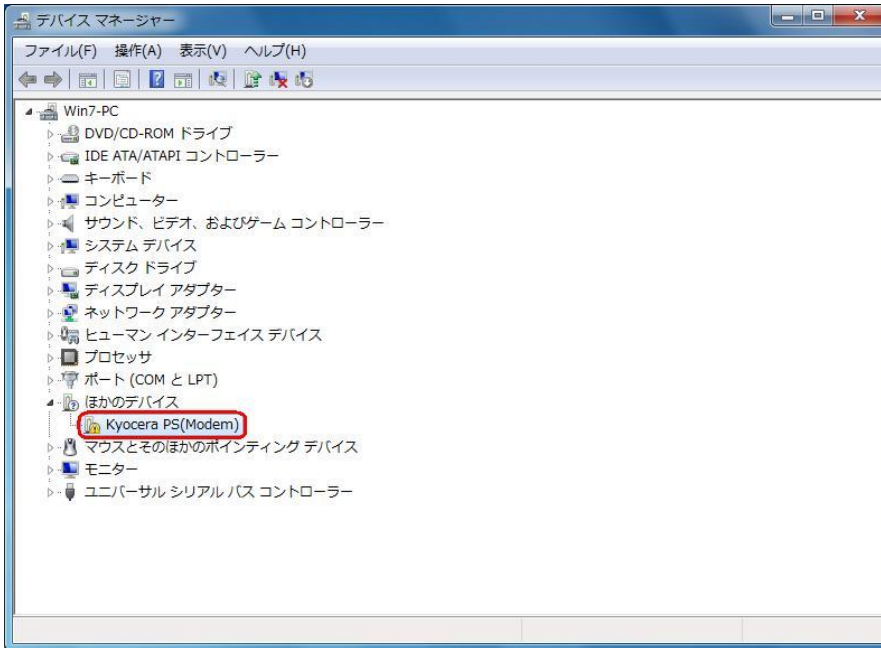


4. 画面左のタスクから[デバイス マネージャー]をクリックします。

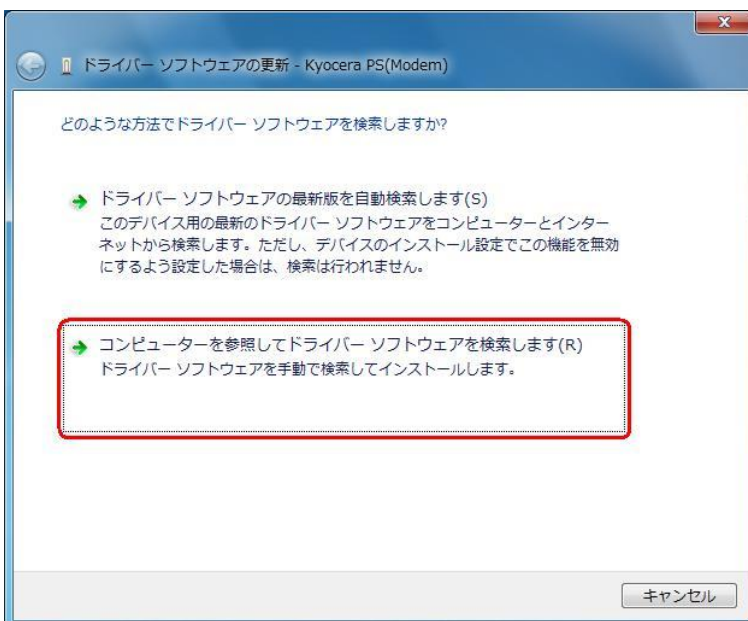


5. [ほかのデバイス]に[Kyocera PS(Modem&Util)]もしくは[Modem driver for Kyocera PS]が追加されていますので、**右クリック**して[ドライバー ソフトウェアの更新]をクリックしてください。

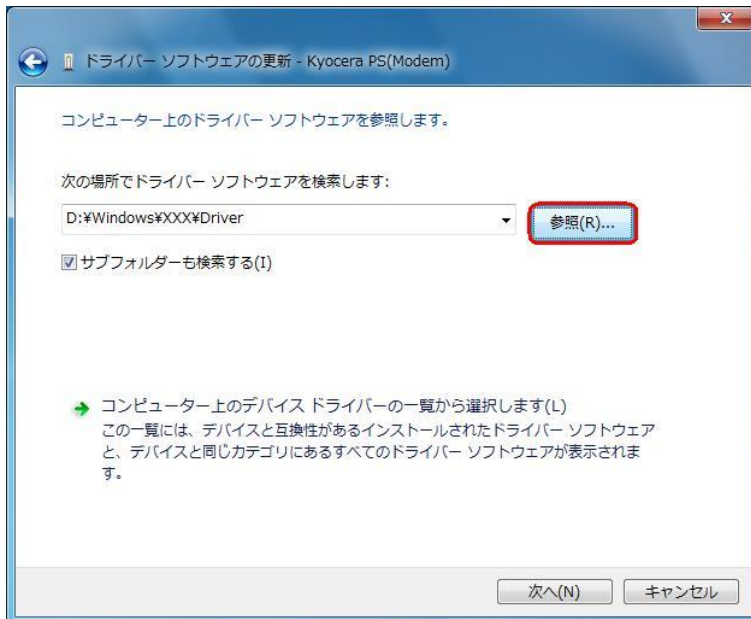
※[ドライバー ソフトウェアの更新]が表示されない場合は、自動検索中の可能性があります。しばらく待ってから再度お試しください。



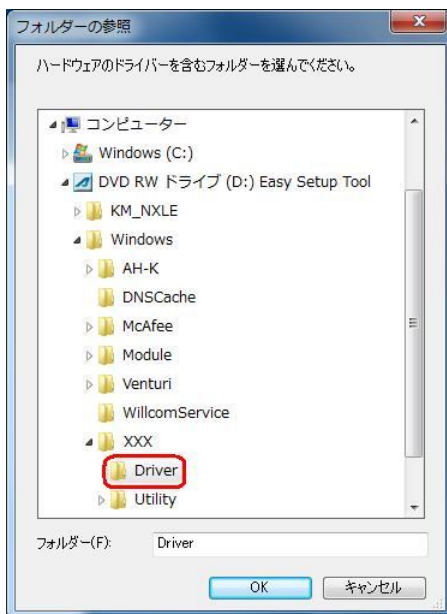
6. [コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します]をクリックします。



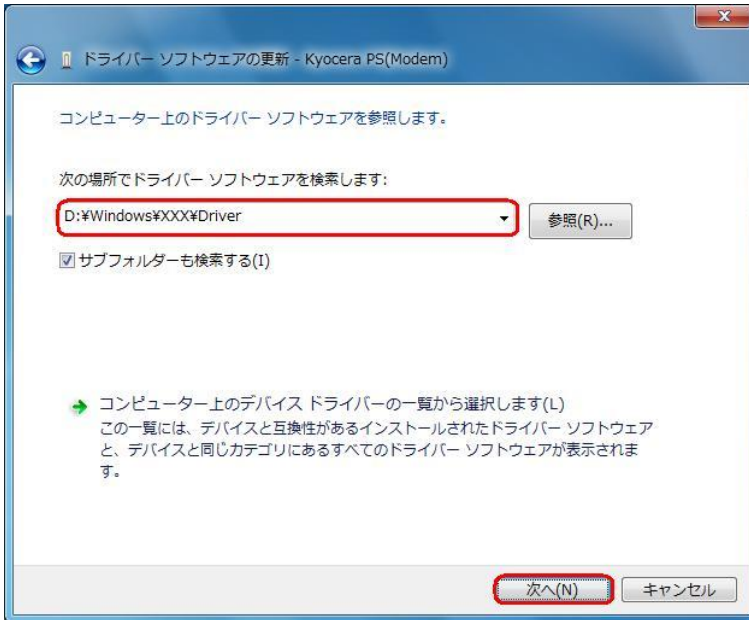
7. 同梱されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、[参照]をクリックします。
※USBドライバーをダウンロードされたお客様は、CD-ROMは必要ありません。



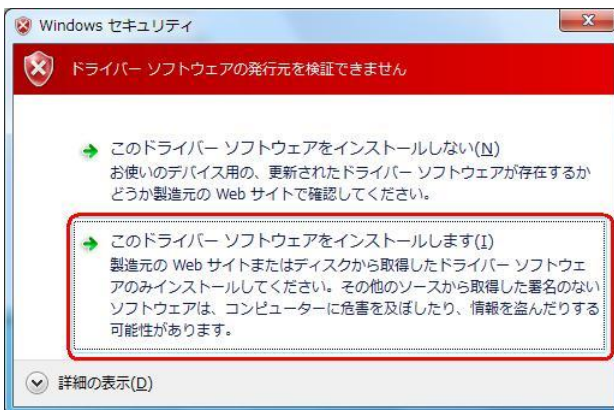
8. CD-ROMドライブの「Driver」フォルダを指定し、[OK]をクリックします。
※USBドライバーをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



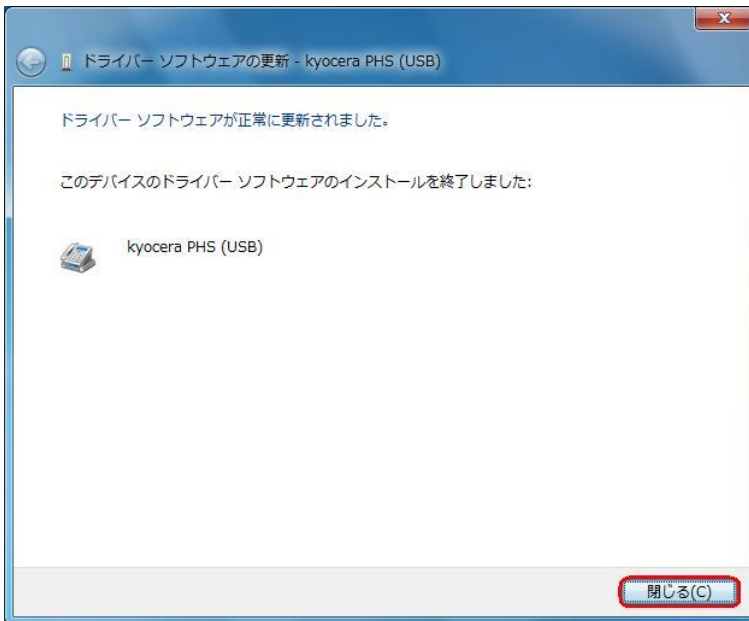
9. CD-ROM 内の「Driver」フォルダになっているか確認し、[次へ]をクリックします。クリック後、ドライバーの検索が始まります。しばらくお待ちください。
※USB ドライバーをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダが指定されているかご確認ください。



10. Windows セキュリティ画面が表示されましたら、[このドライバー ソフトウェアをインストールします]をクリックします。



11. しばらくするとインストール完了画面が表示されます。
[閉じる]をクリックします。



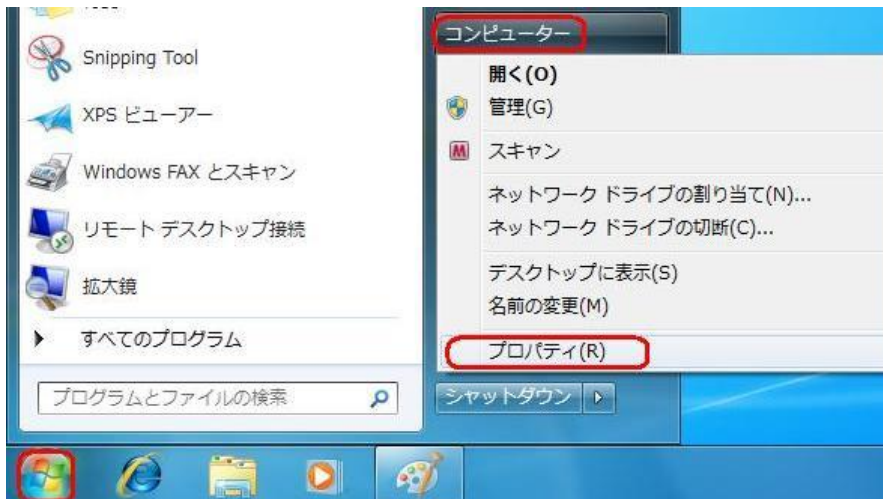
以上で CDC としてのモデム利用時の手動USB
ドライバーのインストール作業は終了です。

インストールされたドライバーの確認方法

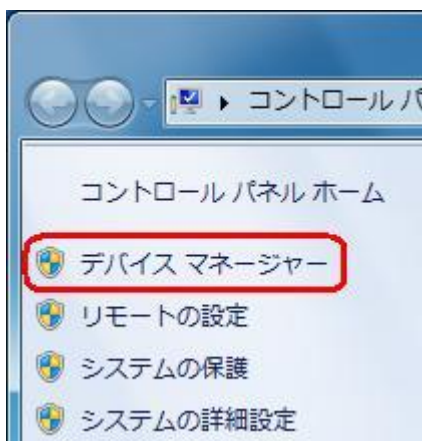
<Windows 7>

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

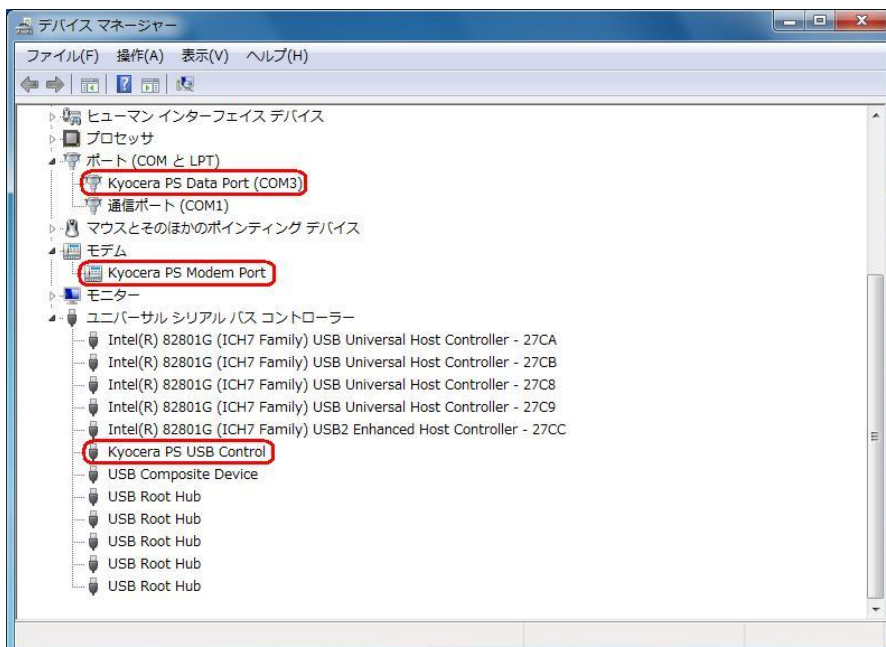
1. 電源を入れた状態のウィルコムの手話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続してください。パソコンの USB ポートには、ウィルコムの手話機以外の機器を接続しないようにしてください。
※手話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。
2. スタートをクリックし、コンピューターを右クリックするとメニューが出ます。[プロパティ]をクリックしてください。



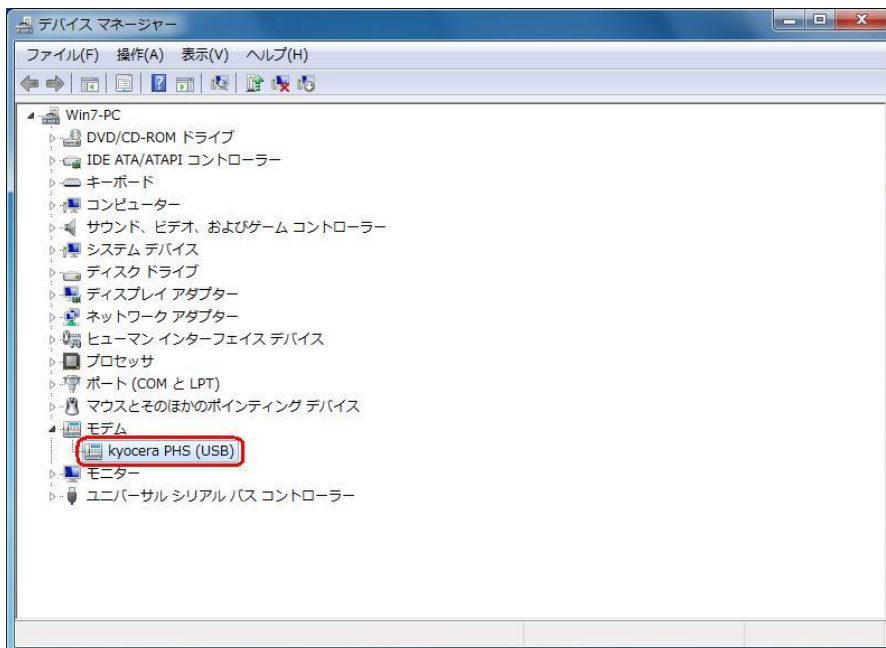
3. 画面左のタスクから[デバイス マネージャー]をクリックします。



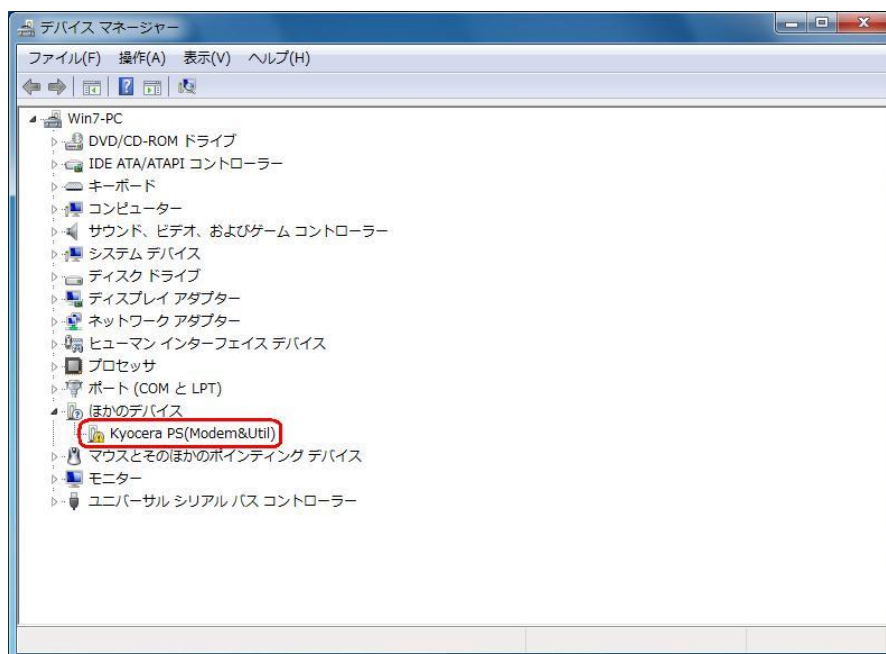
4. 正常にドライバーがインストールされていれば、[ポート (COM と LPT)]、[モデム]、[ユニバーサル シリアル バス コントローラー] の配下に、それぞれ [Kyocera PS DataPort]、[Kyocera PS Modem Port]、[Kyocera PS USB Control] が追加されます。



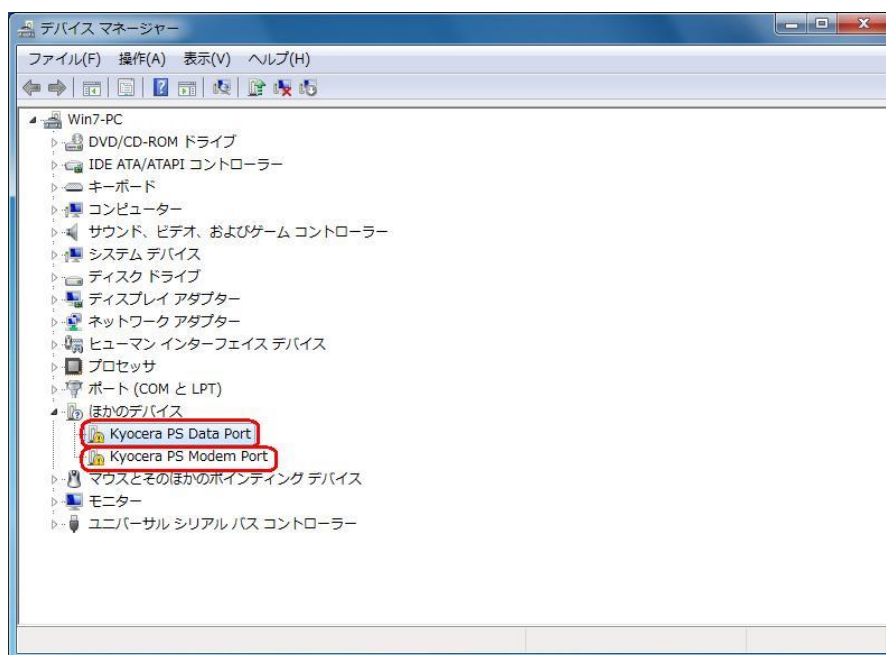
USB 設定が「モデム」に設定されている場合は下記のように[モデム]の配下に[kyocera PHS (USB)]が追加されます。



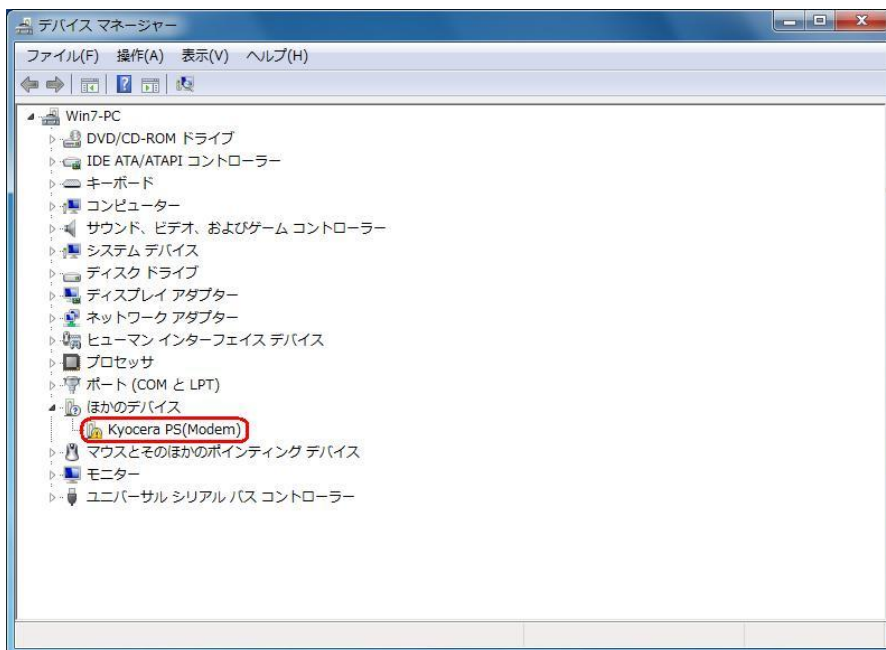
以下のように、[ほかのデバイス]に[Kyocera PS(Modem&Util)]、もしくは[Modem driver for Kyocera PS]、[Kyocera PS(Modem)]、[Communication Device Class Driver]が表示されている場合は、ドライバーのインストール作業が行われていません。
Windows 7での手動USBドライバーインストール方法の手順5からご確認ください。



[ほかのデバイス]に[Kyocera PS Data Port]、[Kyocera PS Modem Port]が表示されている場合は、ドライバーのインストール作業が中断されている可能性があります。
Windows 7での手動USBドライバーインストール方法の手順12もしくは19からご確認ください。



USB 設定が「モデム」に設定されている場合は下記のように表示される場合があります。ドライバーのインストール作業が行われていないので、CDC（Communication Device Class）のモデムとしてご利用になる場合の手動 USB ドライバーのインストール方法の手順5からご確認ください。



USBドライバーのアンインストール方法

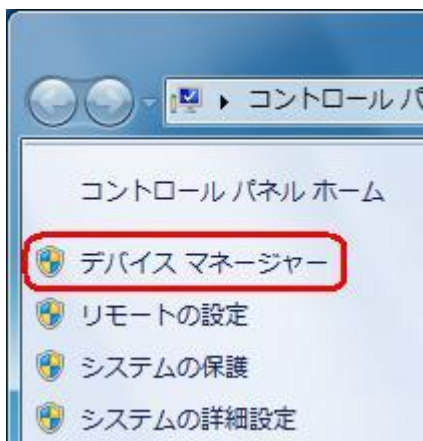
<Windows 7>

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。
※USB 設定を「モデム&ユーティリティ」に設定する必要があります。

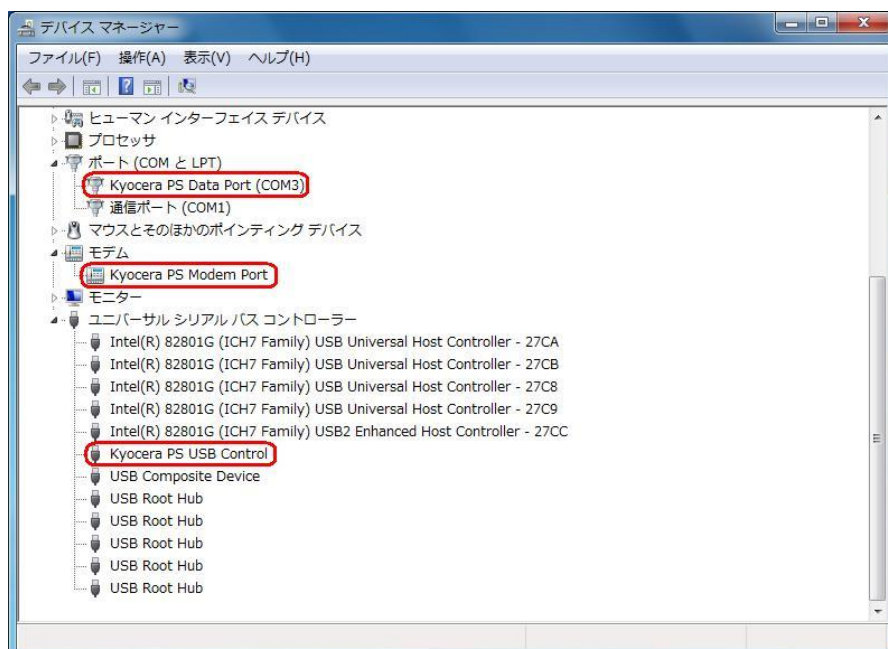
1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続します。パソコンの USB ポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。
※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。
2. スタートをクリックし、コンピューターを右クリックするとメニューが出ます。[プロパティ]をクリックしてください。



3. 画面左のタスクから[デバイス マネージャー]をクリックします。



4. 正常にドライバーがインストールされていれば、[ポート (COM と LPT)]、[モデム]、[ユニバーサル シリアル バス コントローラー] の配下に、それぞれ [Kyocera PS Data Port]、[Kyocera PS Modem Port]、[Kyocera PS USB Control] が追加されています。



5. [Kyocera PS Data Port]を右クリックして削除をクリックすると、下記の画面が表示されますので、[このデバイスのドライバー ソフトウェアを削除する]にチェックを入れて[OK]をクリックします。



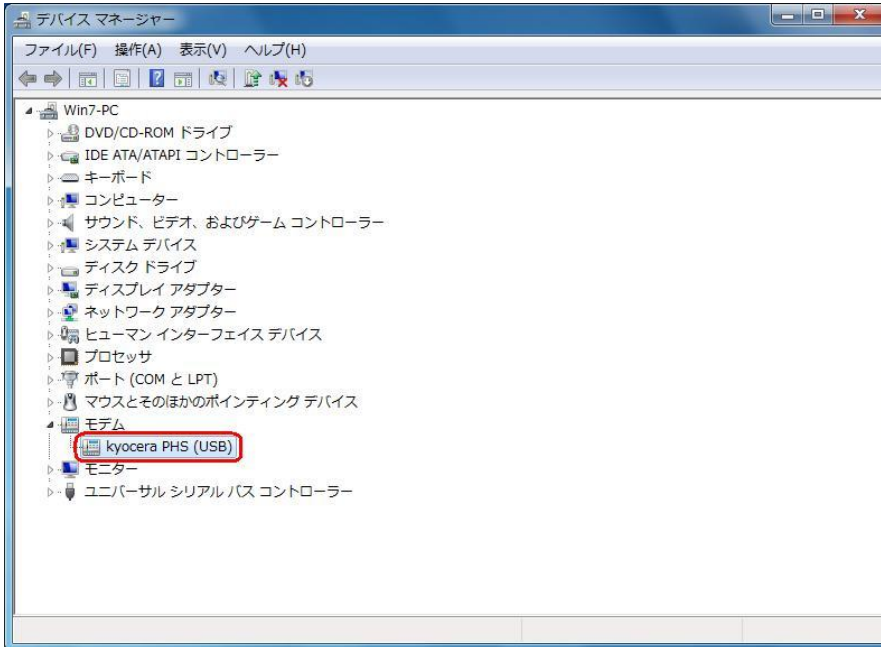
6. 続けて[Kyocera PS Modem Port] を右クリックして削除をクリックすると、下記の画面が表示されますので、[このデバイスのドライバー ソフトウェアを削除する]にチェックを入れて[OK]をクリックします。



7. 続けて[Kyocera PS USB Control] を右クリックして削除をクリックすると、下記の画面が表示されますので、[このデバイスのドライバー ソフトウェアを削除する]にチェックを入れて[OK]をクリックします。



(USB 設定が「モデム」に設定されている場合は下記のように[モデム]の配下に[kyocera PHS (USB)]が追加されています。上記手順6・7・8同様デバイスの削除を行ってください。)



これで USB ドライバーのアンインストールは終了です。

Windows Vista での手動 USB ドライバインストール方法

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

※本インストールマニュアルは、同梱の CD-ROM、もしくは京セラホームページからダウンロードした USB ドライバを利用した場合の手動インストール方法を記載しております。京セラホームページより USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダ（ドライバ）を参照場所として指定してください。

※このインストール作業を行う場合は、電話機本体の USB 設定を「モデム&ユーティリティ」に設定する必要があります。

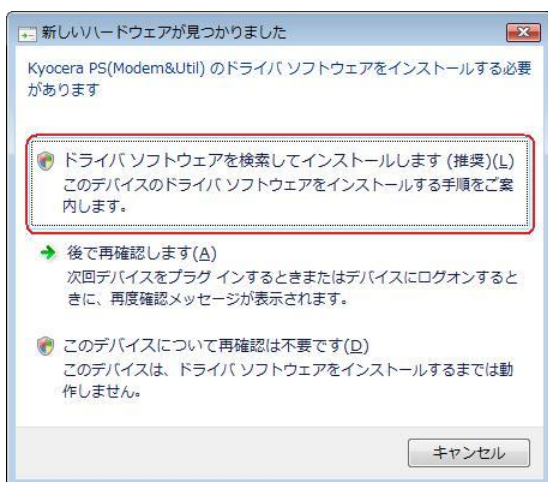
1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続します。パソコンの USB ポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。

※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。

2. しばらくするとインストール画面が表示されます。

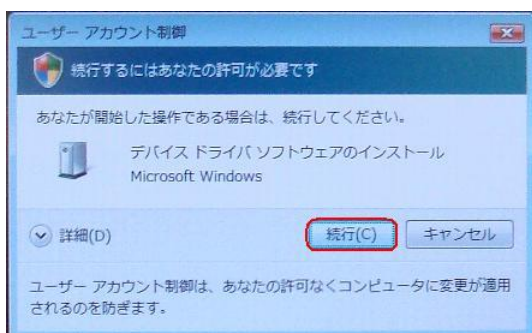
[ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。

※接続する電話機によっては、[Modem driver for Kyocera PS] と表示される場合があります。

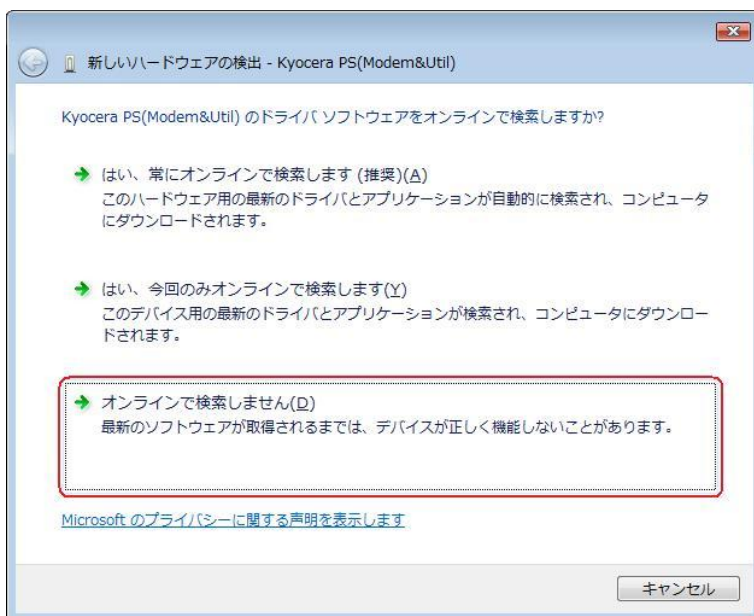


3. ユーザー アカウント制御画面が表示されましたら、[続行] をクリックします。

※パソコンの設定によっては表示されない場合もあります。



4. 下記画面が表示された場合は、[オンラインで検索しません]をクリックします。



●以降は下記を参照の上、該当する手順へお進み下さい。

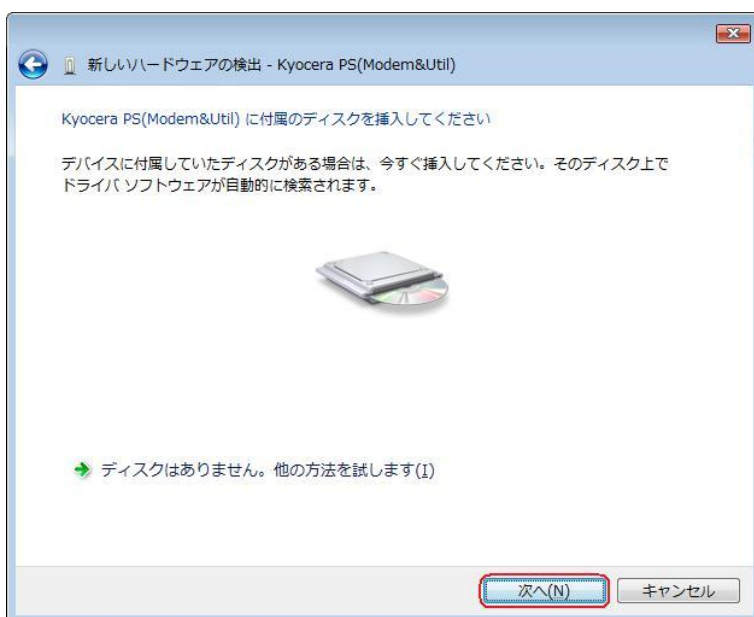
【同梱されている CD-ROM をご利用のお客様】

⇒ 手順5-1 へ

【ダウンロードした USB ドライバをご利用のお客様】

⇒ 手順5-2 へ

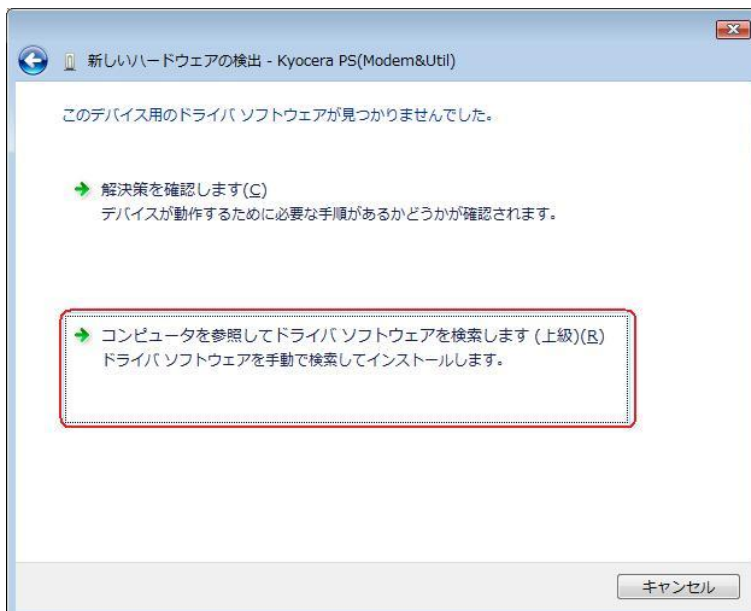
5-1. 同梱されている CD-ROM をご利用のお客様は、CD-ROM がドライブにセットされていることを確認し、[次へ]をクリックします。⇒ 手順10 へ



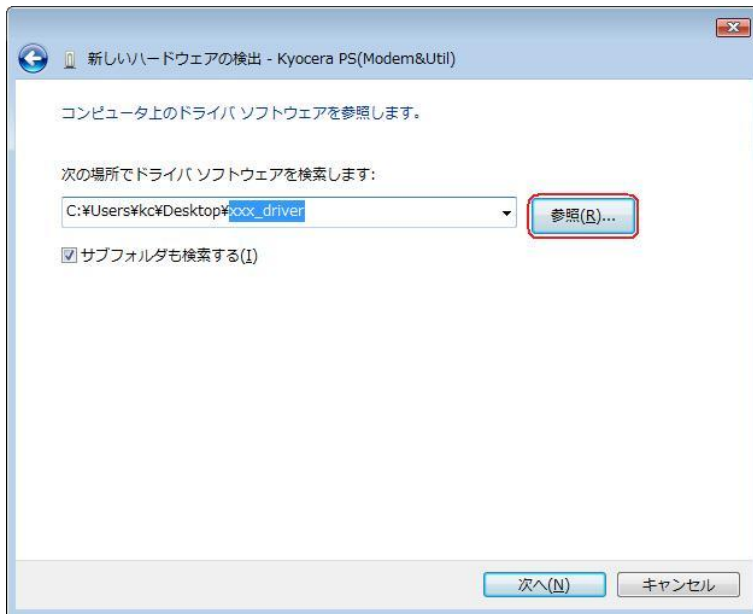
5-2. ダウンロードした USB ドライバをご利用のお客様は、[ディスクはありません。他の方法を試します。]をクリックします。⇒ 手順 6 へ



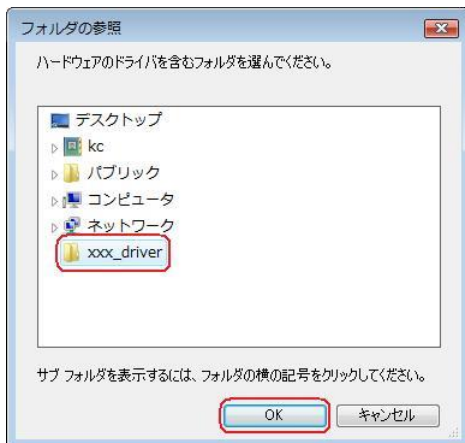
6. [コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します (上級)] をクリックします。



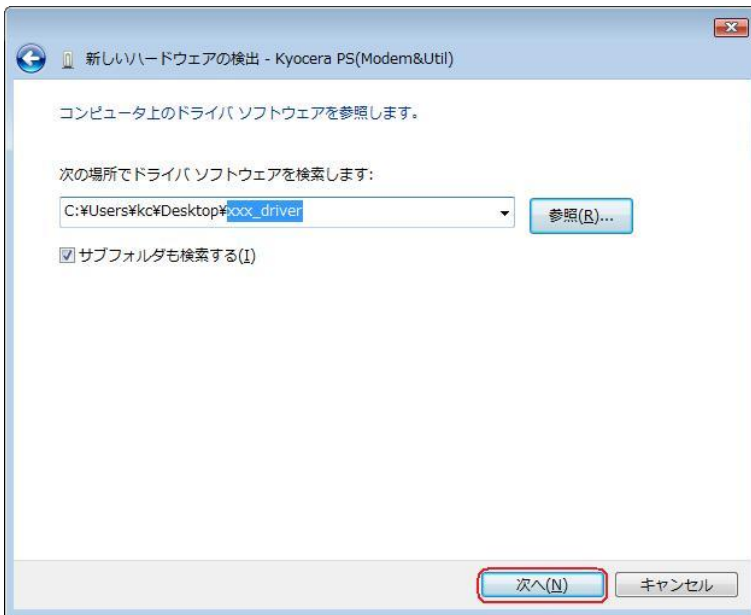
7. 解凍後のドライバフォルダが指定されていない場合は、[参照]をクリックします。
※既に指定されている場合は[次へ]をクリックしてください。⇒ 手順 10へ



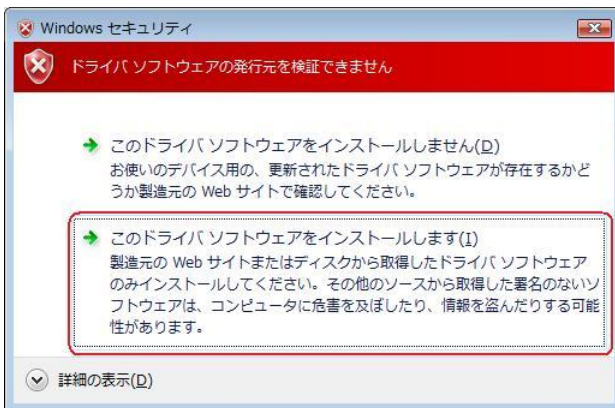
8. 解凍後のドライバフォルダを選択し[OK] をクリックします。



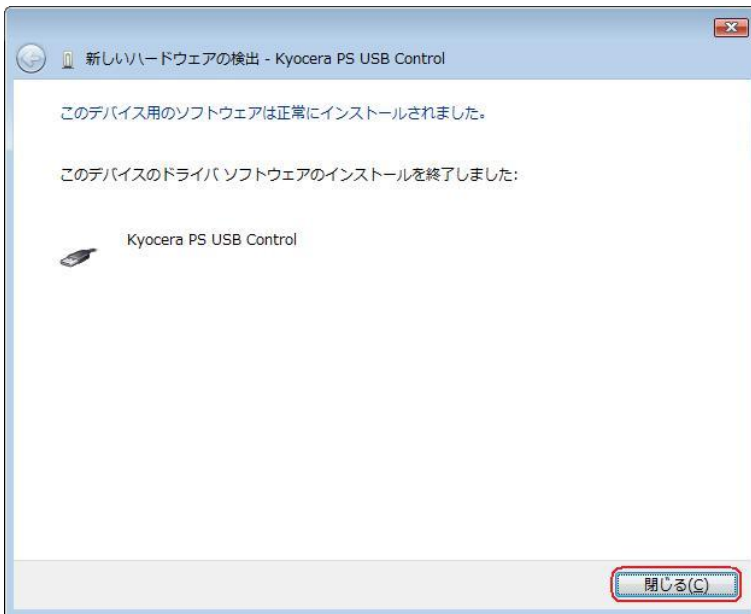
9. 解凍後のドライバフォルダが指定されていることを確認し、[次へ]をクリックします。



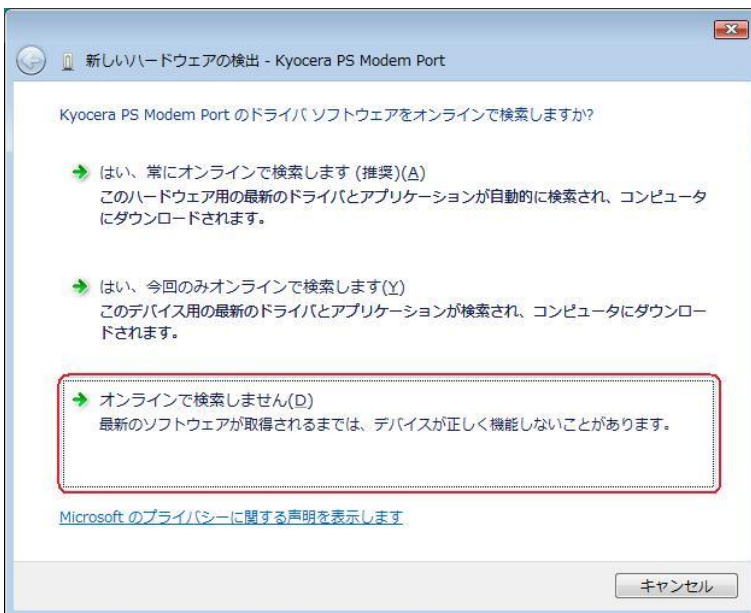
10. Windows セキュリティ画面が表示されましたら、[このドライバ ソフトウェアをインストールします]をクリックします。



- 1 1. しばらくするとインストール完了画面が表示されます。
[閉じる]をクリックします。



- 1 2. 続けて[Kyocera PS Modem Port]をインストールします。
下記画面が表示された場合は、[オンラインで検索しません]をクリックします。



●以降は下記を参照の上、該当する手順へお進み下さい。

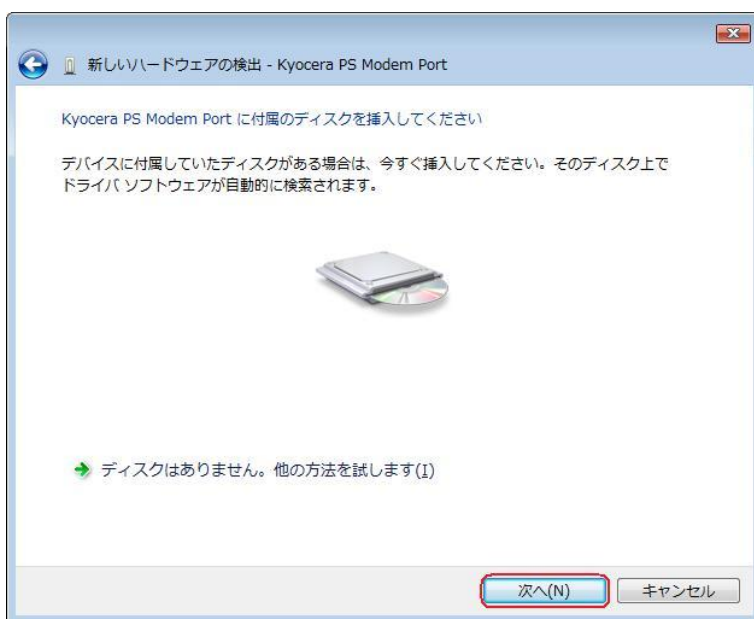
【同梱されているCD-ROMをご利用のお客様】

⇒ 手順13-1へ

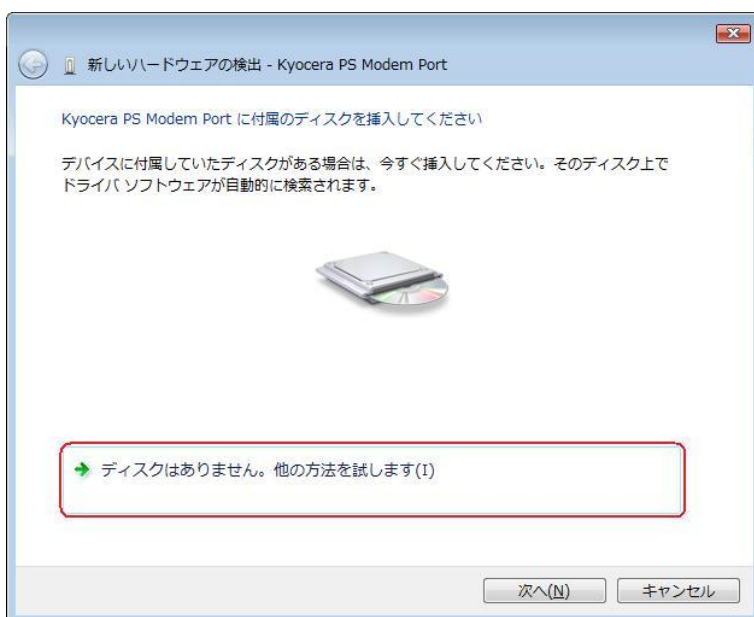
【ダウンロードしたUSBドライバをご利用のお客様】

⇒ 手順13-2へ

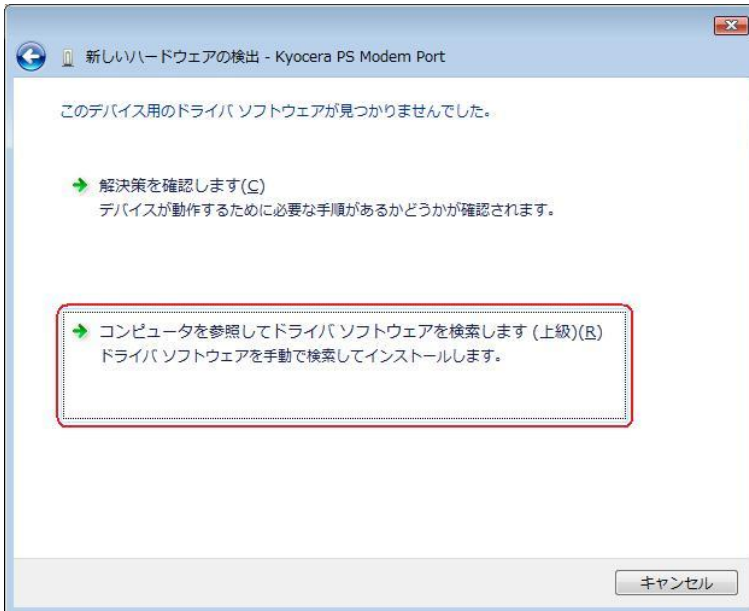
13-1. 同梱されているCD-ROMをご利用のお客様は、CD-ROMがドライブにセットされていることを確認し、[次へ]をクリックします。⇒ 手順18へ



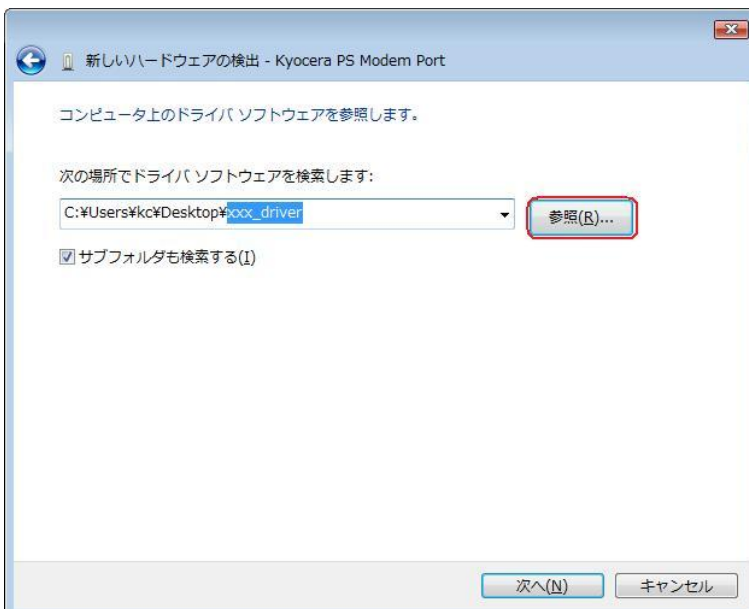
13-2. ダウンロードしたUSBドライバをご利用のお客様は[ディスクはありません。他の方法を試します。]をクリックします。⇒ 手順14へ



14. 手順6と同様に[コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します (上級)]をクリックします。



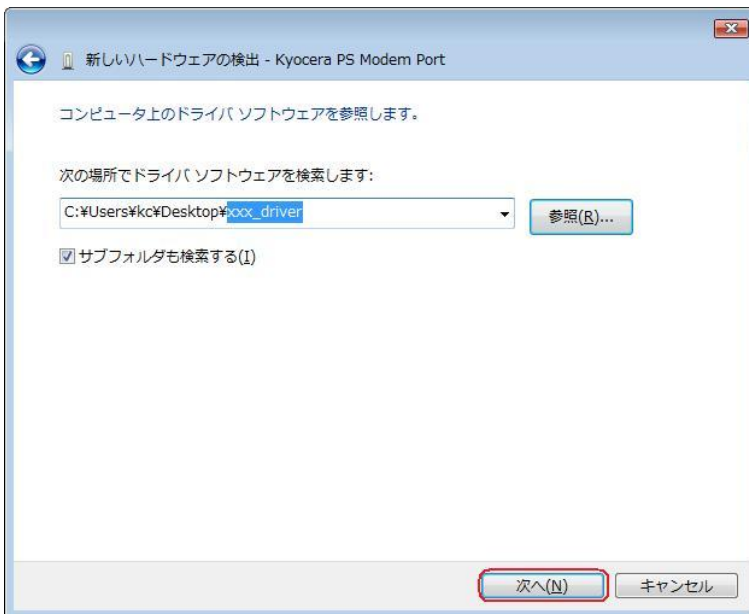
15. 手順7と同様に解凍後のドライバフォルダが指定されていない場合は、[参照]をクリックします。
※既に指定されている場合は[次へ]をクリックしてください。⇒ 手順 18 へ



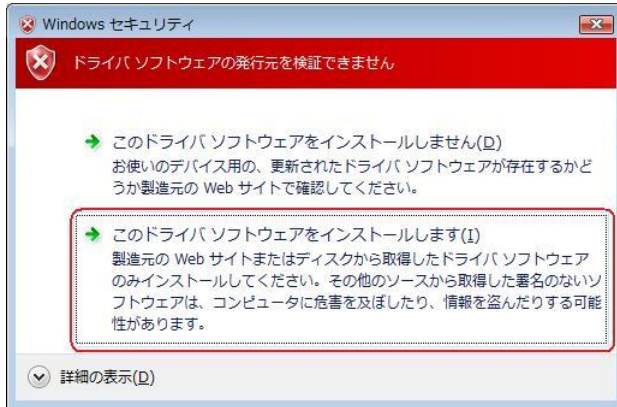
16. 手順8と同様に解凍後のドライバフォルダを選択し[OK] をクリックします。



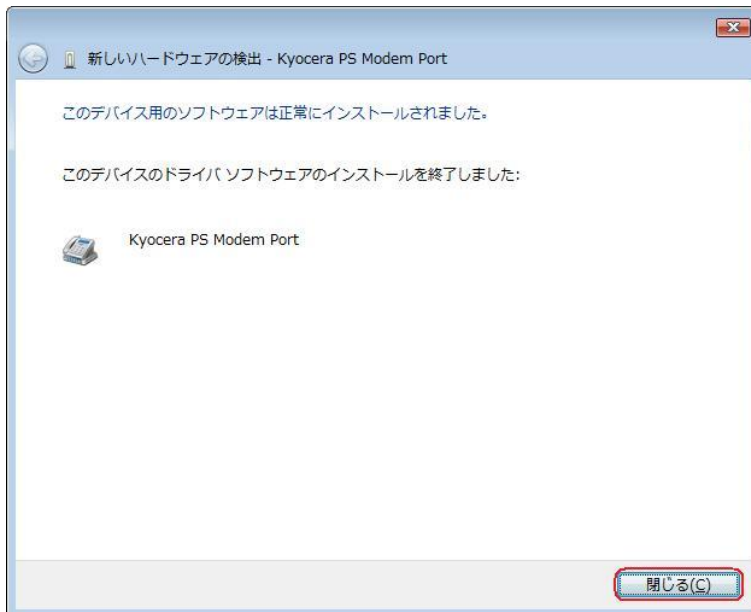
17. 手順9と同様に解凍後のドライバフォルダが指定されていることを確認し、[次へ] をクリックします。



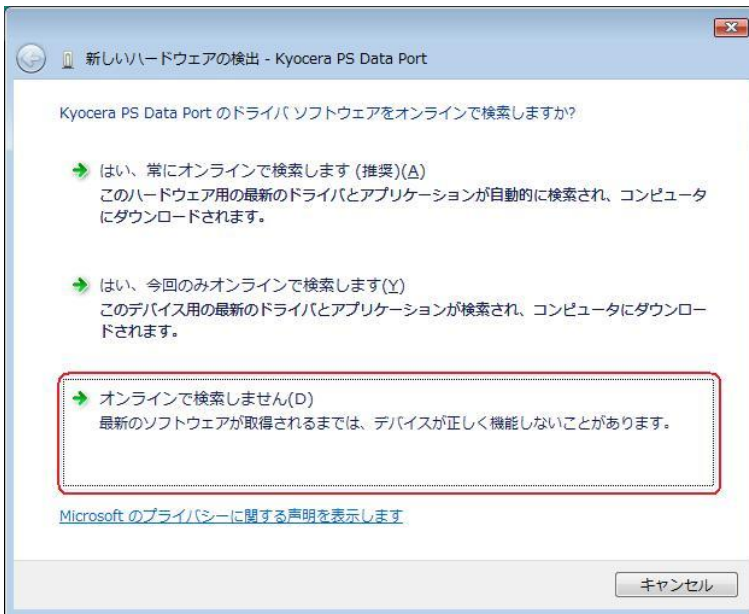
18. Windows セキュリティ画面が表示されましたら、[このドライバ ソフトウェアをインストールします。]をクリックします。



19. しばらくするとインストール完了画面が表示されます。
[閉じる]をクリックします。



20. 続けて[Kyocera PS Data Port]をインストールします。
下記画面が表示された場合は、[オンラインで検索しません]をクリックします。



- 以降は下記を参照の上、該当する手順へお進み下さい。

【同梱されている CD-ROM をご利用のお客様】

⇒ 手順 2 1-1 へ

【ダウンロードした USB ドライバをご利用のお客様】

⇒ 手順 2 1-2 へ

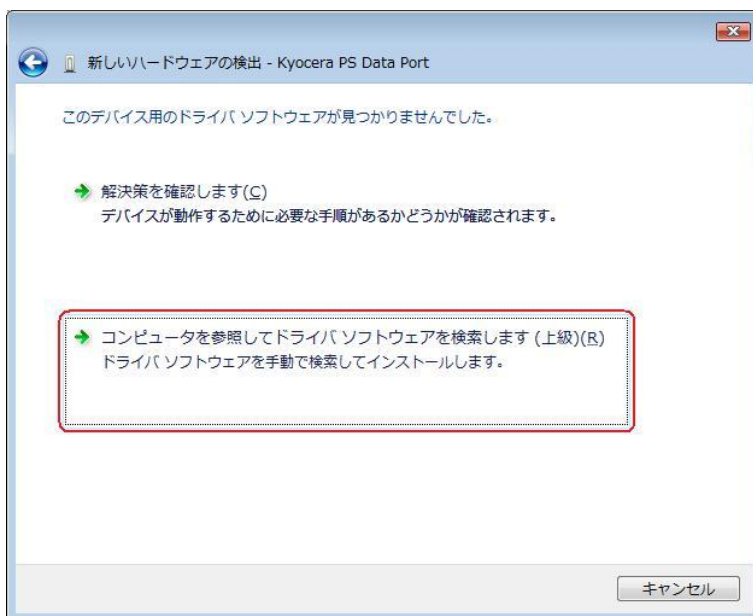
- 2 1-1. 同梱されている CD-ROM をご利用のお客様は、CD-ROM がドライブにセットされていることを確認し、[次へ]をクリックします。⇒ 手順 2 6 へ



21-2. ダウンロードした USB ドライバをご利用のお客様は[ディスクはありません。他の方法を試します。]をクリックします。⇒ 手順22へ

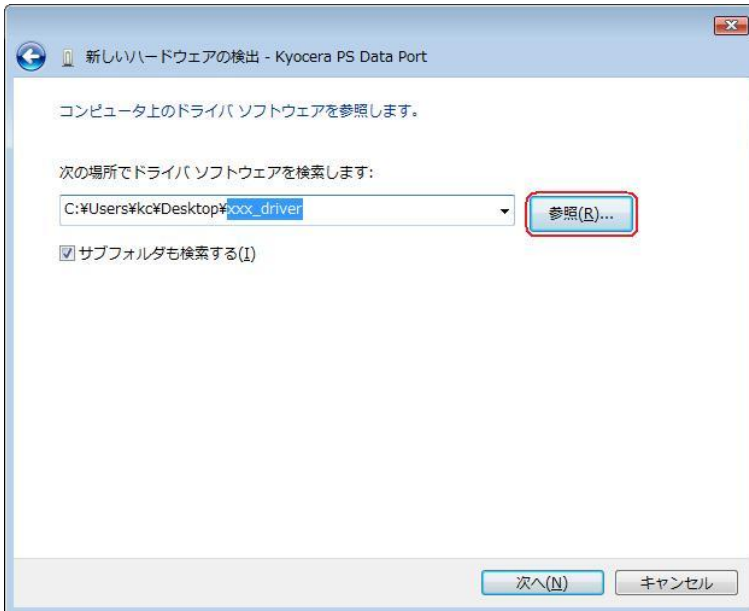


22. 手順6と同様に[コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します(上級)]をクリックします。

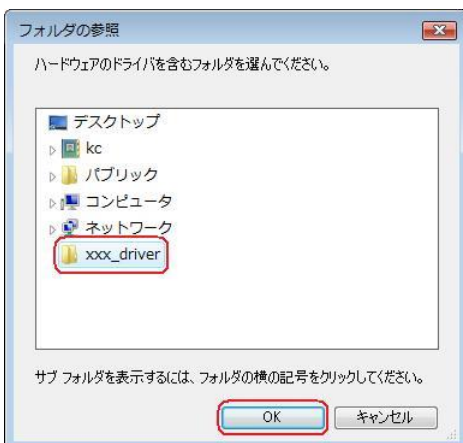


23. 手順7と同様に解凍後のドライバフォルダが指定されていない場合は、[参照]をクリックします。

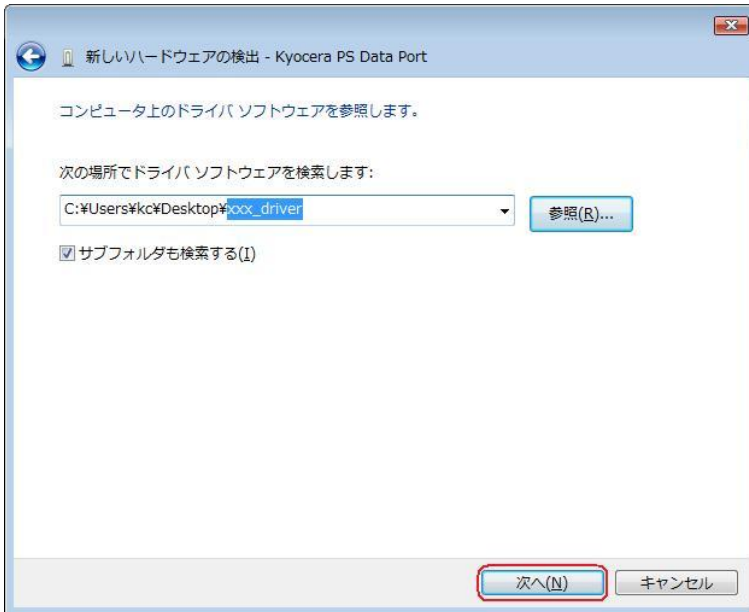
※既に指定されている場合は[次へ]をクリックしてください。⇒ 手順26へ



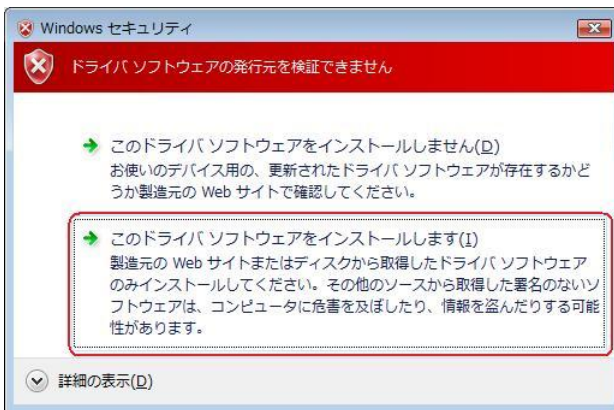
24. 手順8と同様に解凍後のドライバフォルダを選択し[OK] をクリックします。



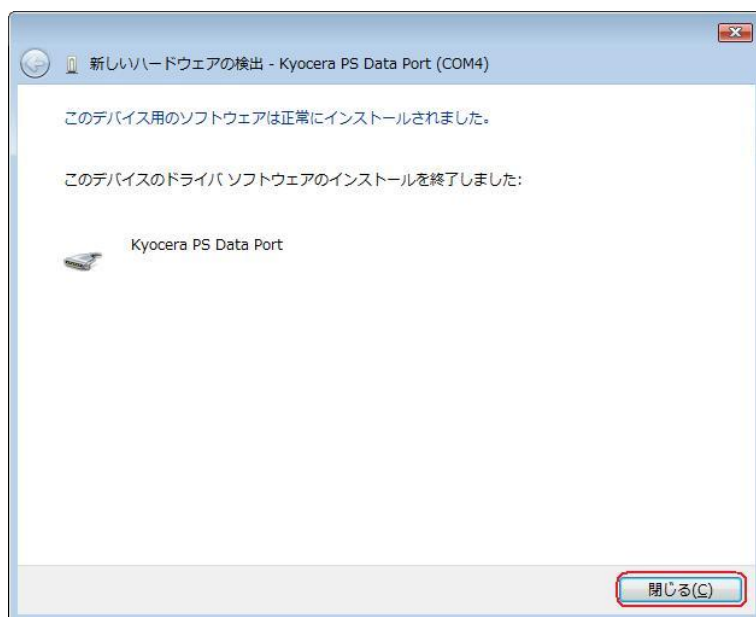
25. 手順9と同様に解凍後のドライバフォルダが指定されていることを確認し、[次へ]をクリックします。



26. Windows セキュリティ画面が表示されましたら、[このドライバソフトウェアをインストールします。]をクリックします。



27. しばらくするとインストール完了画面が表示されます。
[閉じる]をクリックします。



以上で手動USBドライバのインストール作業は終了です。

CDC (Communication Device Class) のモデムとして

ご利用になる場合の手動 USB ドライバのインストール方法

※上記手順1～27までの方法で既にインストールをされている方は、この方法でのインストール作業は不要です。

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

※本インストールマニュアルは、同梱の CD-ROM、もしくは京セラホームページからダウンロードした USB ドライバを利用した場合の手動インストール方法を記載しております。京セラホームページより USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダ（ドライバ）を参照場所として指定してください。ご利用の CD-ROM によっては正しくインストール出来ない場合がありますので、ご注意ください。

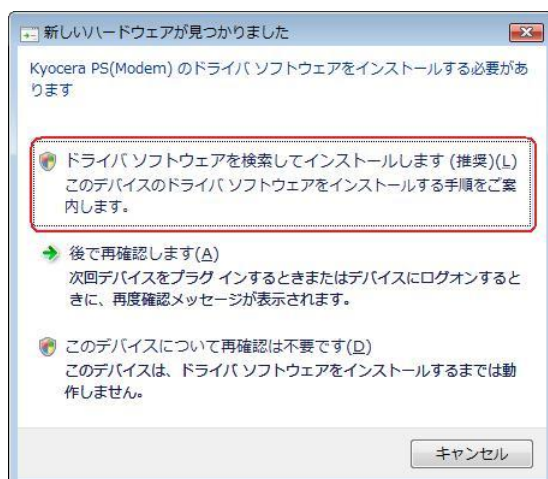
※このインストール作業を行う場合は、電話機本体の USB 設定を「モデム」にしてください。

※このインストール方法で USB ドライバをインストールされた場合、京セラ PHS ユーティリティはご利用いただけません。京セラ PHS ユーティリティをご利用になる場合は、USB 設定を「モデム&ユーティリティ」にさせていただき、改めてドライバのインストール（上記手順1～27）を行ってください

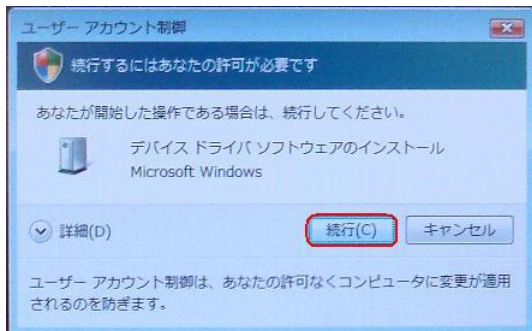
1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続します。パソコンの USB ポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。

※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。

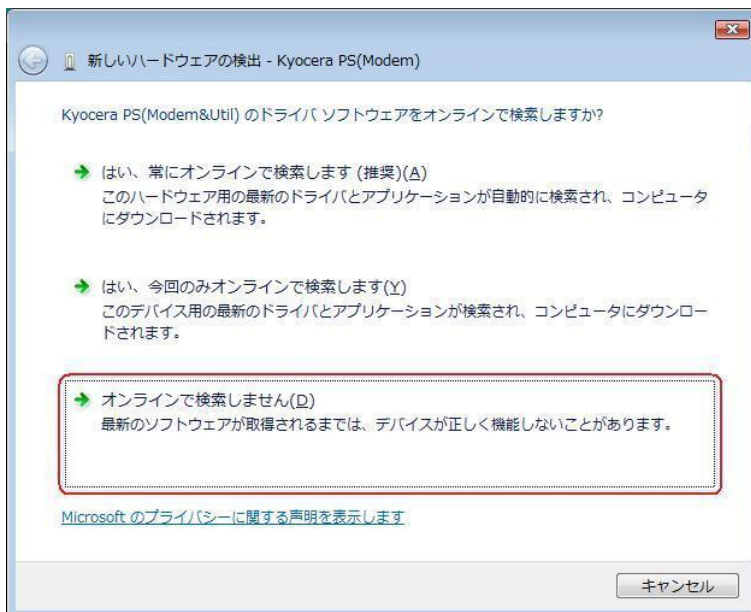
2. しばらくするとインストール画面が表示されます。
[ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。



3. ユーザー アカウント制御画面が表示されましたら、[続行]をクリックします。
※パソコンの設定によっては表示されない場合もあります。



4. 下記画面が表示された場合は、[オンラインで検索しません]をクリックします。



●以降は下記を参照の上、該当する手順へお進み下さい。

【同梱されているCD-ROMをご利用のお客様】

⇒ 手順5-1へ

【ダウンロードしたUSBドライバをご利用のお客様】

⇒ 手順5-2へ

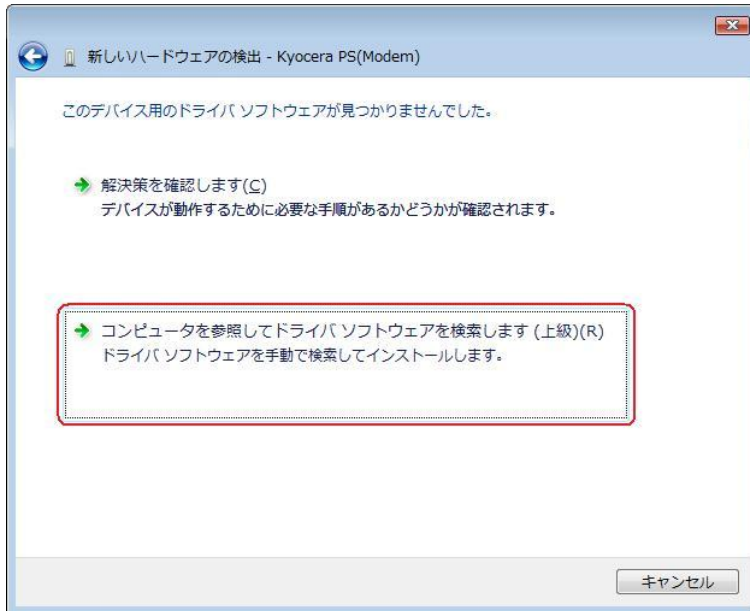
5-1. 同梱されているCD-ROMをご利用のお客様は、CD-ROMがドライブにセットされていることを確認し、[次へ]をクリックします。⇒ 手順10へ



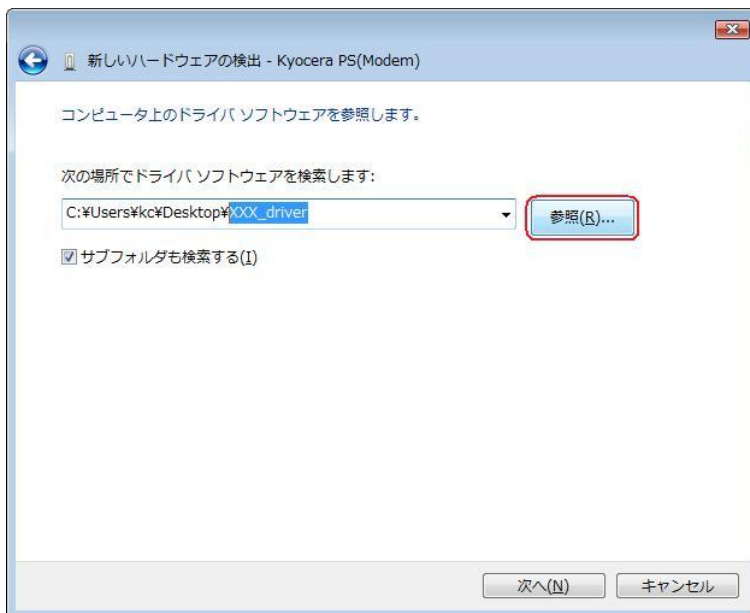
5-2. ダウンロードしたUSBドライバをご利用のお客様は、[ディスクはありません。他の方法を試します。]をクリックします。⇒ 手順6へ



6. [コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します (上級)] をクリックします。



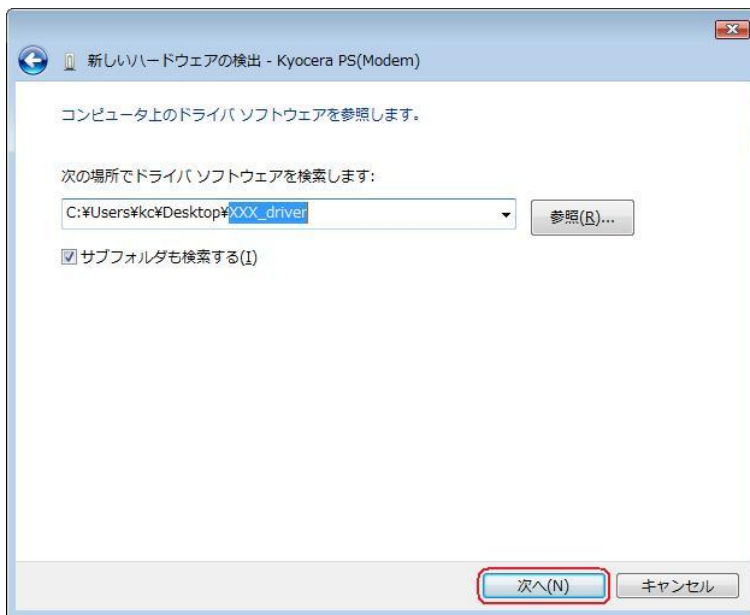
7. 解凍後のドライバフォルダが指定されていない場合は、[参照] をクリックします。
※既に指定されている場合は[次へ] をクリックしてください。⇒ 手順 10 へ



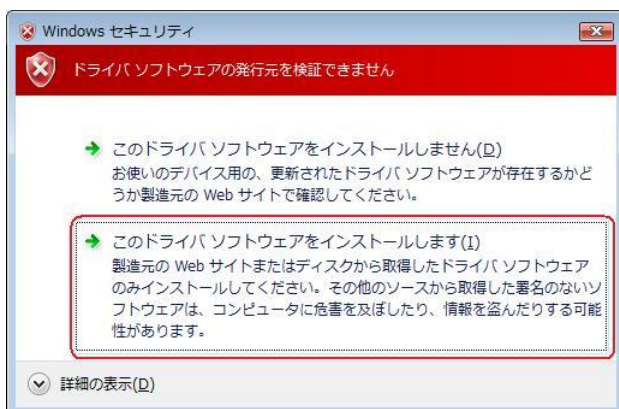
8. 解凍後のドライバフォルダを選択し[OK] をクリックします。



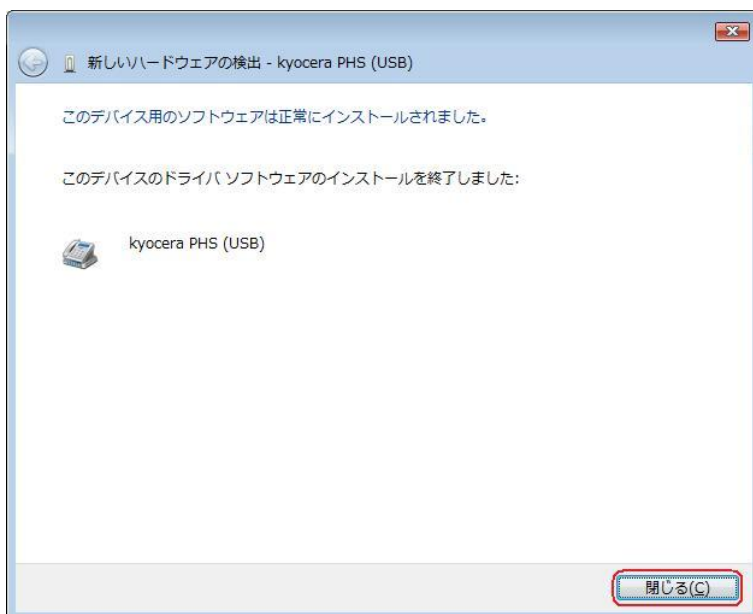
9. 解凍後のドライバフォルダが指定されていることを確認し、[次へ]をクリックします。



10. Windows セキュリティ画面が表示されましたら、[このドライバ ソフトウェアをインストールします]をクリックします。



11. しばらくするとインストール完了画面が表示されます。
[閉じる]をクリックします。



以上で CDC としてのモデム利用時の手動USB
ドライバのインストール作業は終了です。

インストールされたドライバの確認方法

<Windows Vista>

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

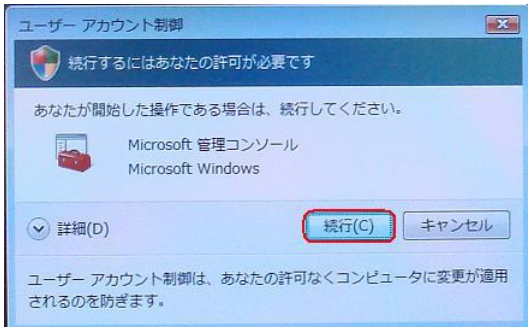
1. 電源を入れた状態のウィルコム携帯電話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続してください。パソコンの USB ポートには、ウィルコム携帯電話機以外の機器を接続しないようにしてください。
※携帯電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。
2. スタートをクリックし、コンピュータを右クリックするとメニューが出ます。[プロパティ]をクリックしてください。



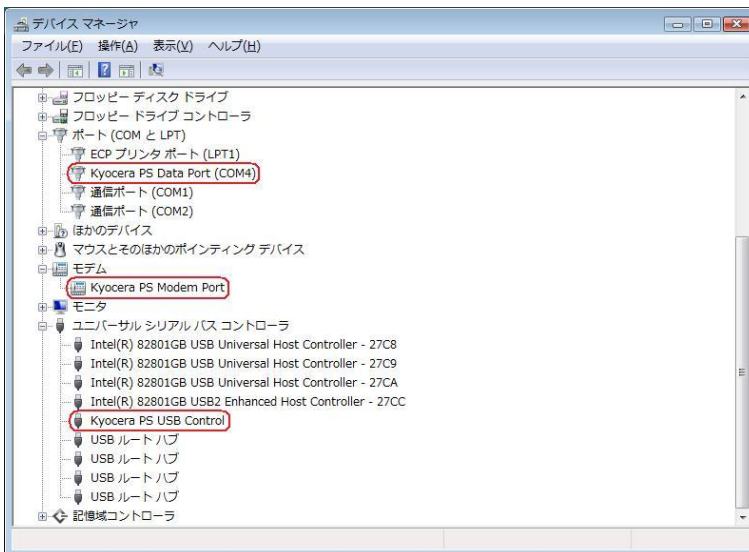
3. 画面左のタスクから[デバイスマネージャ]をクリックします。



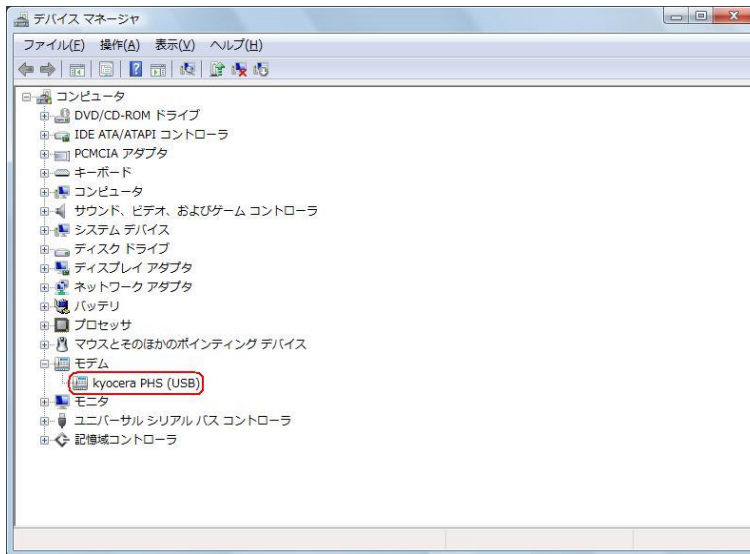
4. ユーザー アカウント制御画面が表示されましたら、[続行]をクリックします。
※パソコンの設定によっては表示されない場合もあります。



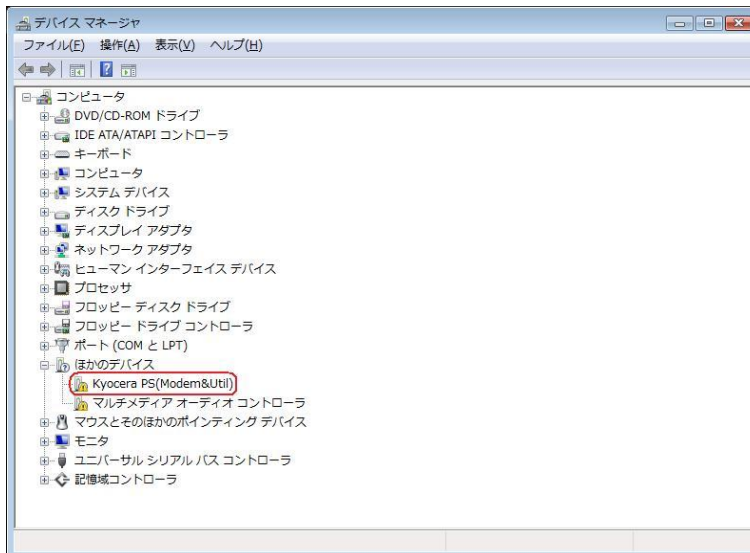
5. 正常にドライバがインストールされていれば、[ポート (COM と LPT)]、[モデム]、[ユニバーサル シリアル バス コントローラ] の配下に、それぞれ [Kyocera PS DataPort]、[Kyocera PS Modem Port]、[Kyocera PS USB Control] が追加されます。



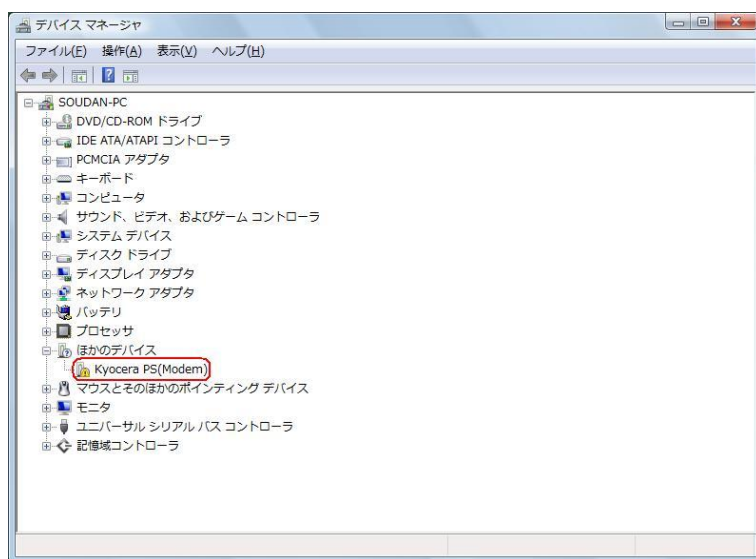
(USB 設定が「モデム」に設定されている場合は下記のように[モデム]の配下に[kyocera PHS (USB)]が追加されます。)



以下のように、[ほかのデバイス]に[Kyocera PS(Modem&Util)]、もしくは[Modem driver for Kyocera PS]、[Kyocera PS(Modem)]、[Communication Device Class Driver]が表示されている場合は、正しくドライバがインストールされていません。
正常にドライバがインストールされなかった場合の復旧方法をご確認ください。



(USB 設定が「モデム」に設定されている場合は下記のように表示される場合があります。)



正常にドライバがインストールされなかった場合の復旧方法

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

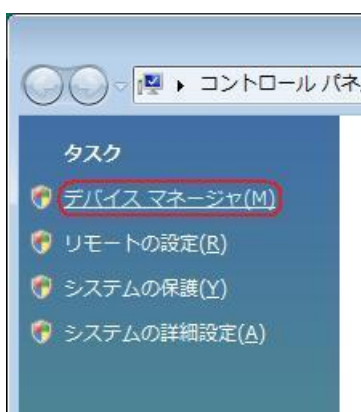
1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続してください。パソコンの USB ポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。

※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。

2. スタートをクリックし、コンピュータを右クリックするとメニューが出ます。[プロパティ]をクリックしてください。



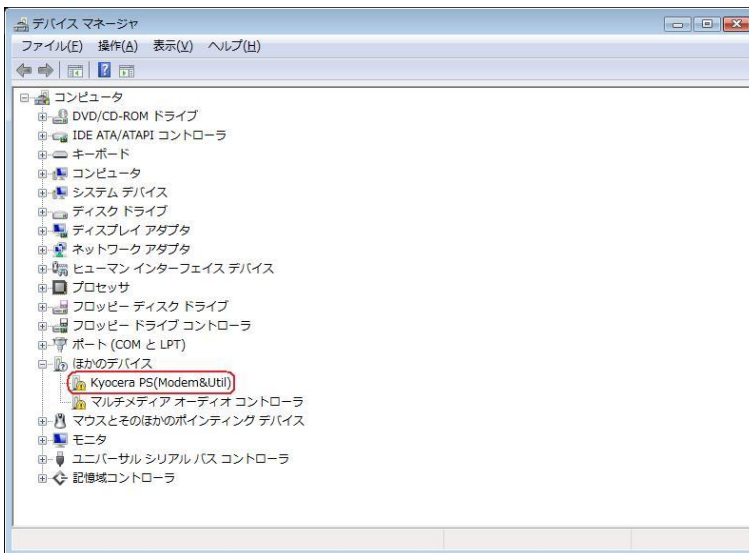
3. 画面左のタスクから[デバイスマネージャ]をクリックします。



4. ユーザー アカウント制御画面が表示されましたら、[続行]をクリックします。
※パソコンの設定によっては表示されない場合もあります。



5. ドライバのインストールに失敗している場合は、[ほかのデバイス]に[Kyocera PS (Modem&Util)]もしくは[Modem driver for Kyocera PS]、[Kyocera PS (Modem)]が追加されています。



6. [Kyocera PS (Modem&Util)]もしくは[Modem driver for Kyocera PS]、[Kyocera PS (Modem)]を**右クリック**して削除をクリックすると、下記の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。



7. 削除後は、Windows Vista での**手動 USB ドライバインストール方法**の手順もしくは、**CDC (Communication Device Class) のモデム**としてご利用になる場合の**手動 USB ドライバのインストール方法**の手順に従って、インストールを行います。

USBドライバのアンインストール方法

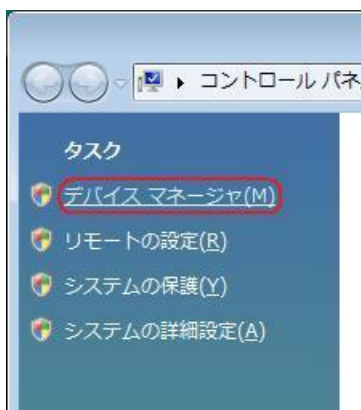
<Windows Vista>

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。
※USB 設定を「モデム&ユーティリティ」に設定する必要があります。

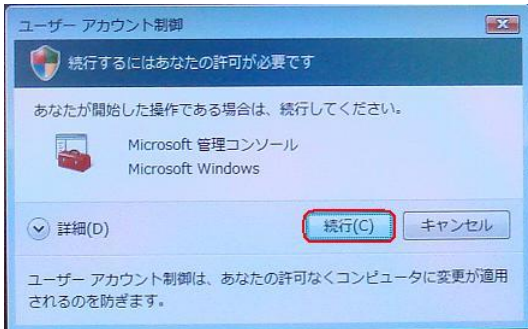
1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続します。パソコンの USB ポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。
※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。
2. スタートをクリックし、コンピュータを右クリックするとメニューが出ます。[プロパティ]をクリックしてください。



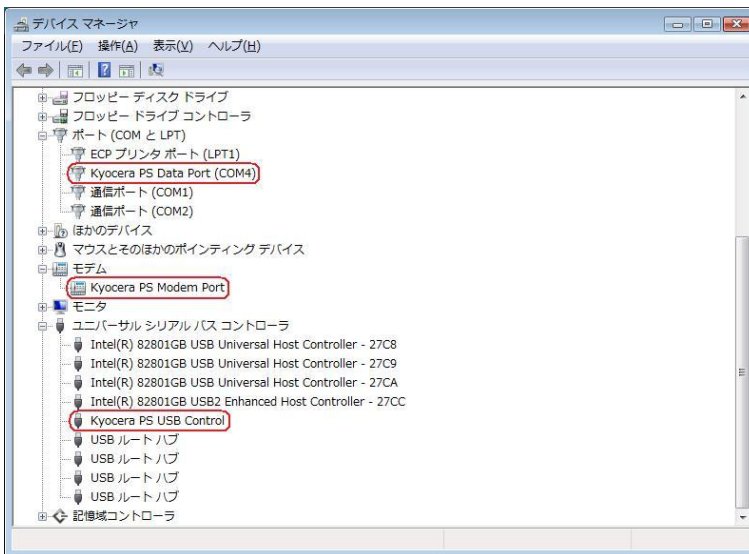
3. 画面左のタスクから[デバイスマネージャ]をクリックします。



4. ユーザー アカウント制御画面が表示されましたら、[続行]をクリックします。
※パソコンの設定によっては表示されない場合もあります。



5. 正常にドライバがインストールされていれば、[ポート (COM と LPT)]、[モデム]、[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]の配下に、それぞれ[Kyocera PS Data Port]、[Kyocera PS Modem Port]、[Kyocera PS USB Control] が追加されています。



6. [Kyocera PS Data Port]を右クリックして削除をクリックすると、下記の画面が表示されますので、[このデバイスのドライバ ソフトウェアを削除する]にチェックを入れて[OK]をクリックします。



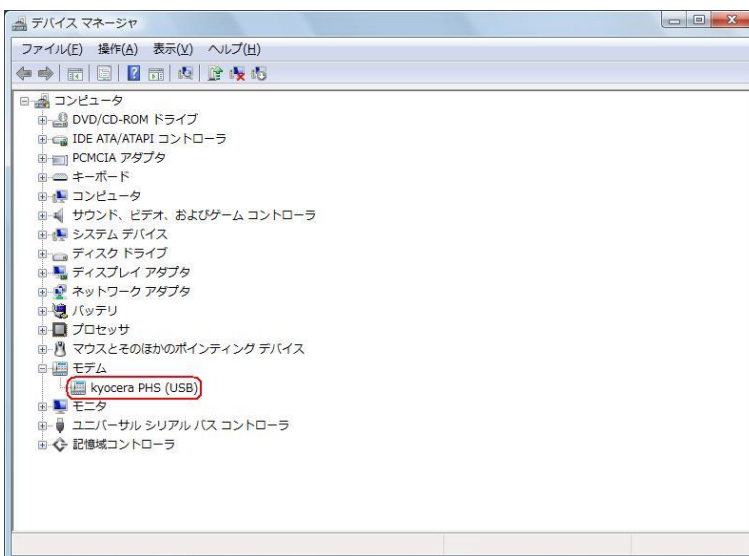
7. 続けて[Kyocera PS Modem Port] を右クリックして削除をクリックすると、下記の画面が表示されますので、[このデバイスのドライバ ソフトウェアを削除する]にチェックを入れて[OK]をクリックします。



8. 続けて[Kyocera PS USB Control] を右クリックして削除をクリックすると、下記の画面が表示されますので、[このデバイスのドライバ ソフトウェアを削除する]にチェックを入れて[OK]をクリックします。



(USB 設定が「モデム」に設定されている場合は下記のように[モデム]の配下に[kyocera PHS (USB)]が追加されています。上記手順6・7・8同様デバイスの削除を行ってください。)



これで USB ドライバのアンインストールは終了です。

Windows XP での手動 USB ドライバインストール方法

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

※本インストールマニュアルは、CD-ROM からの手動インストール方法を例に記載しておりますので、参照先が CD-ROM のドライバになっております。

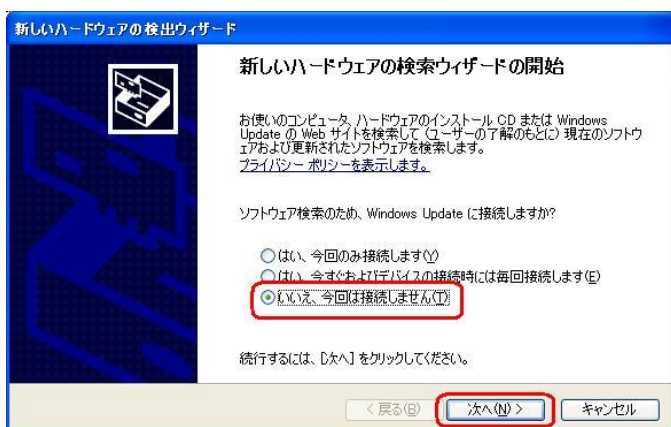
京セラホームページより USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダ（ドライバ）を参照場所として指定してください。

※このインストール作業を行う場合は、電話機本体の USB 設定を「モデム&ユーティリティ」にしてください。

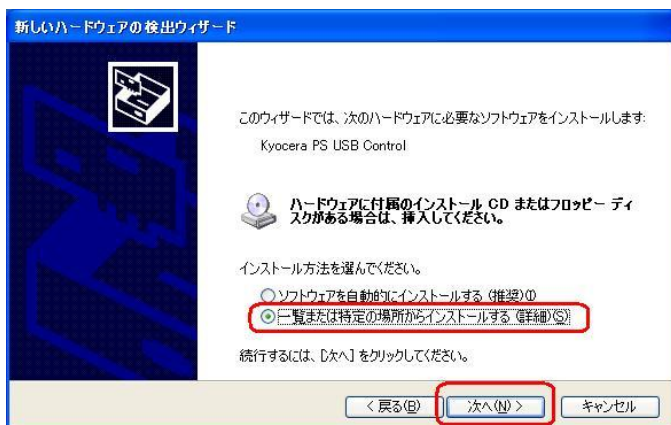
1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続します。パソコンの USB ポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。

※電話機の画面にマスマスレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。

2. しばらくするとインストール画面が表示されます。
[いいえ、今回は接続しません]にチェックして[次へ]をクリックします。
(SP2 を適用されていない場合は、この画面は表示されません。)

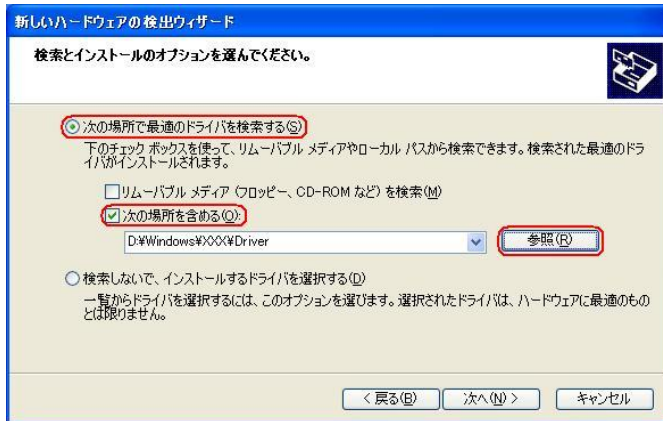


3. [一覧または特定の場所からインストールする（詳細）]をチェックし、[次へ]をクリックします。



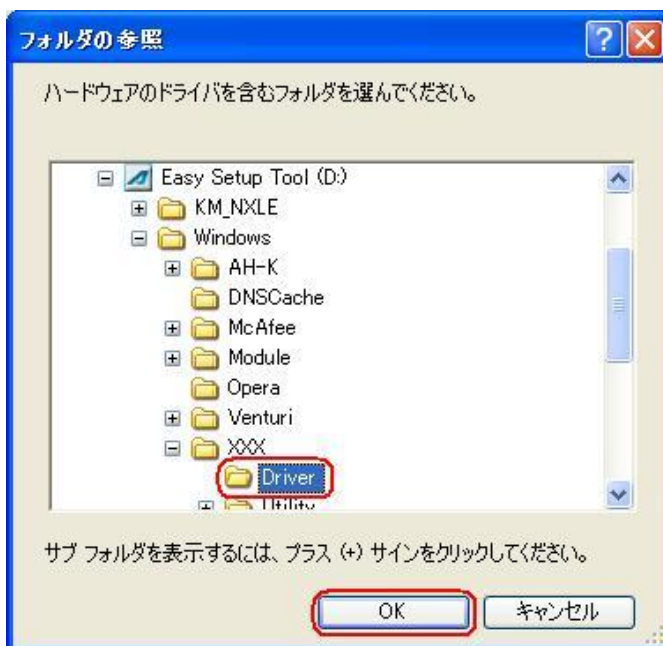
4. 同梱されている CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[次の場所を含める]を
チェックし、[参照]をクリックします。

※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、CD-ROM は必要ありません。

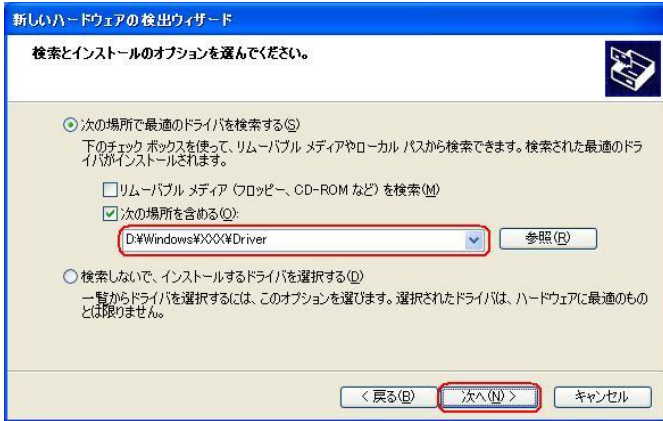


5. CD-ROM ドライブの「Driver」フォルダを指定し、[OK]をクリックします。

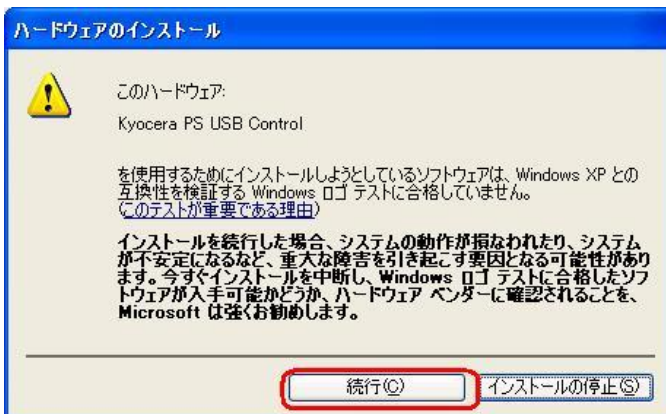
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



6. CD-ROM 内の「Driver」フォルダになっているか確認し、[次へ]をクリックします。クリック後、ドライバの検索が始まります。しばらくお待ちください。
- ※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダが指定されているかご確認下さい。



7. ドライバのインストールに対する注意が表示される場合がありますが、問題はありません。[続行]をクリックします。クリック後、ドライバのインストールが開始されます。しばらくお待ちください。



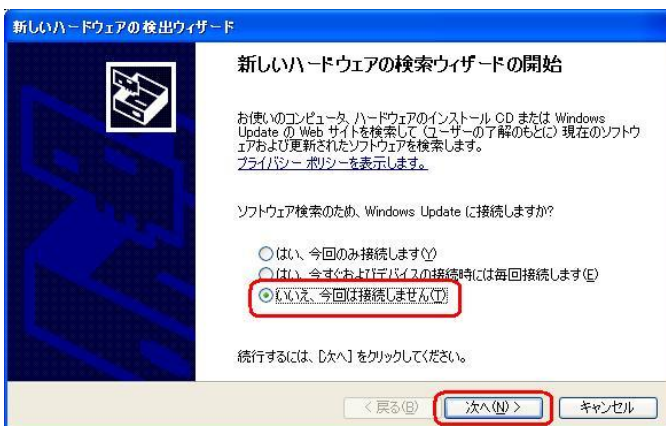
8. ドライバのインストール中に下記のような画面が表示されることがあります。
この場合は[参照]をクリックし、手順5と同様にCD-ROMドライブの「Driver」フォルダを指定し[OK]をクリックします。
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



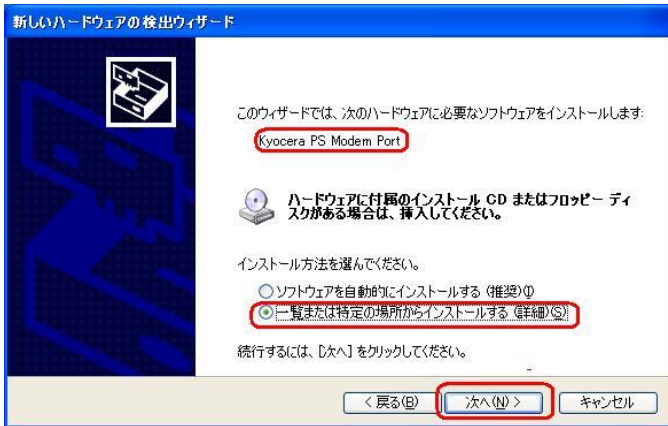
9. [完了]をクリックします。



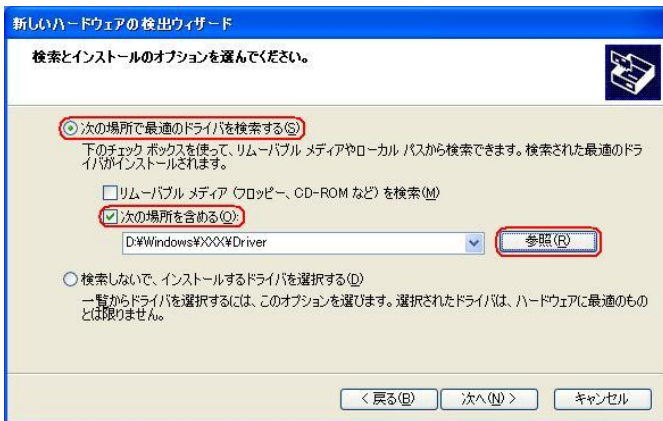
10. 続けて[Kyocera PS Modem Port]をインストールします。
[いいえ、今回は接続しません]にチェックして[次へ]をクリックします。
(SP2 を適用されていない場合は、この画面は表示されません。)



11. 手順3と同様に[一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]をチェックし、[次へ]をクリックします。

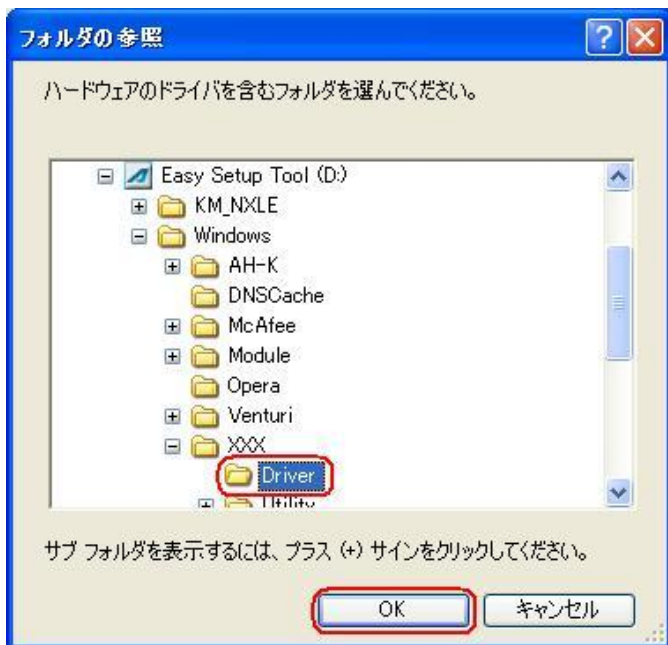


12. 手順4と同様に[次の場所を含める]をチェックし、[参照]をクリックします。



13. 手順5と同様に CD-ROM 内の「Driver」フォルダを指定し、[OK]をクリックします。

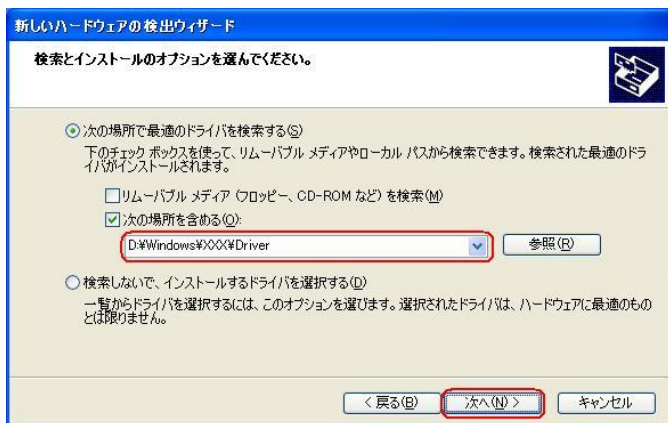
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



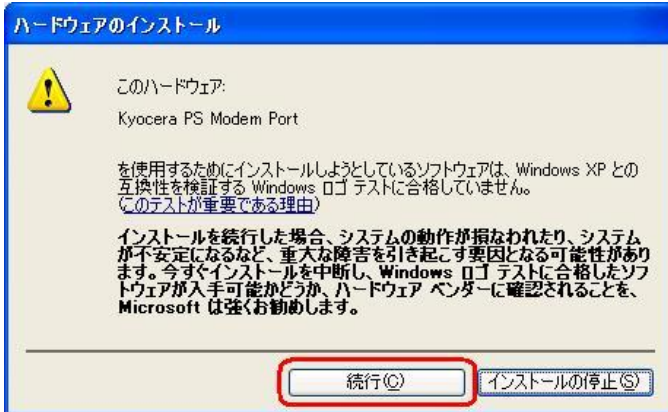
14. 手順6と同様に CD-ROM 内の「Driver」フォルダになっていることを確認し、[次へ]をクリックします。

クリック後、ドライバの検索が始まります。しばらくお待ちください。

※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダが指定されているかご確認下さい。



15. ドライバのインストールに対する注意が表示される場合がありますが問題は
ありません。[続行]をクリックします。
クリック後、ドライバのインストールが開始されます。しばらくお待ちください。



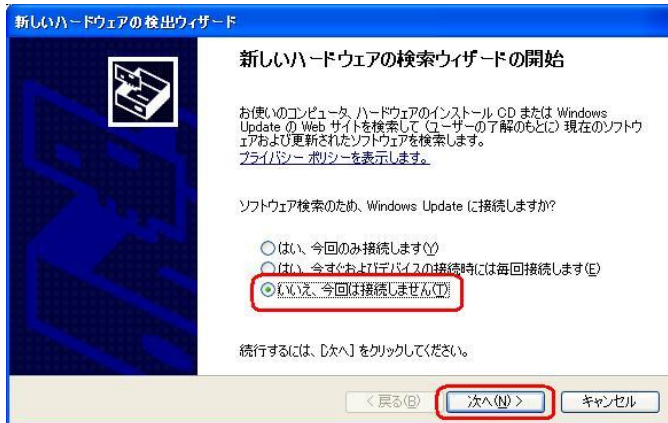
16. ドライバのインストール中に下記のような画面が表示する場合があります。
この場合 は[参照]をクリックし、手順5と同様に CD-ROM 内の「Driver」
フォルダを指定し[OK]をクリックします。
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



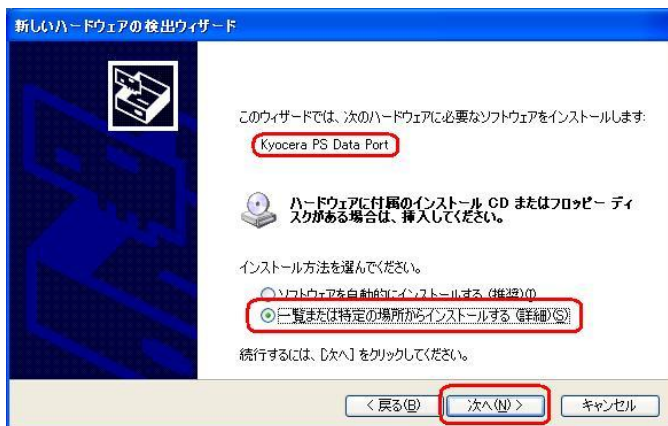
17. [完了]をクリックします。



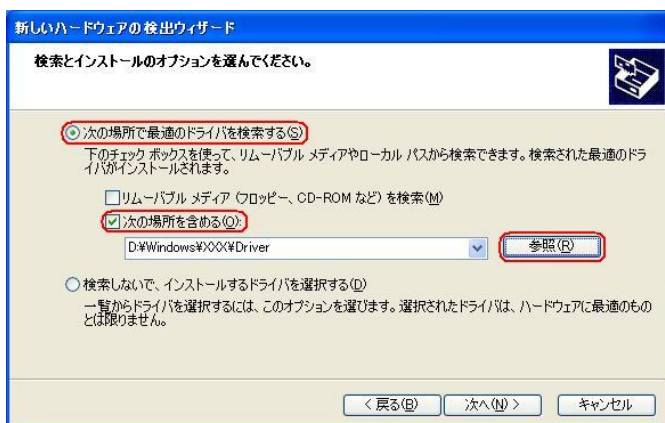
18. 続けて[Kyocera PS Data Port]をインストールします。
[いいえ、今回は接続しません]にチェックして[次へ]をクリックします。
(SP2 を適用されていない場合は、この画面は表示されません。)



19. 手順3と同様に[一覧または特定の場所からインストールする (詳細)]を
チェックし、[次へ]をクリックします。



20. 手順4と同様に[次の場所を含める]をチェックし、[参照]をクリックします。



21. 手順5と同様に CD-ROM ドライブの「Driver」フォルダを指定し、[OK]をクリックします。

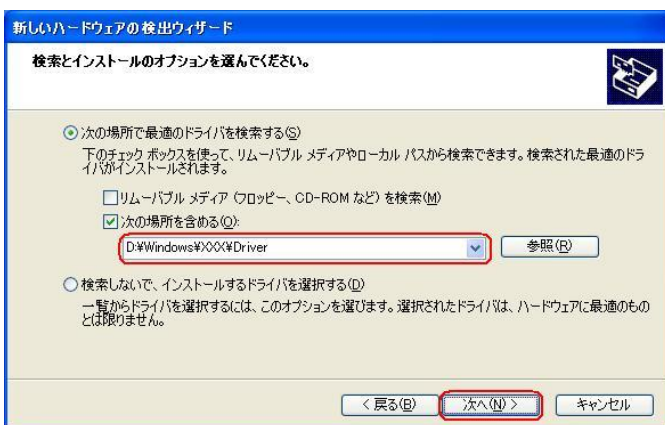
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



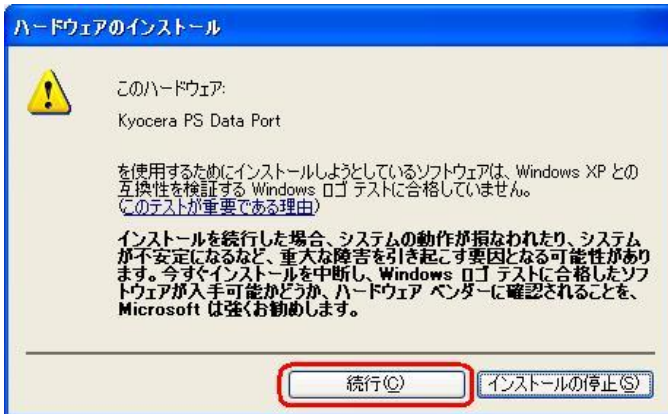
22. 手順6と同様に CD-ROM 内の「Driver」フォルダになっていることを確認し、[次へ]をクリックします。

クリック後、ドライバの検索が始まります。しばらくお待ちください。

※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダが指定されているかご確認下さい。



23. ドライバのインストールに注意が表示される場合がありますが問題はありません。
[続行]をクリックします。
クリック後、ドライバのインストールが開始されます。しばらくお待ちください。



24. ドライバのインストール中に下記のような画面が表示する場合があります。
この場合は[参照]をクリックし、手順5と同様に CD-ROM 内の「Driver」フォルダを指定し [OK]をクリックします。
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



25. [完了]をクリックします。



以上で手動USBドライバのインストール作業は終了です。

CDC (Communication Device Class) のモデムとして ご利用になる場合の手動 USB ドライバのインストール方法

※上記手順 1～25 までの方法で既にインストールをされている方は、この方法でのインストール作業は不要です。

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

※本インストールマニュアルは、CD-ROM からの手動インストール方法を例に記載しておりますので、参照先が CD-ROM のドライバになっております。

京セラホームページより USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダ (ドライバ) を参照場所として指定してください。

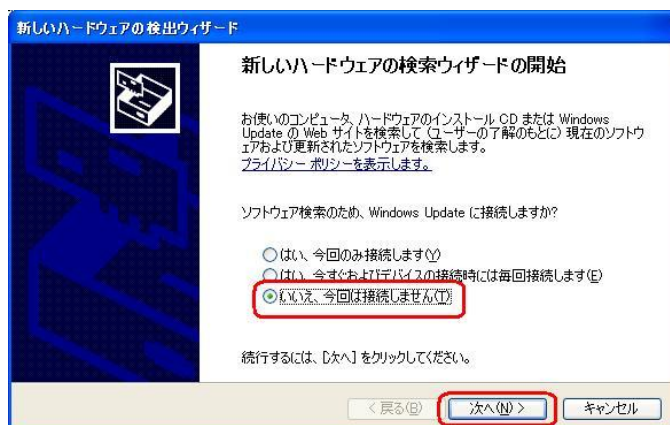
※このインストール作業を行う場合は、電話機本体の USB 設定を「モデム」にしてください。

※このインストール方法で USB ドライバをインストールされた場合、京セラ PHS ユーティリティはご利用いただけません。京セラ PHS ユーティリティをご利用になる場合は、USB 設定を「モデム&ユーティリティ」にさせていただき、改めてドライバのインストール (上記手順 1～25) を行ってください。

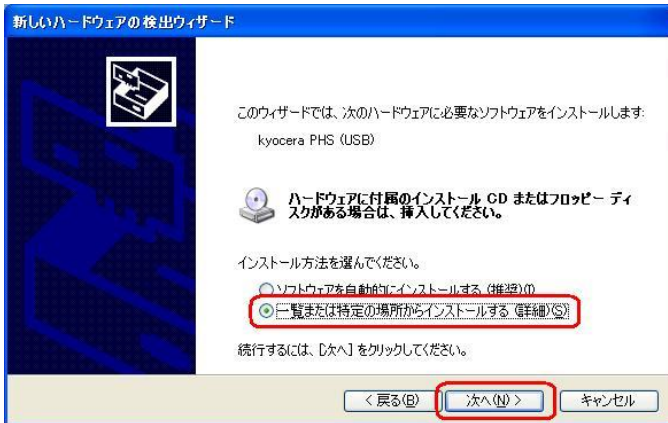
1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続します。パソコンの USB ポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。

※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。

2. しばらくするとインストール画面が表示されます。
[いいえ、今回は接続しません]にチェックして[次へ]をクリックします。
(SP2 を適用されていない場合は、この画面は表示されません。)

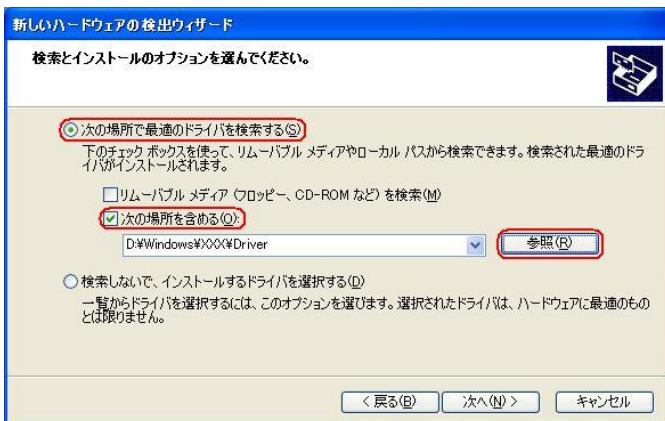


3. [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] をチェックし、[次へ] をクリックします。



4. 同梱されている CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[次の場所を含める] をチェックし、[参照] をクリックします。

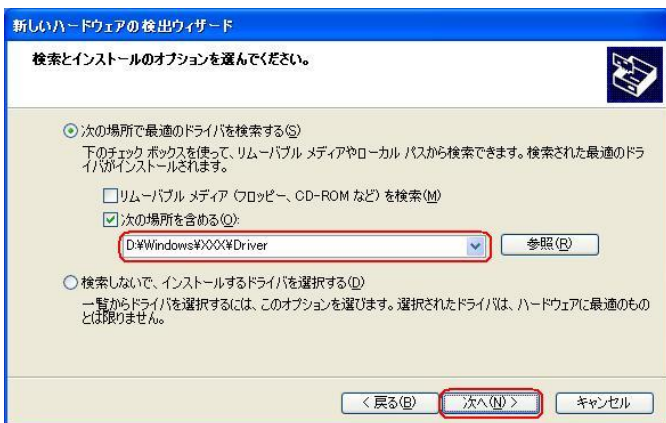
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、CD-ROM は必要ありません。



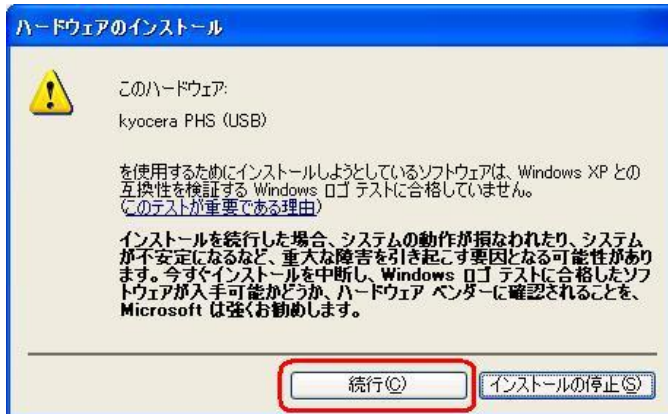
5. CD-ROM ドライブの「Driver」フォルダを指定し、[OK]をクリックします。
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



6. CD-ROM 内の「Driver」フォルダになっているか確認し、[次へ]をクリックします。
クリック後、ドライバの検索が始まります。しばらくお待ちください。
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダが指定されているか
ご確認下さい。



7. ドライバのインストールに対する注意が表示される場合がありますが、問題はありません。[続行]をクリックします。
クリック後、ドライバのインストールが開始されます。しばらくお待ちください。



8. [完了]をクリックします。



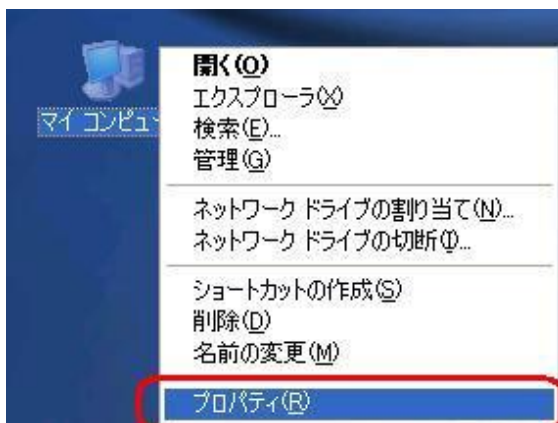
以上で CDC としてのモデム利用時の手動 USB
ドライバのインストール作業は終了です。

インストールされたドライバの確認方法

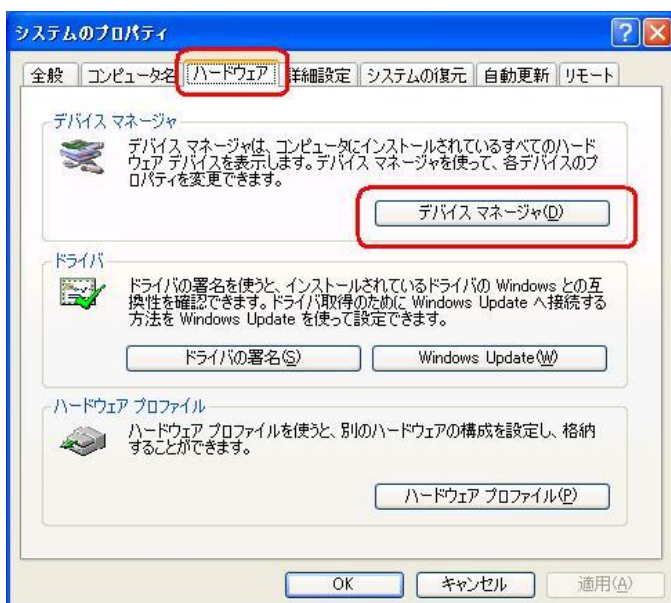
<Windows XP>

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

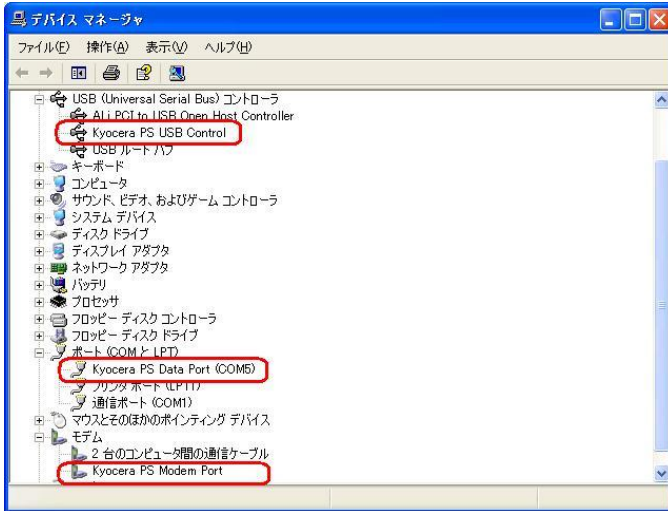
1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機をUSBケーブルに接続して、さらにパソコンに接続してください。パソコンのUSBポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。
※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。
2. マイコンピュータを右クリックするとメニューが出ます。[プロパティ]をクリックします。



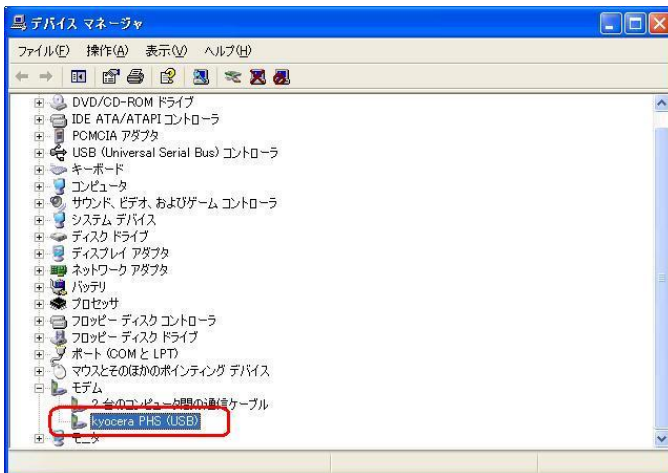
3. [ハードウェア]のタブをクリックして[デバイスマネージャ]をクリックします。



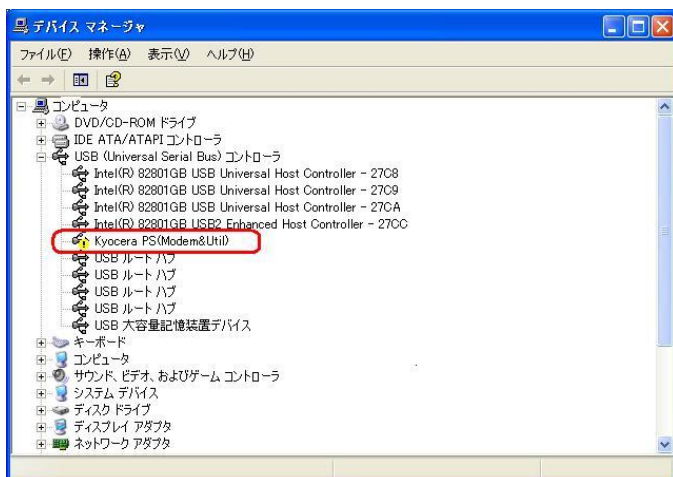
4. 正常にドライバがインストールされていれば、[USB(Universal Serial Bus)], [モデム], [ポート (COM 及び LPT)] の配下にそれぞれ [Kyocera PS USB Control]、[Kyocera PS Modem]、[Kyocera PS Data Port] が追加されます。



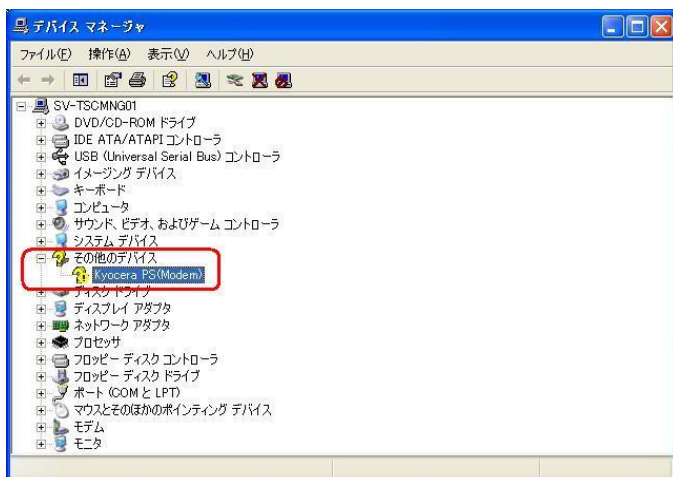
(USB 設定が「モデム」に設定されている場合は下記のように[モデム]の配下に[kyocera PHS (USB)]が追加されます。)



以下のように、[その他のデバイス]に[Kyocera PS (Modem&Util)]、もしくは[Kyocera PS (Modem)]が表示されている又は、[USB (Universal Serial Bus)]に[USB 互換デバイス]が表示されている場合は、正しくドライバがインストールされていません。
正常にドライバがインストールされなかった場合の復旧方法をご確認ください。



(USB 設定が「モデム」に設定されている場合は下記のように表示される場合があります。)



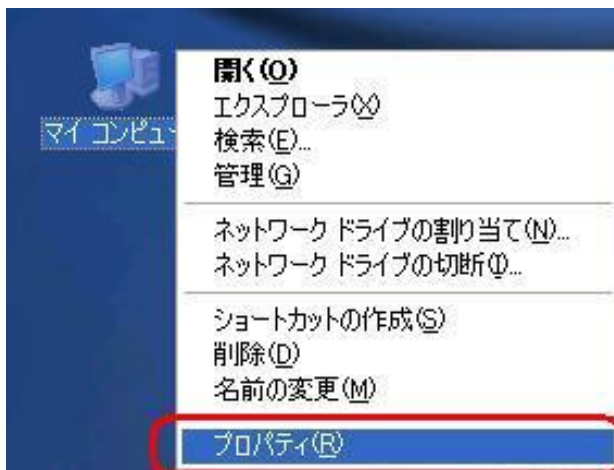
正常にドライバがインストールされなかった場合の復旧方法

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

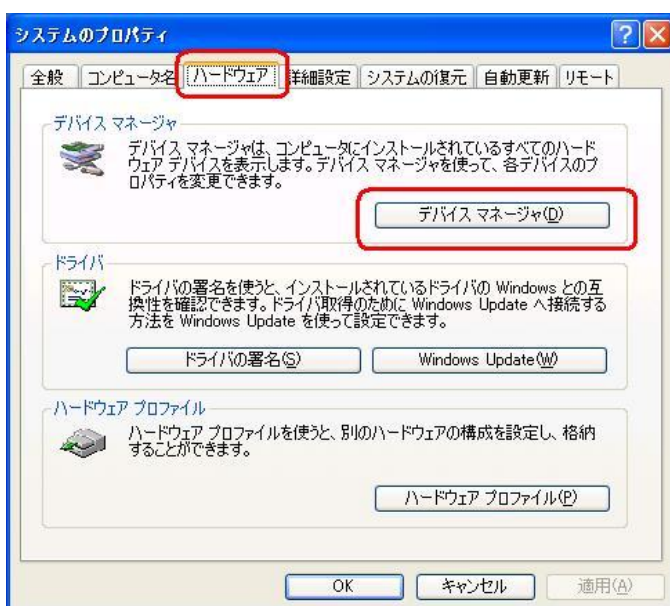
1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続してください。パソコンの USB ポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。

※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。

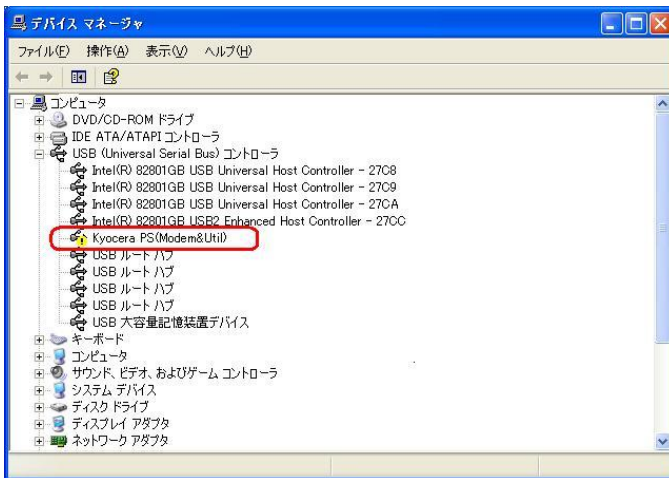
2. マイコンピュータを右クリックするとメニューが出ます。[プロパティ]をクリックします。



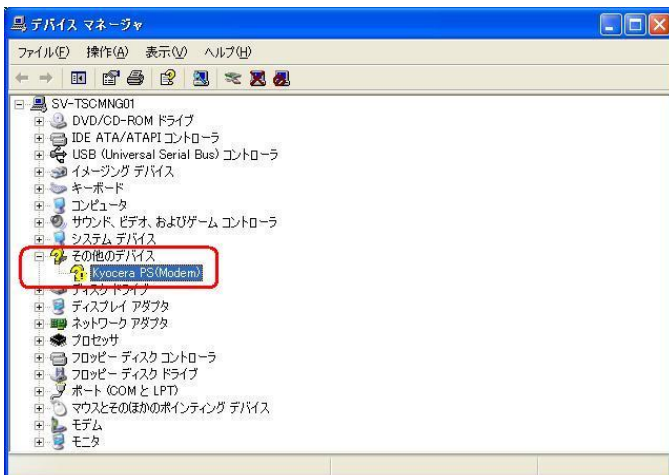
3. [ハードウェア]のタブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックします。



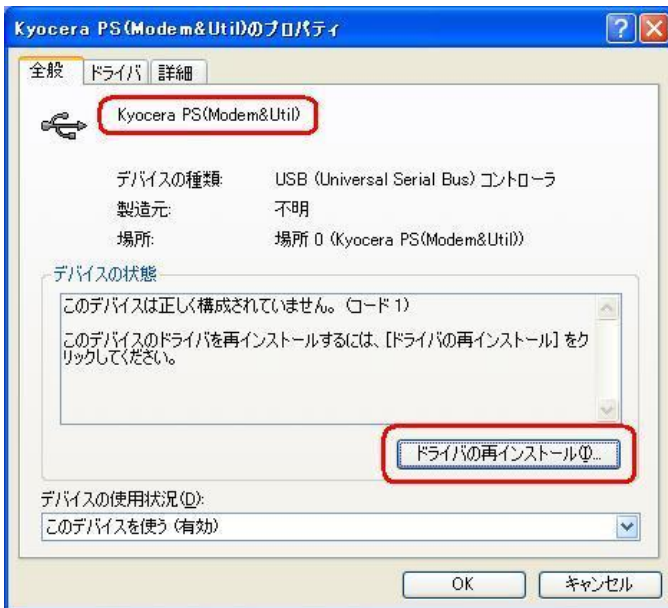
4. [USB 互換デバイス]や[Kyocera PS (Modem&Util)]をダブルクリックします。



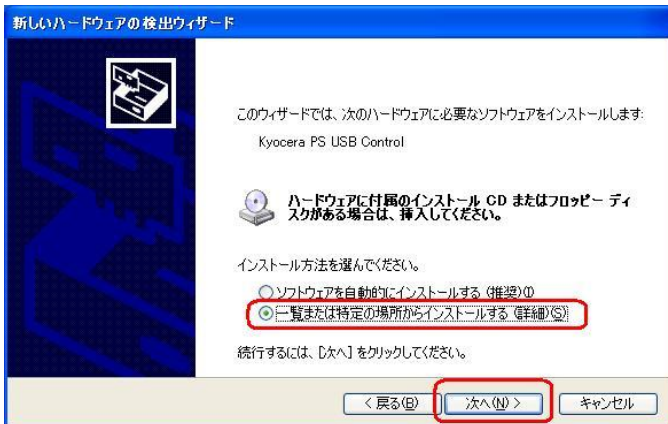
インストールされたドライバの確認方法の手順4で下記の画面が表示された場合は [Kyocera PS (Modem)]をダブルクリックします。



5. [ドライバの再インストール]をクリックします。



6. [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]をチェックし、[次へ]をクリックします。



7. Windows XP での手動 USB ドライバインストール方法の手順3もしくは、CDC (Communication Device Class) のモデムとしてご利用になる場合の手動 USB ドライバのインストール方法の手順3以降に従って、再度ドライバのインストールを行います。

USBドライバのアンインストール方法

<Windows XP>

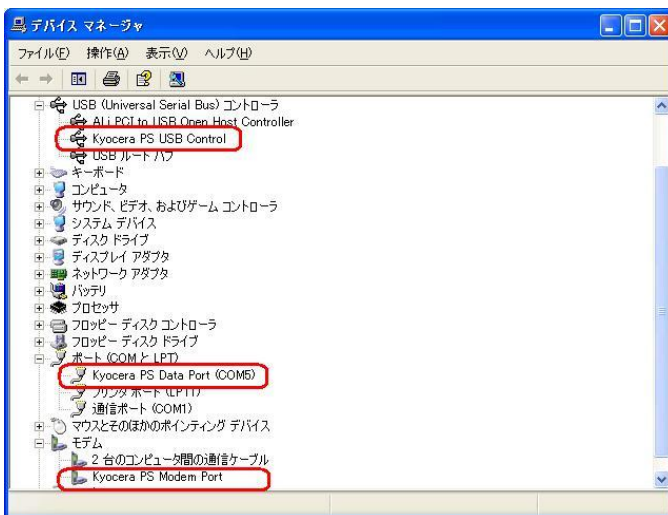
※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機をUSBケーブルに接続して、さらにパソコンに接続します。パソコンのUSBポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。

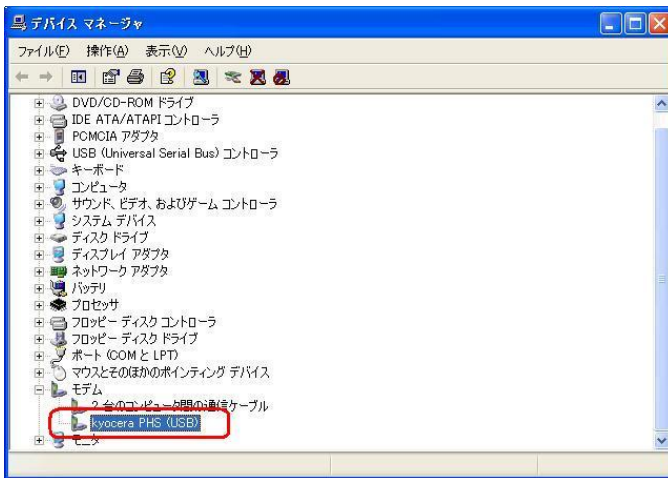
※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。

2. デバイスマネージャを開きます。

3. [Kyocera PS USB Control] もしくは[kyocera PHS (USB)]を右クリックして、[削除]をクリックします。



(USB 設定が「モデム」に設定されている場合は下記のように表示される場合があります。)



4. [OK]をクリックします。

これで USB ドライバのアンインストールは終了です。

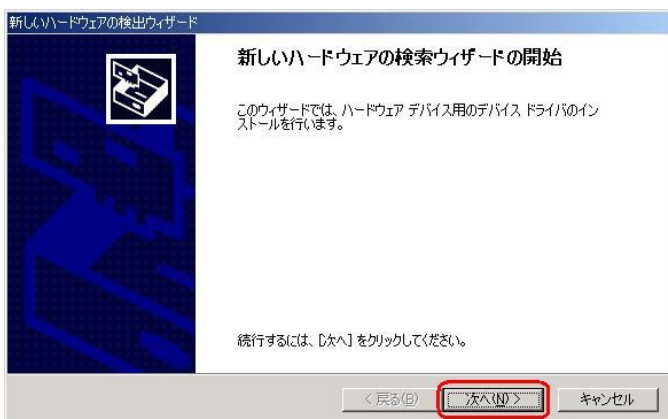
Windows 2000 での手動 USB ドライバ インストール方法

- ※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。
※本インストールマニュアルは、CD-ROM からの手動インストール方法を例に記載しておりますので、参照先が CD-ROM のドライバになっております。
京セラホームページより USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダ（ドライバ）を参照場所として指定してください。
※このインストール作業を行う場合は、電話機本体の USB 設定を「モデム&ユーティリティ」にしてください。

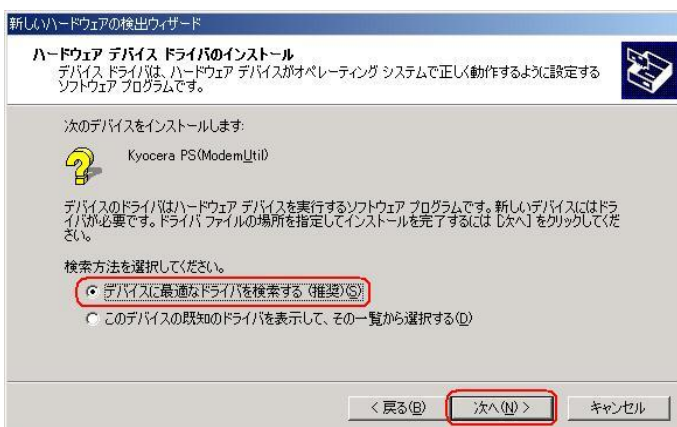
1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続します。パソコンの USB ポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。

※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。

2. [次へ] をクリックしてください。パソコンによりこの画面が出ない場合があります。

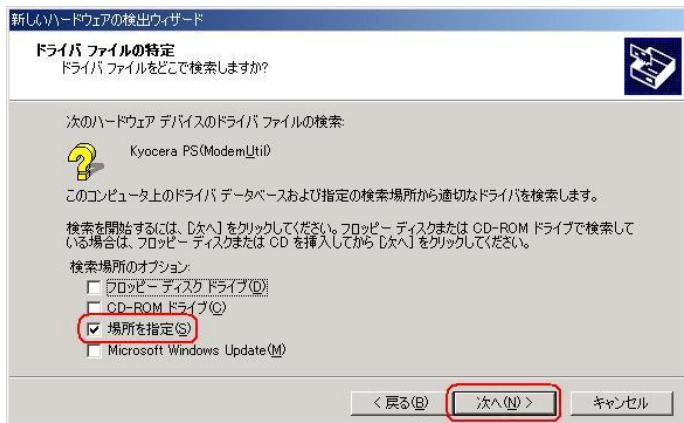


3. しばらくするとインストール画面が表示されます。
[デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] をチェックし、[次へ] をクリックします。



4. 同梱されている CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[場所を指定] をチェックし、[次へ] をクリックします。

※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、CD-ROM は必要ありません。

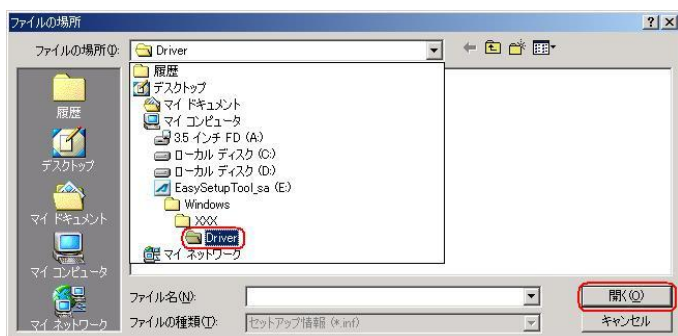


5. [参照] をクリックします。

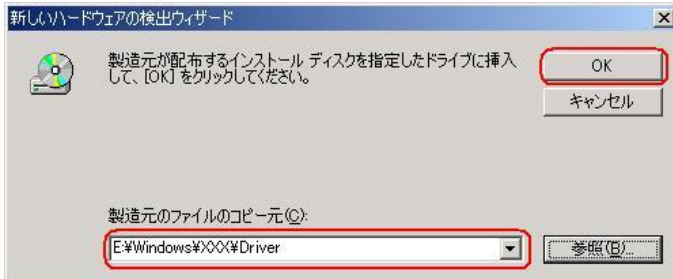


6. [ファイルの場所] で CD-ROM ドライブの「Driver」フォルダを指定し、[開く] をクリックします。

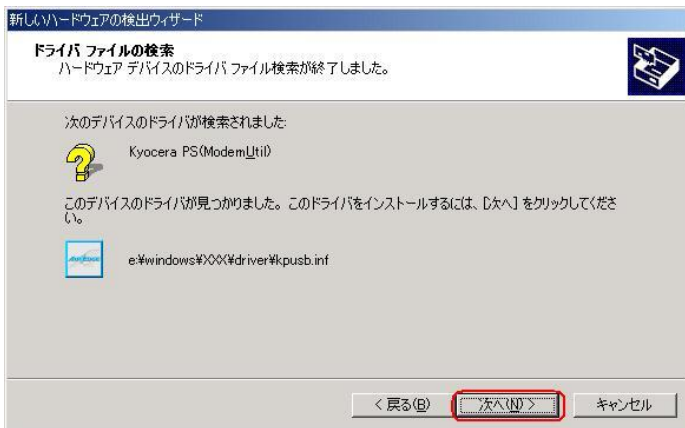
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



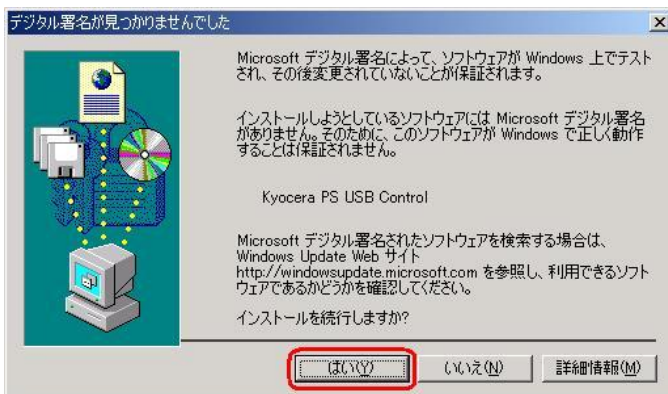
7. CD-ROM 内の「Driver」フォルダになっているか確認し、[OK] をクリックします。クリック後、ドライバの検索が始まります。しばらくお待ちください。
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダが指定されているかご確認下さい。



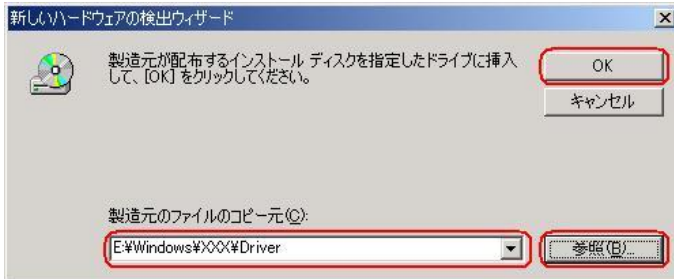
8. ドライバが検索されたら [次へ] をクリックします。



9. ドライバのインストールに対する注意が表示される場合がありますが、問題はありません。[はい] をクリックします。



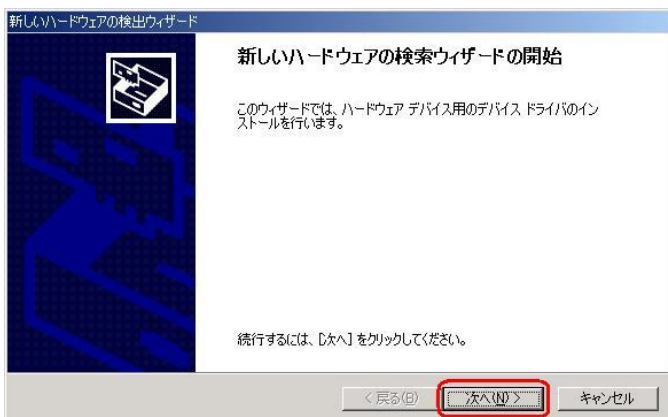
10. ドライバのインストール中に下記のような画面が表示されることがあります。
この場合は「参照」をクリックし、手順6と同様に CD-ROM ドライブの「Driver」フォルダを指定し[OK]をクリックします。
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



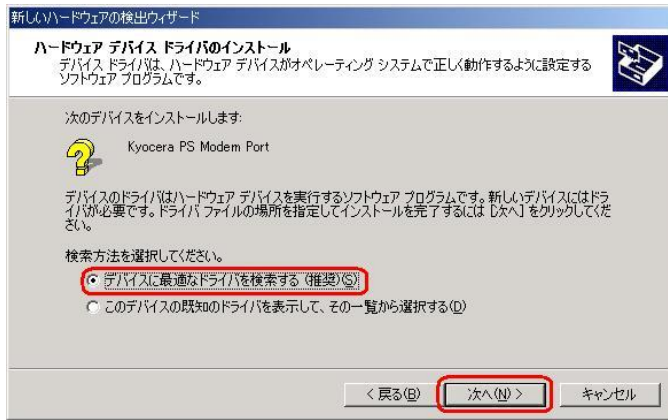
11. 「完了」をクリックします。



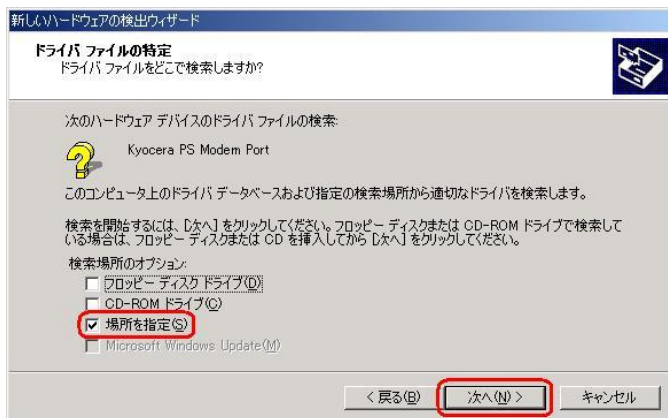
12. 続けて「Kyocera PS Modem Port」をインストールします。
「次へ」をクリックします。



13. 手順3と同様に [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)] をチェックし、[次へ] をクリックします。



14. 手順4と同様に [場所を指定] をチェックし、[次へ] をクリックします。

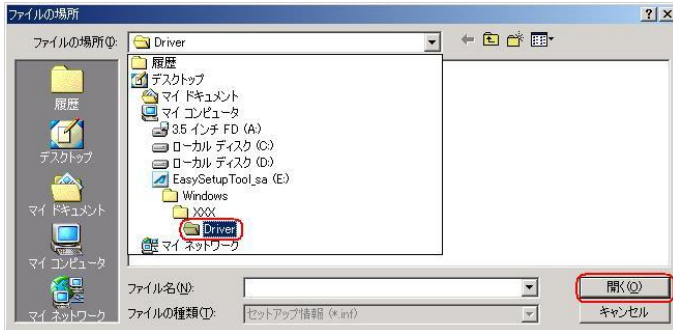


15. 手順5と同様に [参照] をクリックします。



16. 手順6と同様に [ファイルの場所] で CD-ROM ドライブの「Driver」フォルダを指定し、[開く] をクリックします。

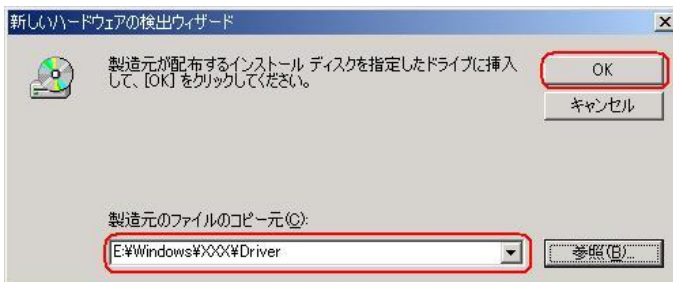
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



17. 手順7と同様に CD-ROM 内の「Driver」フォルダになっているか確認し、[OK] をクリックします。

クリック後、ドライバの検索が始まります。しばらくお待ちください。

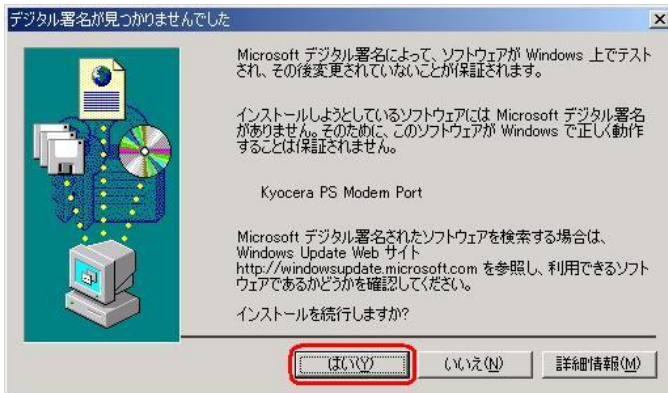
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダが指定されているかご確認下さい。



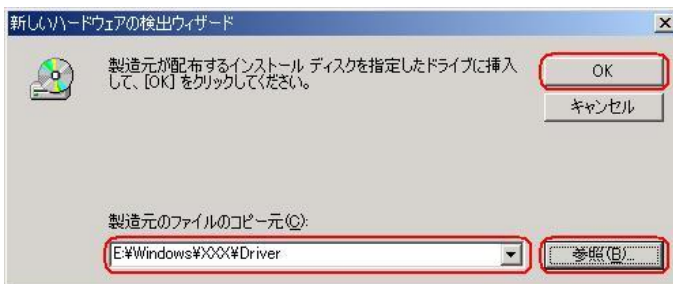
18. ドライバが検索されたら [次へ] をクリックします。



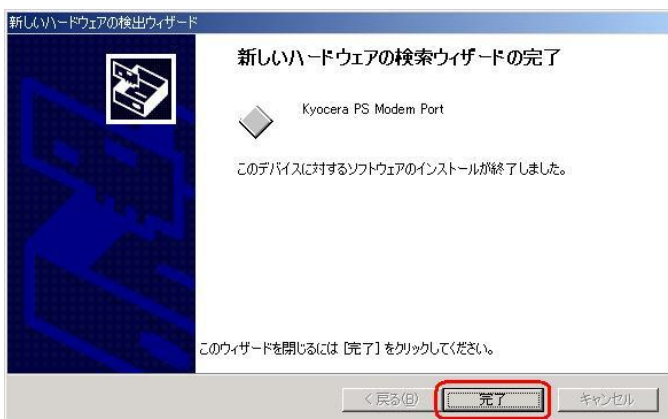
19. ドライバのインストールに対する注意が表示される場合がありますが問題は
ありません。[はい] をクリックします。



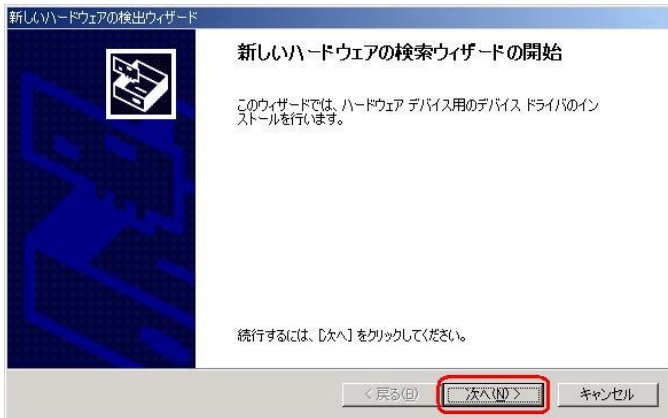
20. ドライバのインストール中にこのような画面が表示する場合があります。
この場合は [参照] をクリックし、手順6と同様に CD-ROM 内の「Driver」
フォルダを指定し[OK]をクリックします。
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



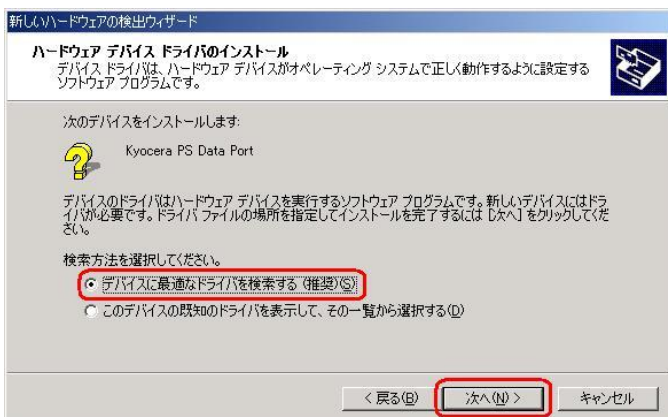
21. [完了] をクリックします。



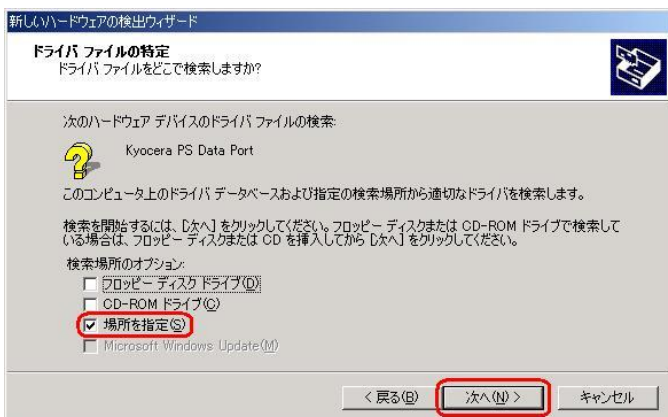
22. 続けて [Kyocera PS Data Port] をインストールします。
[次へ] をクリックします。



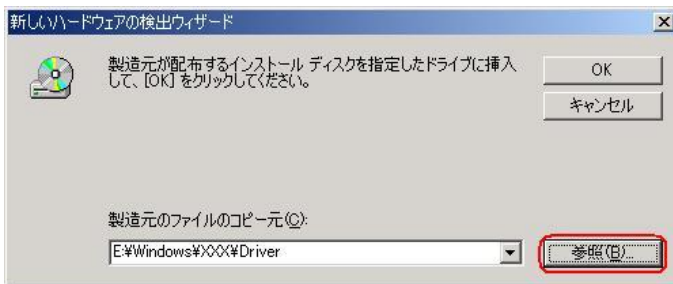
23. 手順3と同様に [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)] をチェックし、
[次へ] をクリックします。



24. 手順4と同様に [場所を指定] をチェックし、[次へ] をクリックします。

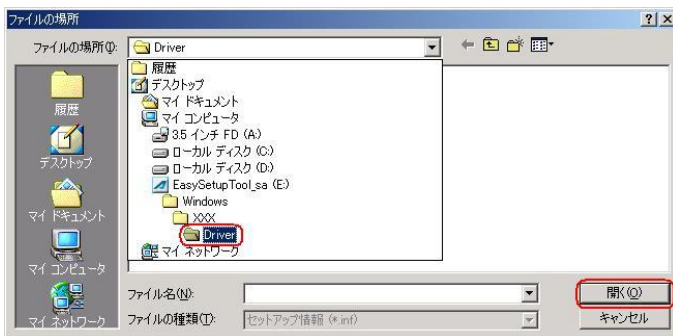


25. 手順5と同様に [参照] をクリックします。



26. 手順6と同様に [ファイルの場所] で CD-ROM ドライブの「Driver」フォルダを指定し、[開く] をクリックします。

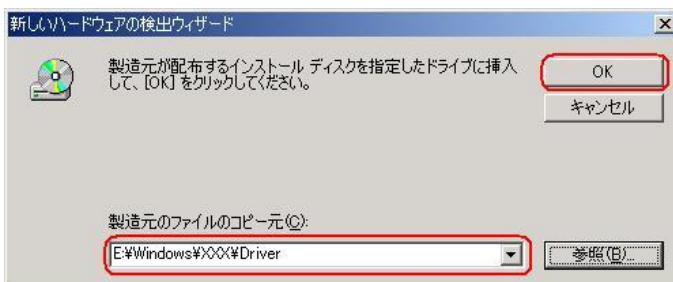
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



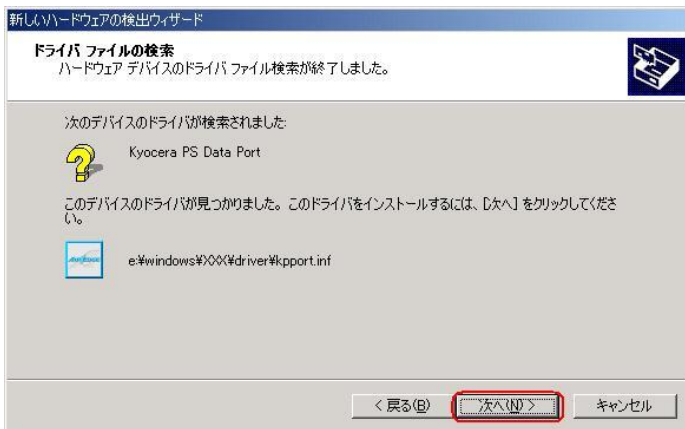
27. 手順7と同様に CD-ROM 内の「Driver」フォルダになっているか確認し、[OK] をクリックします。

クリック後、ドライバの検索が始まります。しばらくお待ちください。

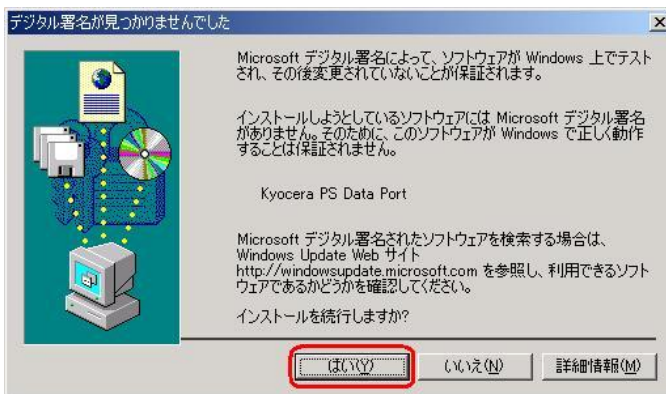
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダが指定されているかご確認下さい。



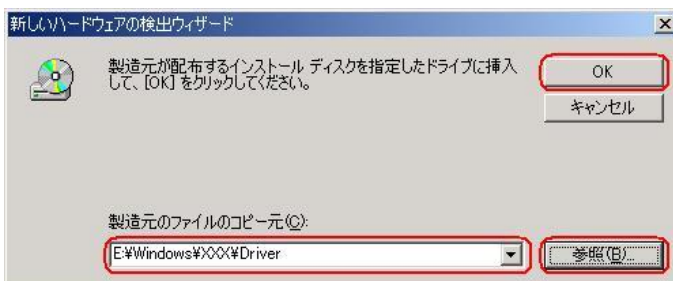
28. ドライバが検索されたら [次へ] とクリックします。



29. ドライバのインストールで注意が表示される場合がありますが問題はありません。
[はい] をクリックします。



30. ドライバのインストール中にこのような画面が表示する場合があります。
この場合は [参照] をクリックし、手順6と同様に CD-ROM 内の「Driver」フォルダを指定し[OK]をクリックします。
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



31. [完了] をクリックします。



以上で手動USBドライバのインストール作業は終了です。

CDC (Communication Device Class) のモデムとして

ご利用になる場合の手動 USB ドライバのインストール方法

※上記手順 1～3 1 までの方法で既にインストールをされている方は、この方法でのインストール作業は不要です。

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

※本インストールマニュアルは、CD-ROM からの手動インストール方法を例に記載しておりますので、参照先が CD-ROM のドライバになっております。

京セラホームページより USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダ（ドライバ）を参照場所として指定してください。

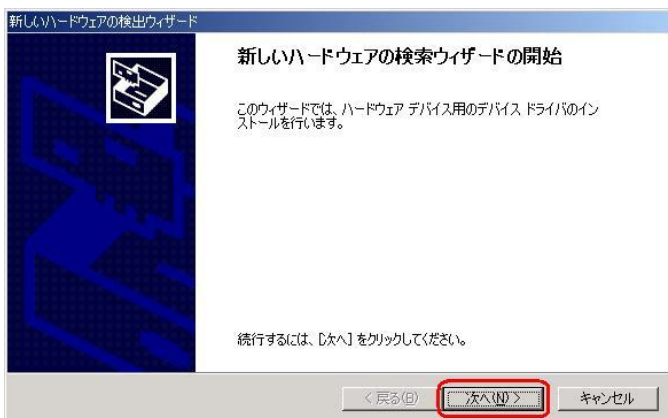
※このインストール作業を行う場合は、電話機本体の USB 設定を「モデム」にしてください。

※このインストール方法で USB ドライバをインストールされた場合、京セラ PHS ユーティリティはご利用いただけません。京セラ PHS ユーティリティをご利用になる場合は、USB 設定を「モデム&ユーティリティ」にいただき、改めてドライバのインストール（上記手順 1～3 1）を行ってください。

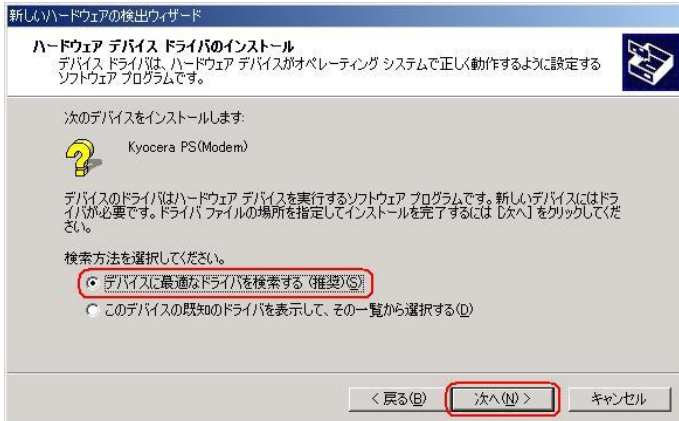
1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続します。パソコンの USB ポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。

※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。

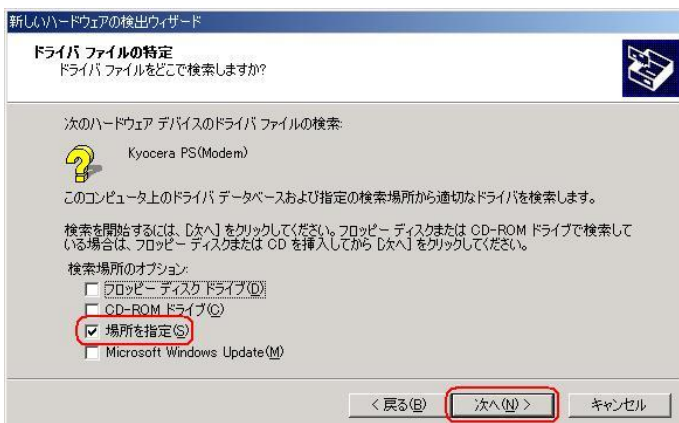
2. [次へ] をクリックしてください。パソコンによりこの画面が出ない場合があります。



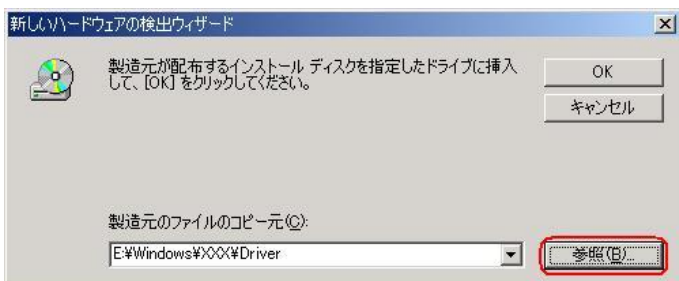
3. しばらくするとインストール画面が表示されます。
[デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] をチェックし、[次へ] をクリック
します。



4. 同梱されている CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[場所を指定] を
チェックし、[次へ] をクリックします。

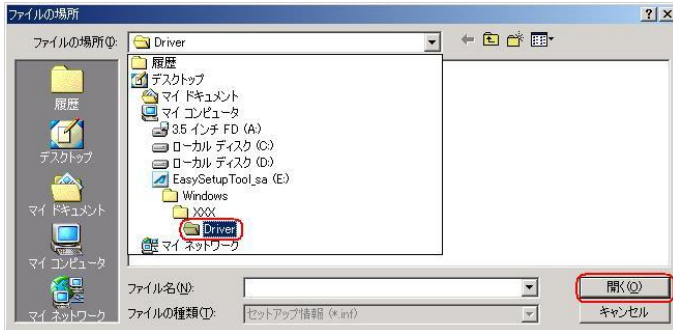


5. [参照] をクリックします。



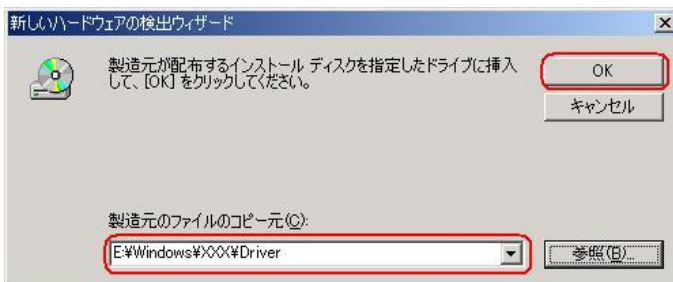
6. [ファイルの場所] で CD-ROM ドライブの「Driver」フォルダを指定し、[開く] をクリックします。

※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



7. CD-ROM 内の「Driver」フォルダになっているか確認し、[OK] をクリックします。クリック後、ドライバの検索が始まります。しばらくお待ちください。

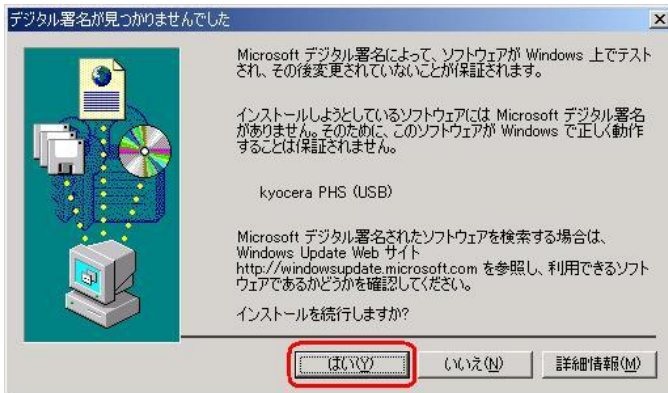
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダが指定されているかご確認下さい。



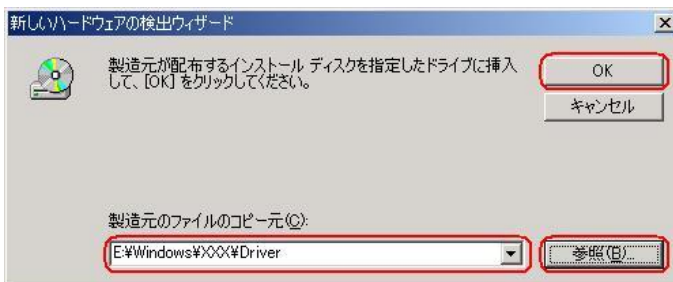
8. ドライバが検索されたら [次へ] をクリックします。



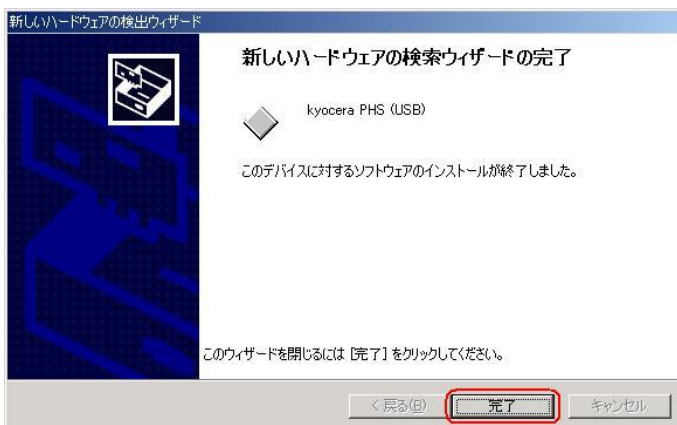
9. ドライバのインストールに対する注意が表示される場合がありますが、問題はありません。[はい] をクリックします。



10. ドライバのインストール中に下記のような画面が表示されることがあります。この場合は [参照] をクリックし、手順6と同様に CD-ROM ドライブの「Driver」フォルダを指定し[OK]をクリックします。
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダを指定して下さい。



11. [完了] をクリックします。



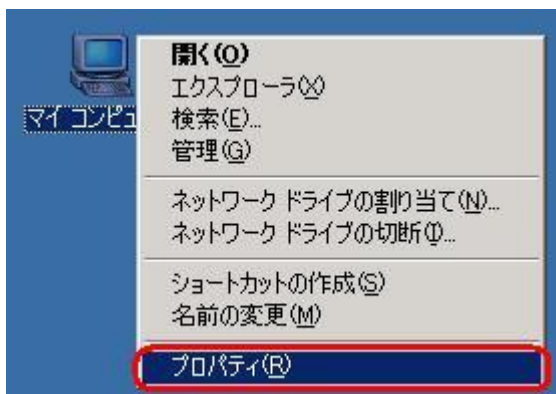
以上で CDC としてのモデム利用時の手動USB
ドライバのインストール作業は終了です。

インストールされたドライバの確認方法

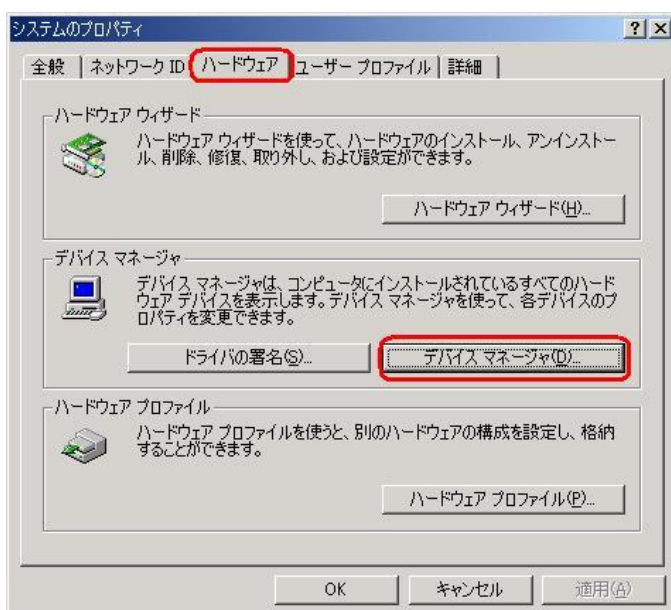
<Windows 2000>

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

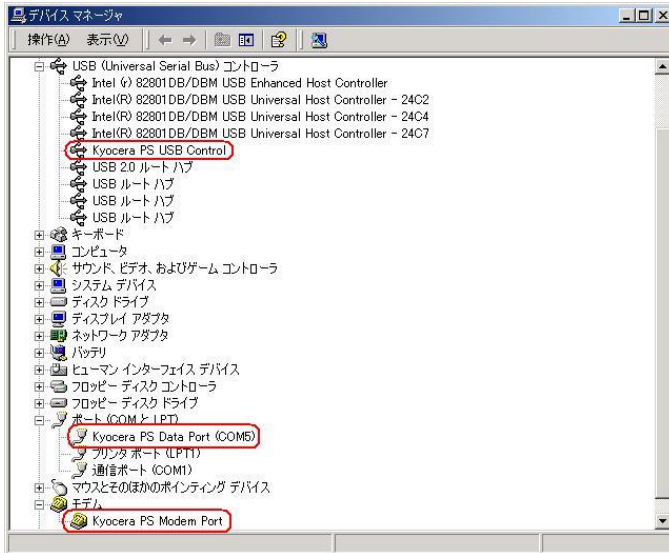
1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続してください。パソコンの USB ポートにはウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。
※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。
2. マイコンピュータを右クリックするとメニューが出ます。[プロパティ]をクリックします。



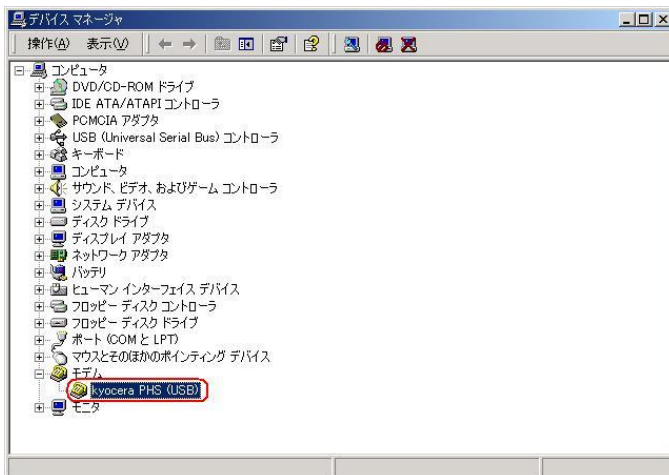
3. [ハードウェア]のタブをクリックして[デバイスマネージャ]をクリックします。



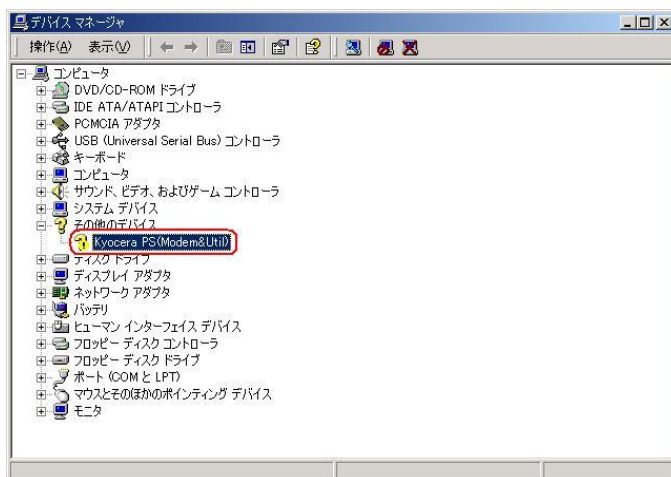
4. 正常にドライバがインストールされていれば、[USB(Universal Serial Bus)]、
[モデム]、[ポート(COM 及び LPT)]の配下にそれぞれ [Kyocera PS USB control]、
[Kyocera PS Modem]、[Kyocera PS Data Port] が追加されます。



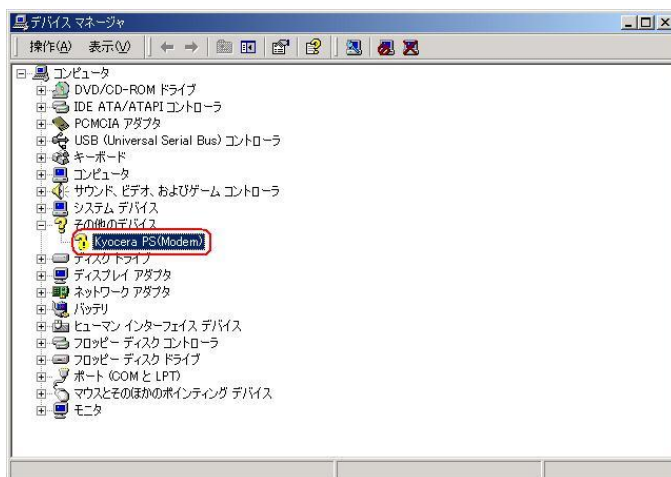
(USB 設定が「モデム」に設定されている場合は下記のように[モデム]の配下に [kyocera PHS (USB)] が追加されます。



以下のように、[その他]に[Kyocera PS (Modem&Util)]、もしくは[Kyocera PS (Modem)]が表示されている又は、[USB (Universal Serial Bus)] に[USB 互換デバイス]が表示されている場合は、正しくドライバがインストールされていません。正常にドライバがインストールされなかった場合の復旧方法をご確認ください。



(USB 設定が「モデム」に設定されている場合は下記のように表示される場合があります。)



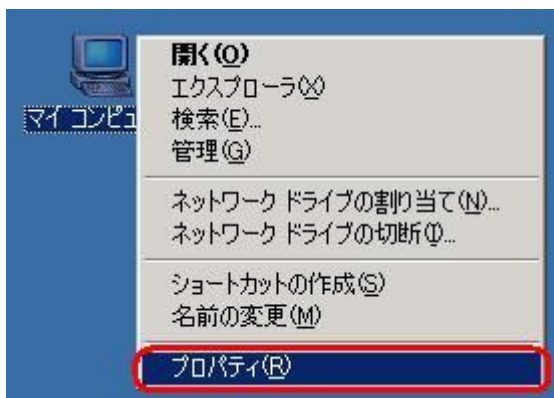
正常にドライバがインストールされなかった場合の復旧方法

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

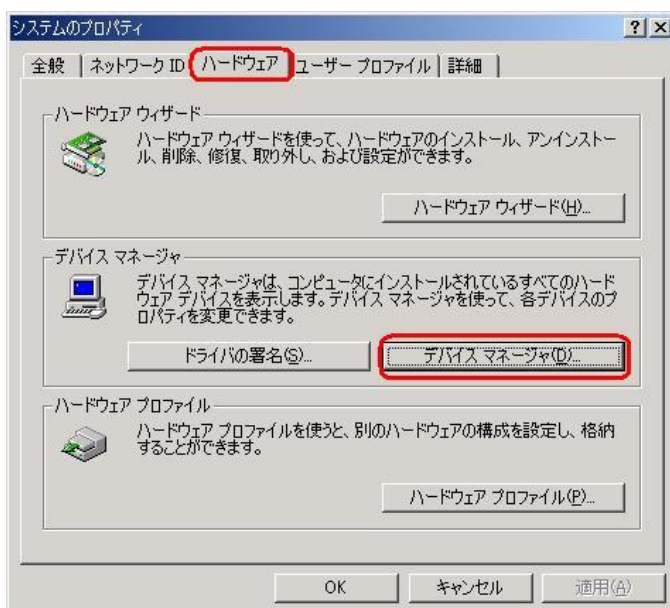
1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機をUSBケーブルに接続して、さらにパソコンに接続してください。パソコンのUSBポートにはウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。

※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。

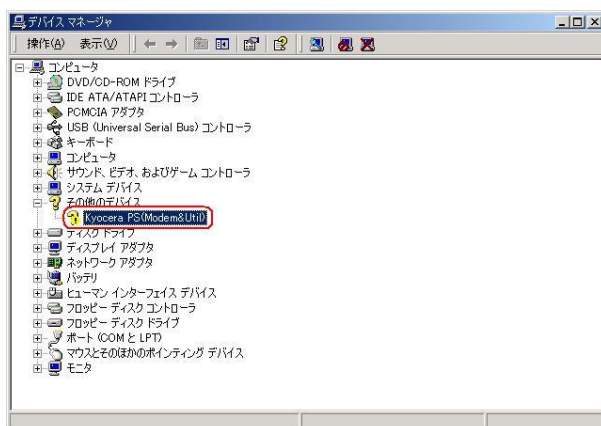
2. マイコンピュータを右クリックするとメニューが出ます。[プロパティ] をクリックします。



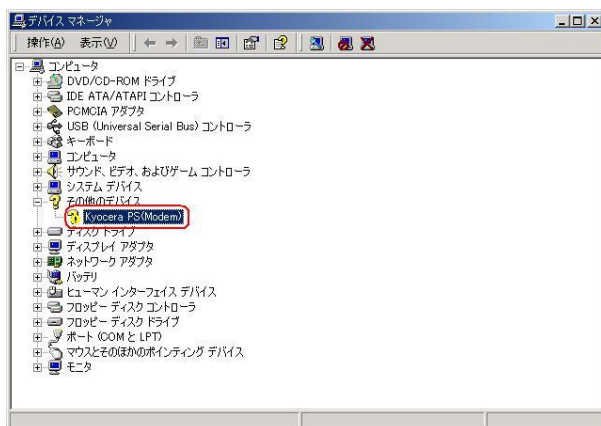
3. [ハードウェア]のタブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックします。



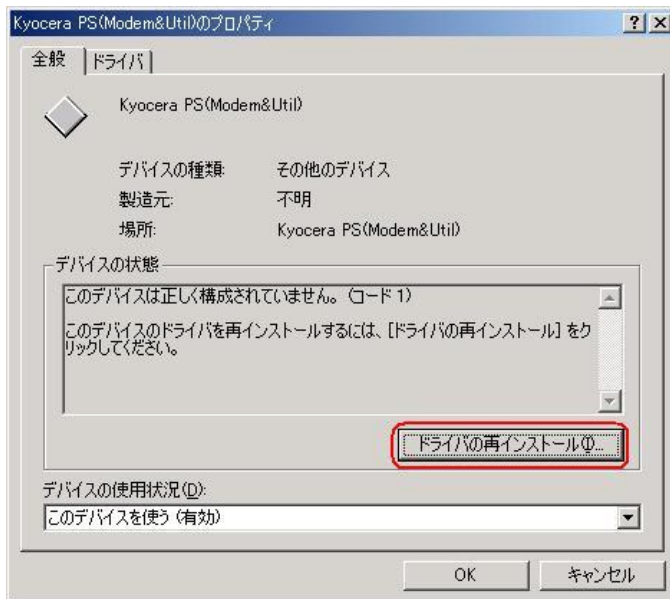
4. [Kyocera PS (Modem&Util)]や[USB 互換デバイス]をダブルクリックします。



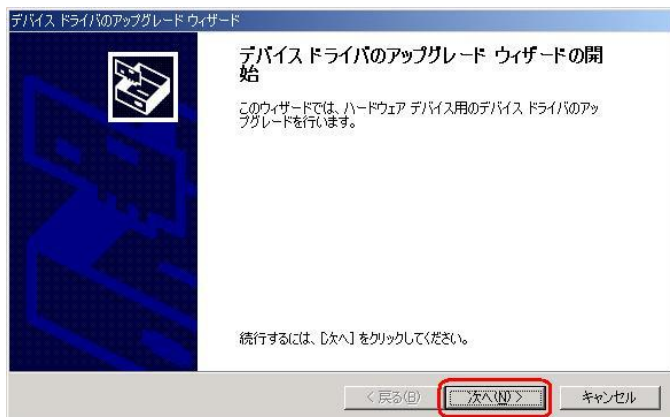
インストールされたドライバの確認方法の手順4で下記の画面が表示された場合は [Kyocera PS (Modem)] をダブルクリックします。



5. [ドライバの再インストール] をクリックします。



6. [次へ] をクリックします。



7. Windows2000 での手動 USB ドライバインストール方法の手順3もしくは、CDC のモデムとしてご利用になる場合の手動 USB ドライバのインストール方法の手順3以降に従って、再度ドライバのインストールを行います。

USBドライバのアンインストール方法

<Windows 2000>

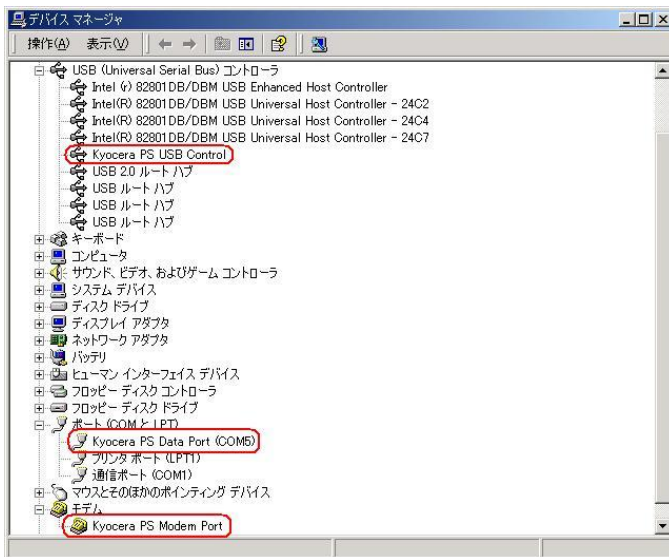
※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機をUSBケーブルに接続して、さらにパソコンに接続します。パソコンのUSBポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。

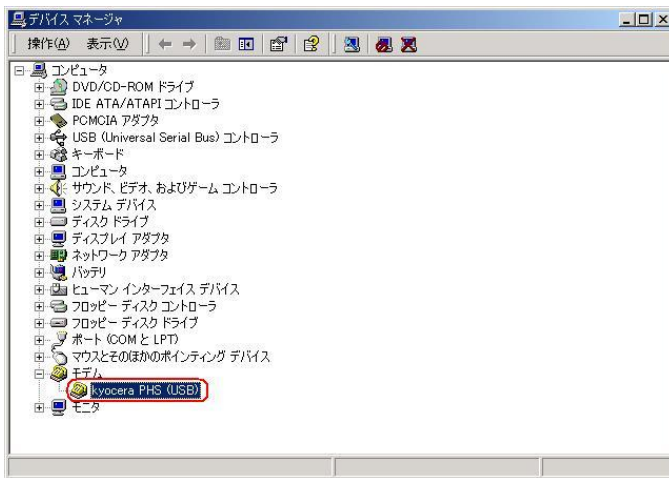
※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。

2. デバイスマネージャを開きます。

3. [Kyocera PS USB Control] もしくは[Kyocera PHS (USB)]を右クリックして、[削除]をクリックします。



(USB 設定が「モデム」に設定されている場合は下記のように表示される場合があります。)



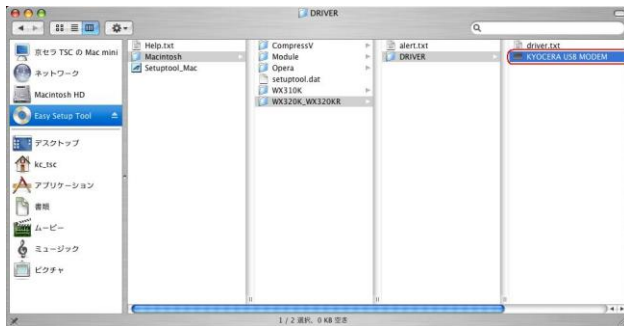
4. [OK]をクリックします。

これで USB ドライバのアンインストールは終了です。

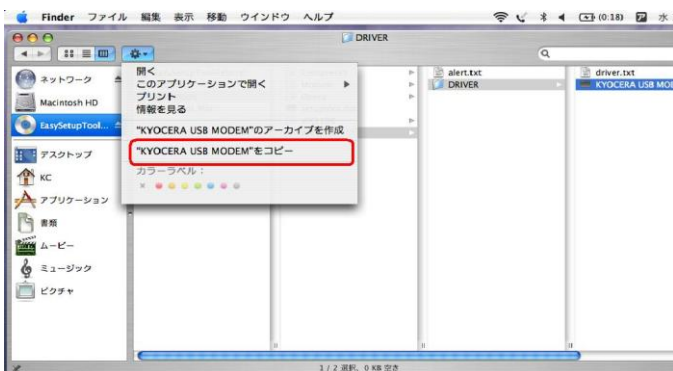
Macintosh での手動 USB ドライバ インストール方法

※パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。
※本インストールマニュアルは、CD-ROM からの手動インストール方法を例に記載しておりますので、参照先が CD-ROM のドライバになっております。
京セラホームページより USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダ（ドライバ）を参照場所として指定してください。
※このインストール作業を行う場合は、電話機本体の USB 設定を「モデム」にしてください。

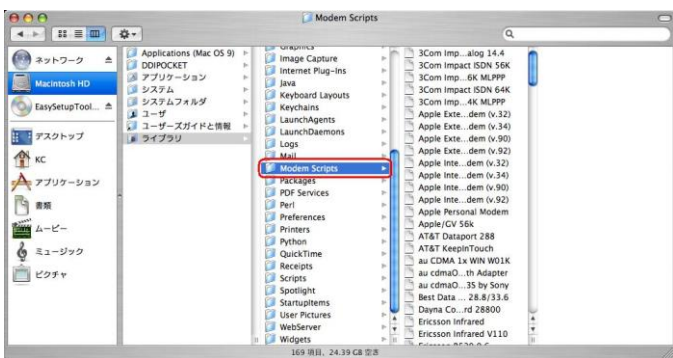
1. 電源を入れた状態のウィルコム電話機を USB ケーブルに接続して、さらにパソコンに接続します。パソコンの USB ポートには、ウィルコム電話機以外の機器を接続しないようにしてください。
※電話機の画面にマストレージ利用確認メッセージが表示されましたら、必ず「いいえ」を選択してください。
2. [新しいポートが検出されました]という画面が表示されますので、[OK]をクリックしてください。
3. CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れてください。
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、CD-ROM は必要ありません。
4. CD-ROM 内の「KYOCERA USB MODEM」を検索します。
※USB ドライバをダウンロードされたお客様は、解凍後のフォルダ内を検索して下さい。



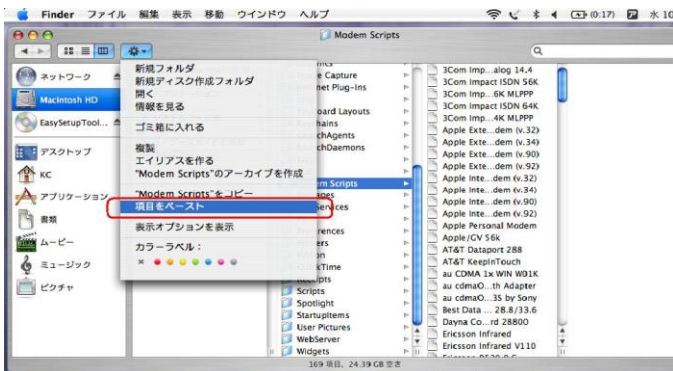
5. 「“KYOCERA USB MODEM” をコピー」をクリックします。



6. 「Macintosh HD」⇒「ライブラリ」⇒「Modem Scripts」と検索します。



7. 「項目をペースト」をクリックします。

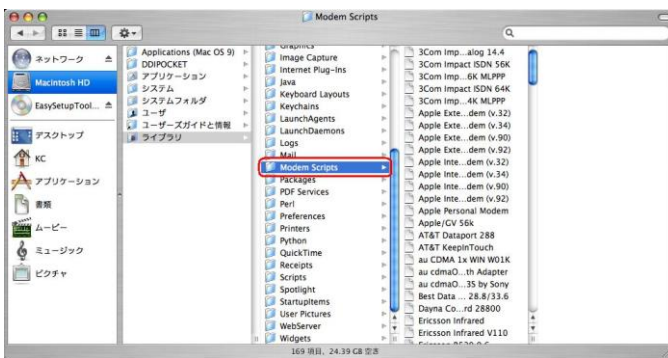


以上で手動 USB ドライバ のインストール作業は終了です。

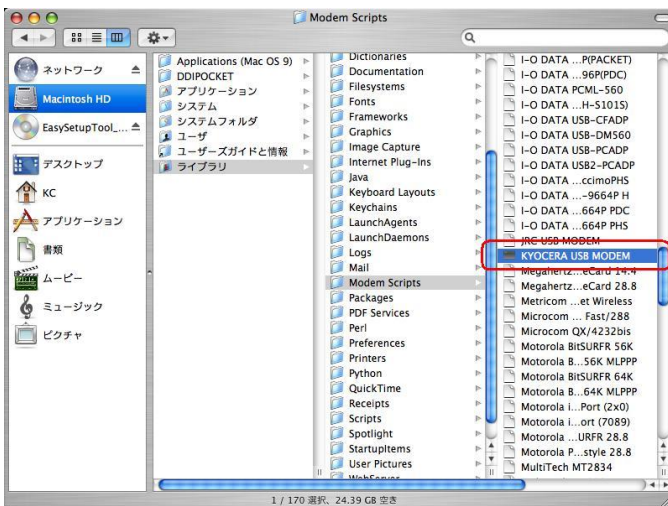
インストールされたドライバの確認方法

※ パソコンにより画面イメージは若干異なる場合がありますが操作方法は同じです。

1. 「Macintosh HD」⇒「ライブラリ」⇒「Modem Scripts」と検索します。



2. 以下のように「Modem Script」内に「KYOCERA USB MODEM」が表示されていれば正しくドライバがインストールされています。



表示されていない場合は、手順 1 から再度インストールを行ってください。

アンインストールは、上記「KYOCERA USB MODEM」をゴミ箱に捨ててください。